DocuPrint CG835 LII
取扱説明書 導入編

お使いになる前に、必ずお読みください

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

はじめに

このたびは DocuPrint CG835 LII をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。Print Server Series（サーバー）は、Adobe PostScript3 を使用して、高品質のカラープリントを実現します。Print Server Seriesには、ネットワークプリントサーバーとして使用するために必要なソフトウエア、およびハードウエアが準備されています。
本書は、DocuPrint CG835 LIIのパッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、プリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法、および本機の操作方法について説明しています。なお、富士ゼロックスプリンティングシステムズ（株）の保証範囲は、DocuPrint CG835 LII の標準構成、およびそのオプション製品に限ります。
本書の内容は、Windows 2000 Professionalの基本的な操作を習得されているかたを対象に記述しています。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

「Printing Force FUJI XEROXロゴマーク」が適用された商品は、富士ゼロックスおよび富士ゼロックスプリンティングシステムズのプリンター技術を活用して製造し、安心と信頼のプリント環境を提供します。

本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の中で ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

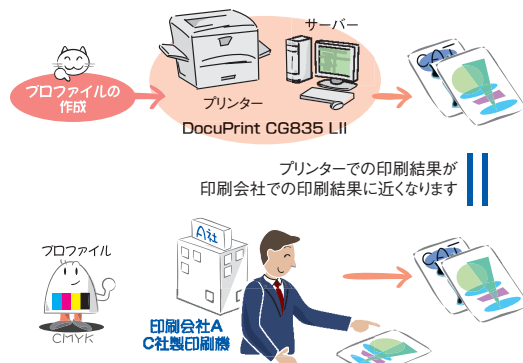
ご注意

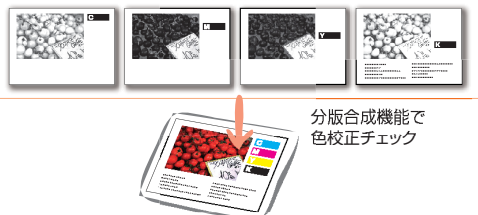
①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。
⑥本製品は、外国為替および外国貿易法および/または米国輸出管理規制に定める「輸出規制貨物」に該当します。つきましては、本品を外国へ輸出する場合には、日本国政府の輸出許可および/または米国政府の再輸出許可を受ける必要があります。

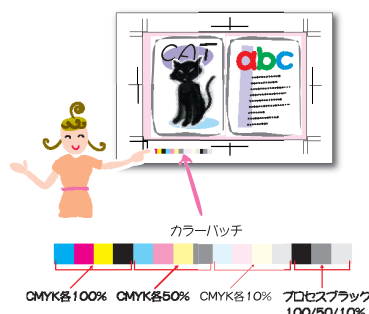
DocuPrint CG835 LIIの特長

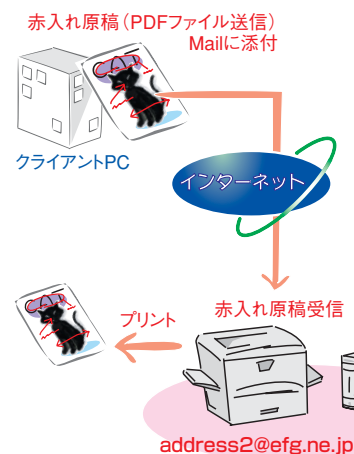
DocuPrint CG835 LIIは、DTPアプリケーションやイメージ作成アプリケーションからの、高度で詳細な設定を必要とするプリントに対応する各種機能を搭載しています。
DocuPrint CG835 LIIは、DTPに最適な環境をお届けします。

充実したCMYKシミュレーション機能

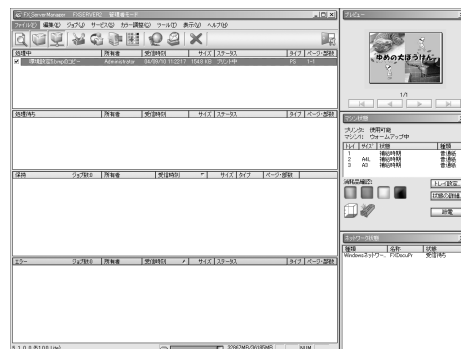
オフセット印刷の特性に合わせた最終印刷物に近い色を再現できます。また、印刷会社、デザイン会社やクライアントなど環境が違っても、それぞれのカラープロファイルをサーバーに登録しておけば、必要なときにいつでも色味をシミュレーションできます。→『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）「第1章 色の調整」

仕上がりを確認できる分版合成機能

CMYKの4版を合成してカラープリントし、オーバープリントやトラッピングを確認できます。→「分版合成機能を使って仕上がりを確認する」（48ページ）

メモ書きでカンプの管理

カラーパッチやプリントオプションの設定情報メモ、コメントなどを、用紙の左下に重ねて印字できます。→「カラーパッチやコメントをつける［メモ書き］」（56ページ）

PDF受信で校正作業を効率化

クライアントPCからメール添付で送られてきたPDFファイルをサーバーで受信し、そのままプリントできますので、校正作業が効率よくできます。→「PDF受信機能を使う［Eメールプリント］」（50ページ）

快適な出力環境を提供

ServerManager画面で印刷データを操作

ジョブの 処理順位の変更や印刷データ編集後の再プリントなど、プリントジョブをServerManagerで管理できます。ServerManager画面では、エラーが発生した印刷データが赤文字で表示されたり、スプールに保存される印刷データには先頭にチェックマークが付くなど、重要なことがすぐわかるようになっています。

フォントの管理

サーバーにインストールされているすべてのフォントを一覧表示したり、バックアップしたりできます。

→『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）「第4章 フォントについて」

プリント履歴の管理

プリントジョブの履歴を、表計算アプリケーションで編集できるCSV形式のファイルに出力できます。プリンターを共有している場合は部門やユーザーごとにプリント履歴の確認ができるので、管理しやすくなります。

Print Server Series
プリント履歴レポート

サーバー名:FXSERVER
日時:2003/02/21 15:51:31
ページ:1

所有者	ドキュメント名	アカウント	ステータス	受信開始日時	RIP開始時刻	RIP経過時間	印刷経過時間	カラーモード	用紙種類	用紙サイズ	両面印刷	画質モード	部数	ドキュメントページ数	カラーページ数	グレーページ数	カバーページ	出力プリンタ
ARITA-YUKO	Microsoft Word - 報告書.doc		キャンセル	2002/08/14 09:03	09:03	00:03	02:14	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	0	0	なし	1
ARITA-YUKO	Microsoft Word - 09Report.doc		キャンセル	2002/08/14 09:04	09:04	00:04	01:27	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	2	0	0	なし	1
ARITA-YUKO	Microsoft Word - 10Report.doc		キャンセル	2002/08/14 09:04	09:05	00:04	00:28	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	2	0	0	なし	1
ARITA-YUKO	Microsoft Word - 報告書.doc		正常終了	2002/08/14 09:03	09:17	00:02	00:39	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	1	0	なし	1
ARITA-YUKO	Microsoft Word - 報告書.doc		正常終了	2002/08/14 09:03	09:19	00:02	00:23	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	1	0	なし	1
ARITA-YUKO	Microsoft Word - 報告書.doc		正常終了	2002/08/14 09:03	09:20	00:02	00:02	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	0	0	なし	1
Administrator	両面印刷微調整用シート		正常終了	2002/08/14 09:33	09:33	00:10	00:56	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	短辺とじ	標準	1	4	2	2	なし	1
Administrator	両面印刷微調整用シート		正常終了	2002/08/14 09:37	09:37	00:10	00:57	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	短辺とじ	標準	1	4	2	2	なし	1
Administrator	スタートアップページ		正常終了	2002/08/14 15:12	15:12	00:03	03:05	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	1	0	なし	1
Administrator	スタートアップページ		正常終了	2002/08/14 15:44	15:44	00:04	00:25	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	1	0	なし	1
Administrator	マシン調整シート		正常終了	2002/08/14 15:50	15:50	00:02	01:08	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	0	1	なし	1
Administrator	キャリブレーションパッチシート		正常終了	2002/08/14 15:51	15:51	00:03	01:13	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	1	0	なし	1
ARITA-YUKO	Microsoft Word - 09Report.doc		キャンセル	2002/08/14 09:04	16:55	00:04	00:51	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	2	0	0	なし	1
Administrator	11Report.doc PostScriptエラーです(107)		エラー	2002/08/15 09:48	09:48	00:03	06:27	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	0	2	なし	1
Arita-Yuko	09Report.doc PostScriptエラーです(107)		エラー	2002/08/15 09:57	09:57	00:03	00:54	カラー(CMYK)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	0	2	なし	1
ARITA-YUKO	Microsoft Word - 10Report.doc		正常終了	2002/08/14 09:04	10:01	00:05	00:30	グレースケール(K)	普通紙1	A4L	しない	標準	1	1	0	1	なし	1
Arita-Yuko	post.pdf 指定された用紙（はがき,普通紙1（フルカラー用））に必要なトレイがありません(108)		エラー	2002/08/16 10:38	10:38	00:03	00:03	カラー(CMYK)	普通紙1	はがき	しない	標準	1	1	0	0	なし	1
Arita-Yuko	xoud1.tif		正常終了	2002/08/16 10:38	10:38	00:21	04:37	カラー(CMYK)	普通紙1	A3	しない	標準	1	1	0	1	なし	1

Adobe,PostScript,PostScript 3,PostScriptロゴは Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Adobe PostScript 3

DropPrintLiteやWebManagerでクライアントの操作も快適に

DropPrintLiteを使えば、ドキュメントを作成したアプリケーションを持っていなくても、クライアントからプリントできます。

WebManagerを使えば、クライアントからサーバーの状態を確認できます。

→「Webブラウザーで印刷データを管理する」（61ページ）

本 書 の 構 成

目次

第6章 困ったときは

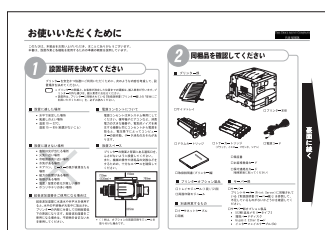
付　録

マニュアル体系と本書の読み方

マニュアルの種類

本製品では、次のマニュアルを用意しています。使用目的に合わせてご利用ください。

お使いいただくために

同梱品のご案内と、箱を開けてから、印刷できるまでのプリンターの設置手順の概要を説明しています。まず、このマニュアルを見て、プリンターの同梱品を確認してください。
そのあと、以下の取扱説明書と合わせて参照しながら、プリンターを設置してください。

取扱説明書(導入編)<本書>

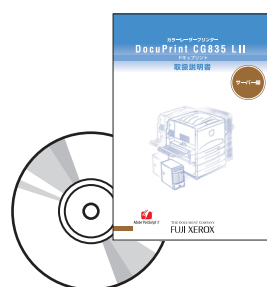
DocuPrint CG835 LIIのパッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、プリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法、およびDocuPrint CG835 LIIの基本的な操作方法について説明しています。

取扱説明書(プリンター編)

プリンター本体の設置手順を説明しています。
また、プリンター本体の電源の入/切、用紙のセット方法、紙づまりの処置、消耗品の交換など、日常プリンターを使用するときに必要なことがらについて説明しています。

> **ご注意**
> プリンターに添付/同梱されている『お使いいただくために』、『取扱説明書(プリンター編)』に参照先として『取扱説明書(サーバー編)』と記載されている場合は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)または『取扱説明書(導入編)』(本書)を参照してください。

取扱説明書(サーバー編)

色の調整やプリントの設定など、DocuPrint CG835 LIIをより高度に使いこなすための設定方法や情報が記載されています。
DocuPrint CG835 LIIに同梱されているソフトウエアCD-ROMの[Manual]フォルダにPDFファイル(取扱説明書サーバー編.pdf)で収録されています。「付録 『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の内容」を参照してください。

前提知識と前提条件

本書は、サーバーとして本機を日常で使用するときに読んでいただきたいマニュアルです。本書の内容は、お使いのOSの環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に、Print Server Series(以降、サーバーと呼びます)のクライアントアプリケーションをはじめて使用するかたから、サーバーを管理するかたまでを対象に説明しています。お使いのOSの基本的な知識や操作方法については、OSに付属の説明書をお読みください。また、本書を読み始める前に、次の項目を確認してください。

- 接続対象となる機器やソフトウエアが明確になっていること
- 本機を接続するために必要な製品については、販売店やカタログなどからの情報によって、準備できていること

読み方のヒント

マニュアルの読むべき章を、役割別にまとめます。参考にしてください。

クライアントコンピューター利用者

サーバー管理者に確認後、第2章を参照してドライバーをインストールしてください。次に第3章を参照してServerManager の基本操作を、第4章を参照してクライアントPCからの操作を習得してください。
色の調整をするかたは、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)を参照してください。

サーバー管理者

まず、第1章を参照してサーバーを使う準備をしてください。
その後、第3章を参照してServerManagerの環境を使いやすいように設定してください。
あとは、必要な章を参照してください。

本書の表記

①本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューター、Macintosh、ワークステーション、ホスト装置の総称です。

②本文中では、説明する内容によって、以下のマークを使用しています。

マーク	説明
注記	注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
補足	補足事項を記述しています。
参照	参照先を記述しています。

③本文中では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
参照「　」	参照先は、本書内です。
参照『　』	参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。

「　」：フォルダ、ファイル、アプリケーション、CD-ROM、機能などの名称や入力文字などを表します。
[　]：コンピューター上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニュー、項目などの名称を表します。
〈　〉キー：キーボード上のキーを表しています。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前には必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。
『取扱説明書（プリンター編）』の「安全にご利用いただくために」も、あわせてごらんください。
お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のプリンターサポートデスクへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
注　意　発火注意　破裂注意　感電注意　高温注意　回転物注意　指挟み注意	△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。
禁　止　火気禁止　接触禁止　風呂等での使用禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止	⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。
指　示　電源プラグを抜け　アース線を接続せよ	●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

電源およびアース接続時の注意

	万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。 ●電源コンセントのアース端子 ●銅片などを850mm以上地中に埋めたもの ●接地工事(D 種)を行っている接地端子 ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。 次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。 ●ガス管(引火や爆発の危険があります。) ●電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。) ●水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。) アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。
	機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。
	電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。
	電源コードにものを載せないでください。
	電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。
	同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。 また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

安全にご利用いただくために

注意

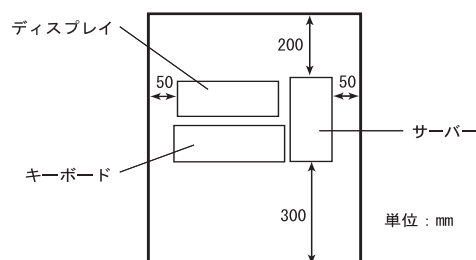
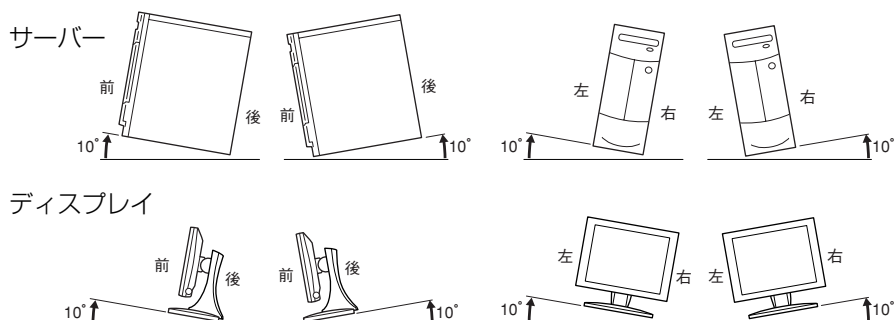
	機械の清掃を行う場合は、機械の電源スイッチおよび配電盤のスイッチを切ってください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
	機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。
	連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

設置時の注意

警告

	機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

注意

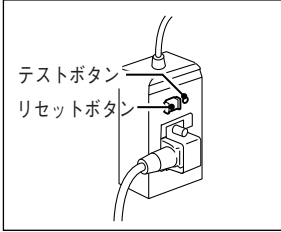
	以下のような場所には機械を設置しないでください。 -発熱器具に近い場所 -揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く -高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所 -直射日光の当たる場所 -調理台や加湿器のそばなど -傾いた場所や不安定な場所
	機械の後部には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。 機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。 以下の設置スペース(上部から見た図)は、DocuPrint CG835 LIIのサーバー部分だけを記載しています。プリンター部の設置スペースについては、『取扱説明書(プリンター編)』をごらんください。 ディスプレイ 200 50 50 サーバー キーボード 300 単位：mm
	機械を10度以上に傾けないでください。 転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。 サーバー 前 後 10° 左 右 ディスプレイ 前 後 10° 左 右

安全にご利用いただくために

機械使用上の注意

警告

	この説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。
	この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。
	次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。 ・ 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき ・ 異常な音やにおいがするとき ・ 電源コードが傷ついたり、破損したとき ・ ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき ・ 機械の内部に水が入ったとき ・ 機械が水をかぶったとき ・ 機械の部品に損傷があったとき ・ 異物が混入したとき
	機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。 - 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの - クリップやホチキスの針などの金属類 - 重いもの 液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。
	レーザーについて 注意：取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。 この機械は、レーザーの国際規格IEC60825(Class 1 レーザー機器)に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは機械内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被爆することはありません。

注意

	機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。 特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。
	本機の電源コードには漏電保護装置が付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して感電や火災などの事故を防ぐためのものです。1か月に1度は機械の電源スイッチを切り、漏電保護装置が正常に働くか確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電保護装置が働かなくなり、感電の原因となるおそれがあります。異常などがある場合は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店までご連絡ください。 なお、漏電保護装置の確認手順は以下のとおりです。 1. 機械の電源を切ります。 2. ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。 リセットボタンが突き出れば、正常に動作しています。 これで確認は終了です。 3. 確認後、リセットボタンを押して、リセットボタンを押し込んだ状態に戻します。

規制について

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。
電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波対策自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に適合しています。

第1章 サーバーをセットアップしましょう

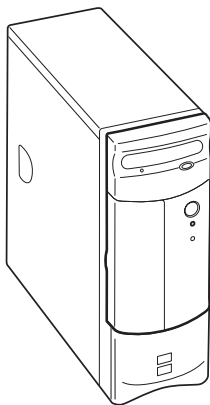
この章では、サーバーのセットアップについて説明します。

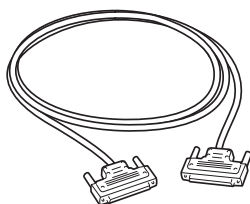
セットアップの前に

同梱品を確認し、サーバーとプリンターを接続して、サーバーを起動します。

プリンターに添付／同梱されている『お使いいただくために』、『取扱説明書（プリンター編）』に参照先として『取扱説明書（サーバー編）』と記載されている場合は、『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）または『取扱説明書（導入編）』（本書）を参照してください。

同梱品を確認する

パッケージを開けたら、サーバー部の同梱品がすべてそろっているか確認します。

サーバー

- サーバー本体
- ソフトウエアCD-ROM 1枚
- リカバリーCD-ROM 2枚
- キーボード
- マウス
- マウスパット
- 電源コード（漏電保護装置付き）
- インターフェイスケーブル（2.8m）

- 工具（プラスドライバー）
- Gray Scale Targetシート
- 取扱説明書（本書）

必要に応じて、以下のものをご用意ください。

オプション製品

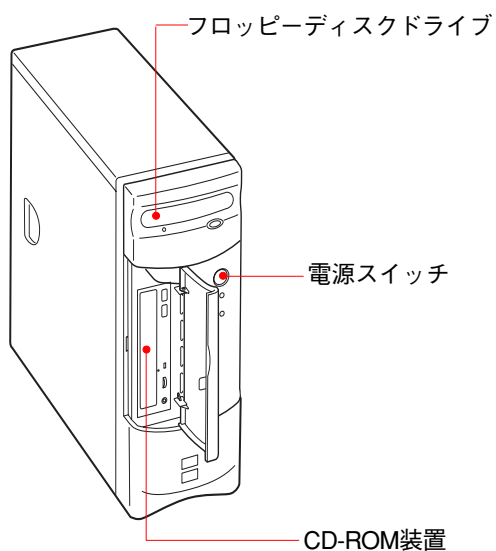
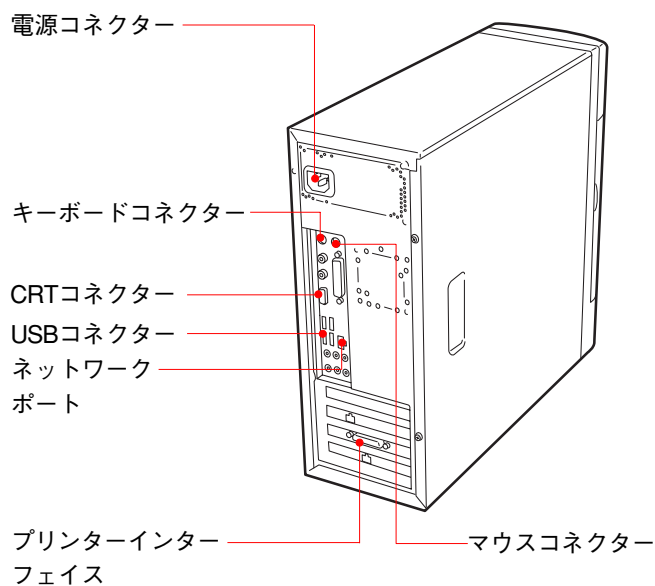
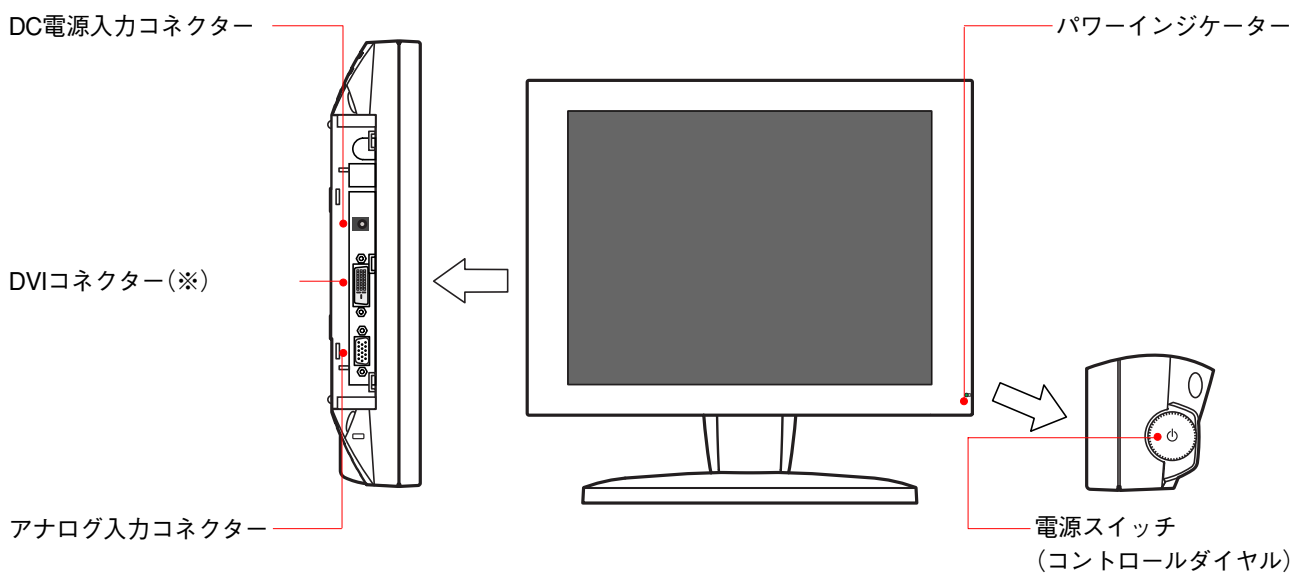
- ディスプレイ（ディスプレイ付属モデルもあります）（AC アダプター、電源コード、アナログ信号ケーブルを含む）
- 増設ハードディスク
- 512MB 追加メモリータイプ2
- インターフェイスケーブル（6m）
- Eye-One（測色器）

そのほかに用意するもの

イーサネットケーブル（使用環境に合ったケーブルを用意してください。）

ソフトウエアCD-ROM、リカバリーCD-ROMは、単品では購入できません。サーバーをセットアップする際には、必ず必要となる重要なソフトウエアですので、大切に保管してください。

各部の名称

● サーバー本体

ディスプレイ（ディスプレイ付属モデルもあります）

※ 本製品では使用しません。

サーバーを設置する

サーバーとディスプレイ※を接続し、プリンターと接続します。
ここでは、すでにプリンターの設置が済んでいることを前提に説明します。プリンターの設置手順については、プリンターに同梱されている『取扱説明書（プリンター編）』を参照してください。

オプション製品を購入された場合は、先にサーバー本体に取り付けておいてください。取り付け方については、「オプション製品について」（95ページ）を参照してください。

- いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
  温度10〜35℃
  湿度15〜80%（結露がないこと）
- 直射日光が当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。

※ここでは、ディスプレイとの接続を例に説明します。

操作手順

1

プリンターに電源が入っている場合は、電源を切ります。

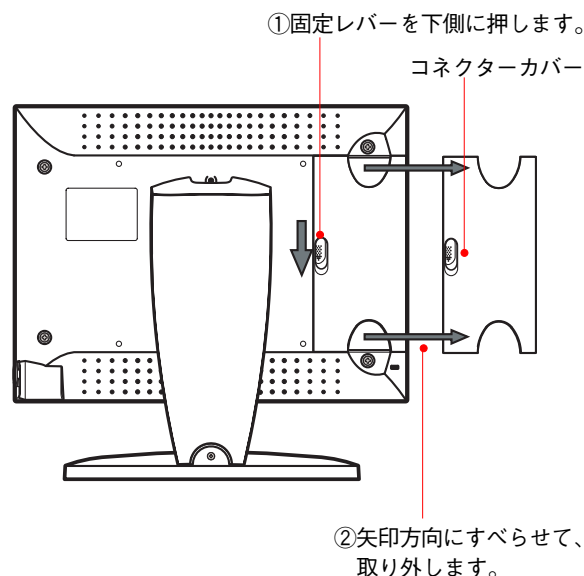
2

マウスをサーバー背面のマウスコネクターに、キーボードをキーボードコネクターに接続します。

3

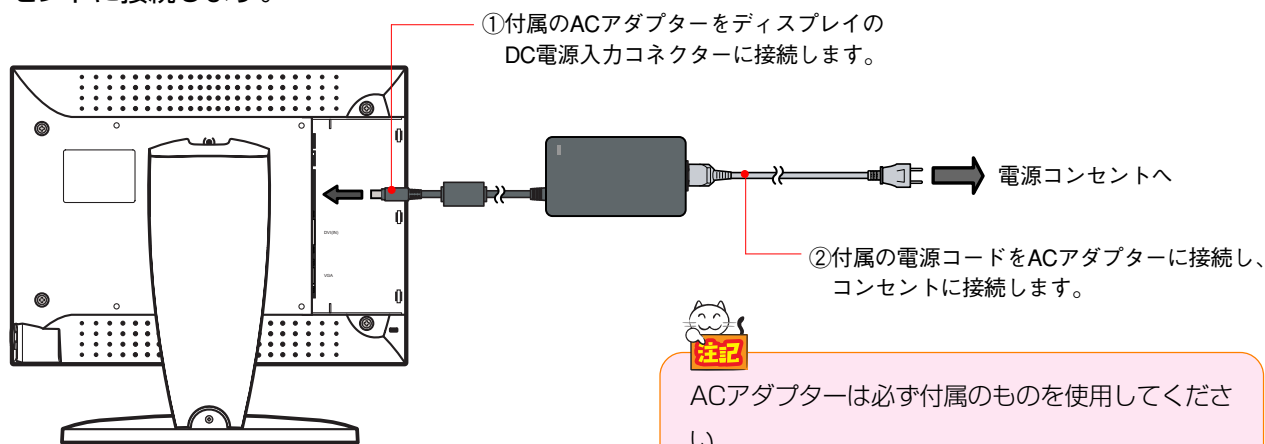
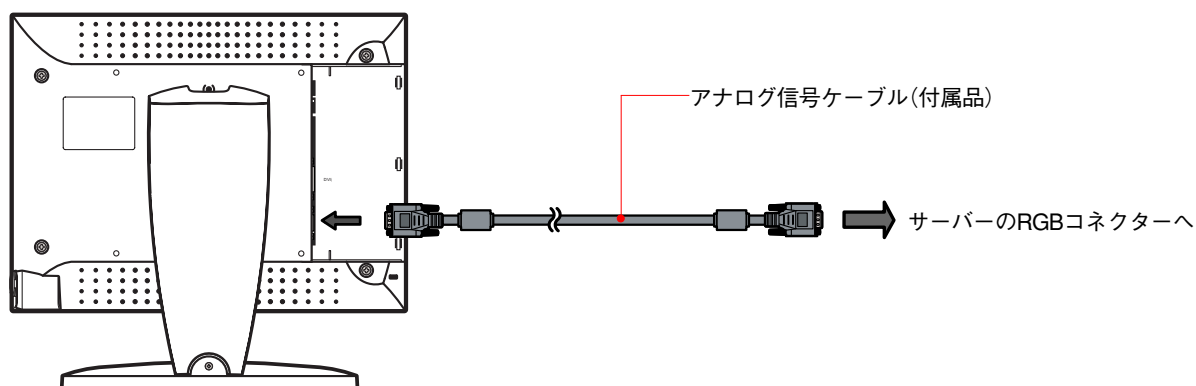
電源コードをサーバー背面の電源コネクターに接続し、電源プラグをコンセントに差し込み、アース線を接続します。

4

図のようにして、ディスプレイ背面のコネクターカバーを矢印方向にすべらせて、取り外します。

5

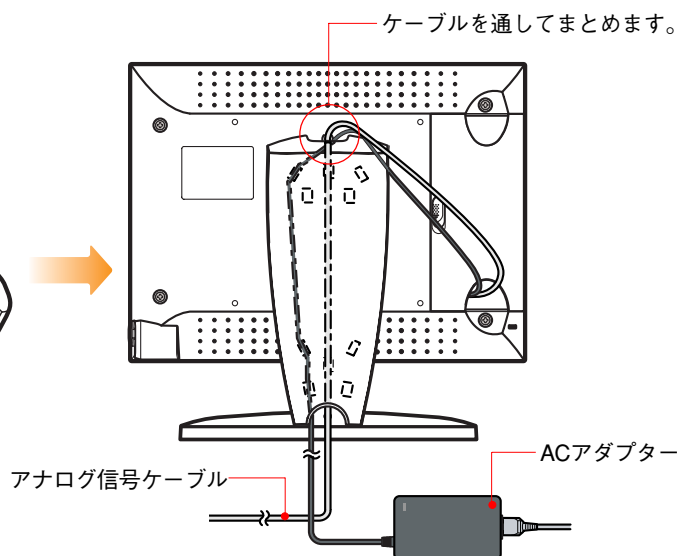
ディスプレイとACアダプターを接続し、コンセントに接続します。

ACアダプターは必ず付属のものを使用してください。

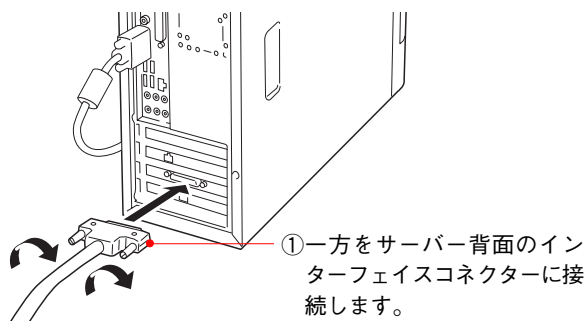
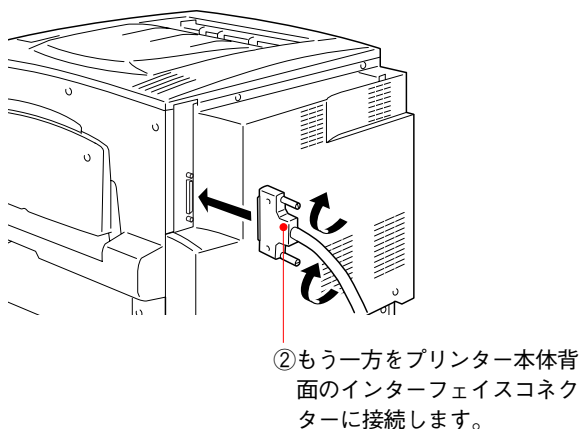
6

サーバー背面のRGBコネクターと、ディスプレイのアナログ入力コネクター「VGA」を、付属のアナログ信号ケーブルで接続します。

補足

接続後、ケーブルが抜けないように、しっかりとネジを締めてください。

7

ディスプレイ背面のケーブルカバーを取り外し、ケーブルホルダーにケーブルを通して固定します。

8

プリンターとサーバーをインターフェイスケーブルで接続します。

サーバー背面

プリンター背面

接続後、ケーブルが抜けないように、しっかりとネジを締めてください。

9

イーサネットに接続するケーブルを、サーバー背面のネットワークポートに接続し、サーバーをネットワークに接続します。

以上で、サーバーの設置は完了です。

サーバーを起動する/停止する

サーバーとプリンターを接続したら、サーバーを立ち上げ、ServerManagerを起動します。

DocuPrint CG835 LIIのサーバーソフトは、Windows 2000上のサービスとして動作していますので、通常はWindows 2000が起動した後、サービスが起動した時点でプリントできるようになります。サーバーを立ち上げるたびにServerManagerを起動する必要はありません。

サーバーを起動する

初めて起動したときは、管理者パスワードを設定します。

操作手順

1

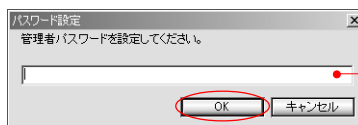
プリンター本体の電源を入れます。

2

ディスプレイ、サーバーの順に電源を入れます。Windows 2000が起動し、続いてServer Managerが自動的に起動します。

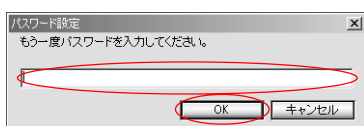
はじめてServerManagerを起動したときは、[パスワード設定]ダイアログボックスが表示されます。「サーバー環境を設定する」(8ページ)に進んでください。

3

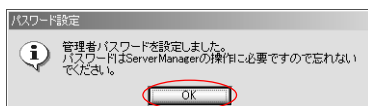
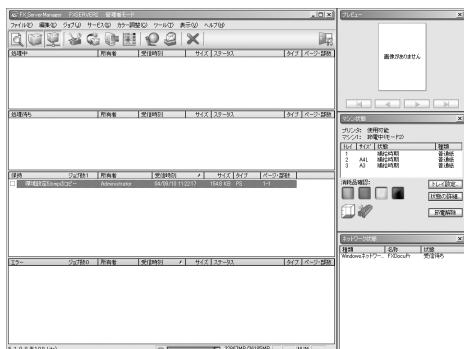
5文字以上の半角英数字で任意のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

- ここで設定したパスワードは、ServerManagerにログインするたびに必要になります。忘れないように厳重に管理してください。
- 工場出荷時では、Windows 2000のAdministratorのパスワードは「printserver_v5.2」に設定されています。
- パスワードはあとで変更することもできます。

確認のため、パスワードの再入力を促すダイアログボックスが表示されます。

4

同じパスワードをもう一度入力し、[OK]をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

5

[OK]をクリックします。

ServerManagerウィンドウが表示されます。ServerManagerウィンドウでは、印刷データやステータスを確認したり、印刷データの操作や設定が行えます。

このあとは
「サーバー環境を設定する」に進んでください。

サーバーを停止する(電源を切る)

1

ServerManagerウィンドウで、[ファイル]メニューから[終了]を選択します。

ServerManagerが終了します。

ServerManagerを終了するときは、管理者でログインしてください。一般ユーザーでログインしている場合や、ログインしていない場合(ログオフの状態)は終了できません。

2

[スタート]→[シャットダウン]を選択します。

[Windows のシャットダウン]ダイアログボックスが表示されます。

3

[シャットダウン]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。

上記の方法でサーバーの電源が切れないときは、サーバーの電源スイッチを4秒以上押してください。強制的に電源が切れます。

サーバー環境を設定する

クライアントからサーバーを介してプリントするために必要なサーバー環境の設定を行います。

ServerManagerにログインしなくても印刷データやステータスの確認はできますが、環境設定や印刷データを操作するには、ServerManagerにログインする必要があります。

IPアドレスを設定する

サーバーのIPアドレスを設定します。

設定を行う前に

ネットワーク管理者に、サーバーのIPアドレス、サブネットマスクなどの情報を確認してください。

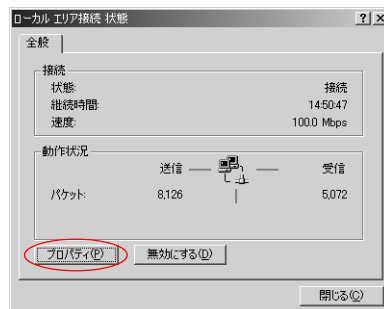
サーバーのIPアドレスは、固定のIPアドレスを割り当てる必要があります。DHCPサーバーから割り当てられる動的なIPアドレスは使用できません。

操作手順

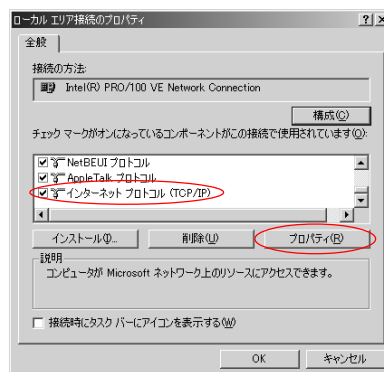
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

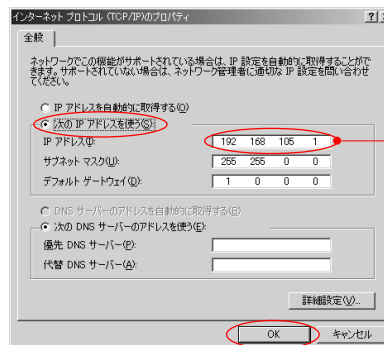
2 [ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックし、[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。

[ローカルエリア接続状態]ダイアログボックスが表示されます。

3 [プロパティ]をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

4 [インターネットプロトコル(「TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

5 [次のIPアドレスを使う]を選択し、サーバーのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

必要に応じて、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレスを入力してください。

必ず固定のIPアドレスを設定してください。

工場出荷時では、IPアドレスは「192.168.105.1」、サブネットマスクは「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイは「0.0.0.0」に設定されています。

6

［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

以上で、サーバーのIPアドレスが設定されました。

Windows 2000のアカウントを設定する

サーバー管理への不正アクセスを防止するために、「Administrator」のパスワードを設定します。パスワードを設定すると、サーバーの起動時にWindows 2000のログインダイアログボックスで、パスワードの入力が必要になります。

設定手順

1

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。

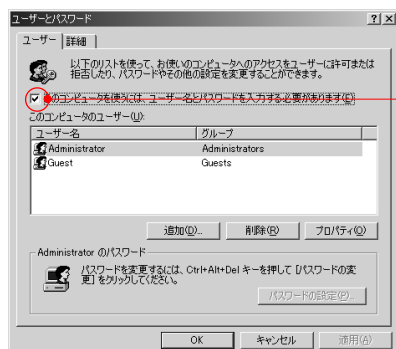
［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

2

［ユーザーとパスワード］をダブルクリックします。

［ユーザーとパスワード］ダイアログボックスが表示されます。

3

［このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります］をチェックします。

4

<Ctrl>キーと<Alt>キーを同時に押しながら、<Delete>キーを押します。

［Windows のセキュリティ］ダイアログボックスが表示されます。

5

［パスワードの変更］をクリックします。

［パスワードの変更］ダイアログボックスが表示されます。

6

以下の項目を入力し、［OK］をクリックします。

古いパスワード

現在のパスワードを入力します。

工場出荷時のAdministratorのパスワードは、「printserver_v5.2」に設定されています

新しいパスワード

半角英数字で新しいパスワードを入力します。任意の文字列を設定できます。空欄でもかまいません。

新しいパスワードの確認入力

同じパスワードをもう一度入力します。

7

［Windowsのセキュリティ］ダイアログボックスで、［キャンセル］をクリックします。［ユーザーとパスワード］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

以上で、「Administrator」パスワードが有効になります。続いてお使いになるネットワークの環境を設定します。

AppleTalkで使用する場合

Macintoshからの印刷データを受信するための設定をします。

AppleTalkの設定をする

ここでは、サーバーが表示されるAppleTalkのゾーンを設定します。

操作手順

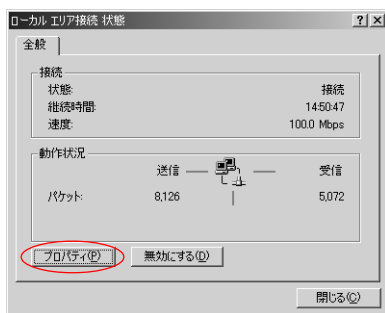
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

2

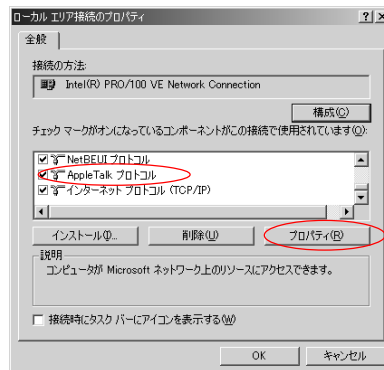
[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックし、[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。

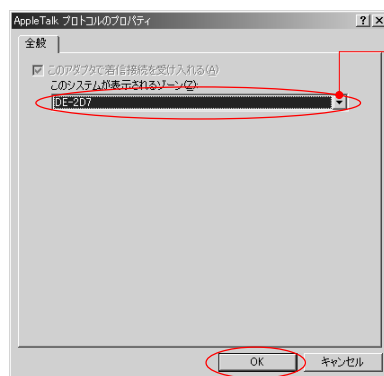
[ローカルエリア接続状態]ダイアログボックスが表示されます。

3

[プロパティ]をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

4

[AppleTalkプロトコル]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

[AppleTalkプロトコルのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

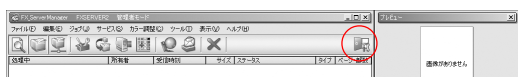
[このシステムが表示されるゾーン]を選択し、[OK]をクリックします。

[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

以上で、サーバーが表示されるAppleTalkのゾーンが設定されました。

続いてServerManagerの設定をします。

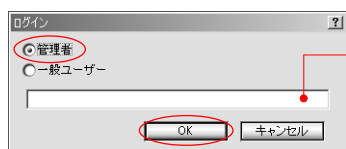
ServerManagerにログインする

操作手順

ServerManagerウィンドウで、をクリックします。

[ファイル]メニューから[ログイン]を選択しても同じ操作が行えます。

[ログイン]ダイアログボックスが表示されます。

2

[管理者]をオンにし、管理者パスワードを入力して、[OK]をクリックします。

ServerManagerが管理者モードになります。

以上で、サーバーの設定や操作ができるようになりました。

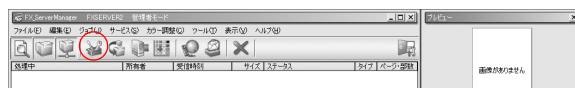
ServerManagerの設定をする

ServerManagerで、AppleTalkからプリントするときに使用するプリンター名を設定します。

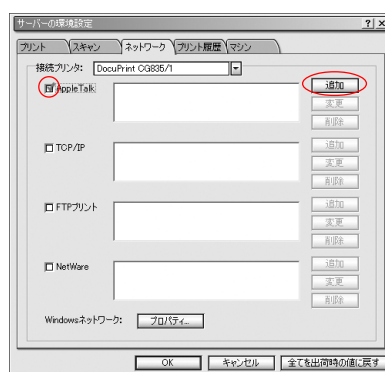
以下の設定を行うには、ServerManagerに管理者でログインする必要があります。

操作手順

ServerManagerで、をクリックします。

[ツール]メニューの[サーバーの環境設定]を選択しても同じ操作が行えます。

[サーバーの環境設定]ダイアログボックスが表示されます。

2

[ネットワーク]タブを選択し、[AppleTalk]をチェックして、[追加]をクリックします。

[AppleTalkの設定]ダイアログボックスが表示されます。

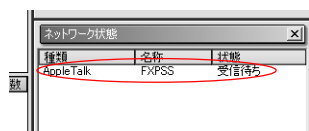
3

AppleTalkからプリントするときに使用するプリンター名を入力し、[OK]をクリックします。

複数のプリンターを設定するときは、手順2〜3を繰り返します。設定できるプリンターは、最大20個です。

同一ゾーン内で複数のプリンターを使用している場合は、それぞれ別のプリンター名を付けてください。

[サーバーの環境設定]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

ServerManagerの[ネットワーク状態]ウィンドウに「AppleTalk」が表示されていることを確認します。

以上で、Macintoshクライアントからの印刷データを受信できるようになりました。

TCP/IPネットワークで使用する場合

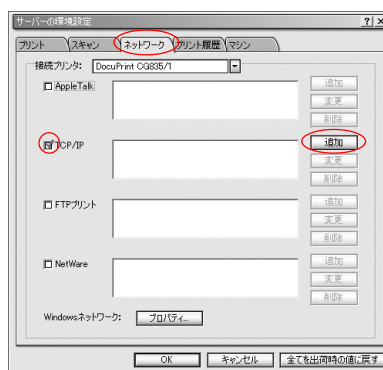
TCP/IPクライアントからのLPR/LPDプリントジョブ、およびFTPプリントジョブを受信するために設定を行います。

以下の設定を行うには、ServerManagerに管理者でログインする必要があります。
→「ServerManagerにログインする」(11ページ)

操作手順

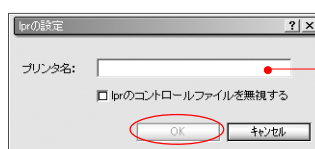
ServerManagerで、をクリックします。
[ツール]メニューの[サーバーの環境設定]を選択しても同じ操作が行えます。

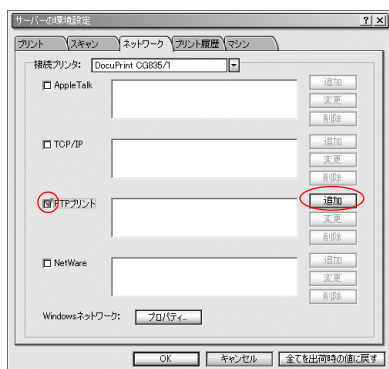
[サーバーの環境設定]ダイアログボックスが表示されます。

[ネットワーク]タブを選択し、[TCP/IP]をチェックして、[追加]をクリックします。

[lprの設定]ダイアログボックスが表示されます。

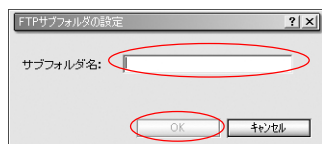
lprからプリントするときに使用するプリンター名を入力し、[OK]をクリックします。

プリンター名には、「FXPSS」をお勧めします。

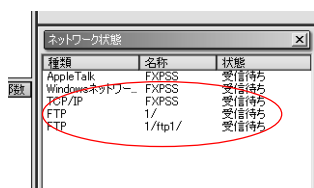
補足

- ここで設定したプリンター名が、クライアントからlpr出力するときのキュー名になります。
- 複数のプリンターを設定するときは、手順2〜3を繰り返します。設定できるプリンターは、最大20個です。

FTPプリントをする場合は、[FTPプリント]をチェックして、[追加]をクリックします。

[FTPサブフォルダの設定]ダイアログボックスが表示されます。

サブフォルダ名を入力し、[OK]をクリックします。

補足

- サブフォルダは、作業用フォルダ「ftp¥folder1」の下に作成されます。
- 複数のフォルダを設定するときは、手順4～5を繰り返します。設定できるプリンターは、最大20個です。

[サーバーの環境設定]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

ServerManagerの[ネットワーク状態]ウィンドウに「TCP/IP」および「FTP」が表示されていることを確認します。

以上で、LPR/LPDプリントジョブ、およびFTPプリントジョブを受信できるようになりました。

スタートアップページのプリント

スタートアップページでは、サーバーのシステム情報や設定情報を確認できます。
スタートアップページには、以下の項目がプリントされます。

- 総プリントページ数
- 全体
- フォント
- ページ記述言語(PDL)
- 画質
- オプション
- 用紙サイズ
- 設定
- サーバー/マシン
- コミュニケーション

操作手順

ServerManagerで、[ファイル]メニューから[スタートアップページの印刷]を選択します。

[スタートアップページの印刷]ダイアログボックスが表示されます。

2

[用紙トレイ]、[排出先]を設定し、[OK]をクリックします

スタートアップページが印刷されます。

Print Server Series
スタートアップページ

2004/09/10 10:53:29

総プリントページ数　0ページ

全体
DocuPrint CG835 Lite/1
カラー：　8ページ/分
モノクロ：35ページ/分

設定
プリント履歴：記録する
カバーページプリント：印刷しない
プレビュー保存：１ページ目のみ保存する
スクリーン方式：アプリケーション
用紙の代用：行う

フォント
PostScript® 和文：2書体
PostScript® 欧文：136書体

ページ記述言語（PDL）
PostScript® 3™ Ver. 3015.102
リビジョン：4
VMサイズ：29.7 MB
フォントキャッシュサイズ：5.0 MB

サーバー／マシン
CPU：1.2 GHz
メモリー：511 MB
ハードディスク：1台
総容量：38.3 GB(35.3 GB)
空き容量：33.2 GB(32.1 GB)
ソフトウェアバージョン：5. 1. 0. 0 (5.1.0.0 Lite)
インターフェースカード
ソフトウェアバージョン　：11.1
フレームメモリー：1024 MB
ドラムカウンター:51981
HTソフトウェアバージョン:01.00.07
IOTバージョン:01.20.12
トレイモジュールバージョン:01.02.01
両面印刷モジュールバージョン:01.04.01

画質
解像度：600dpi
トナー制限
エッジスムージング
Kオーバープリント

オプション
特A3トレイ
トレイモジュール（2段）

両面印刷モジュール

コミュニケーション
100BASE-TX/10BASE-T
MACアドレス：00.20.ED.48.8A.CD
00.03.47.B2.29.2B
TCP/IPアドレス：143.94.244.252
AppleTalk：停止
NetWare：停止
Windowsネットワーク：起動
TCP/IP：停止
ftpプリント：停止

用紙サイズ
トレイ１：-普通紙1（フルカラー用）
トレイ２：A4L-普通紙1（フルカラー用）
トレイ３：A3-普通紙1（フルカラー用）

Adobe,PostScript 3,PostScriptロゴは
Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Adobe® PostScript® 3™

総プリントページ数

全体
出力速度

フォント
標準搭載フォント数

ページ記述言語(PDL)
CPSIのバージョンなど

画　質
解像度、
Kオーバープリントなど

オプション
プリンターに
搭載されている
オプション

用紙サイズ
プリンターに
セットされている
用紙サイズ

設　定
プリント履歴、
スクリーン方式、
用紙の代用など

サーバー/マシン
搭載メモリー量、
CPU、ServerManager
などの各種バージョン

コミュニケーション
ネットワーク接続情報

総プリントページ数は、リカバリーCD-ROM を使ってシステムの再セットアップをすると、「0」にリセットされます。リカバリーCD-ROMについては、『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）「リカバリーCD-ROMの使い方」を参照してください。

第2章 ソフトウエアをインストールしましょう

プリンターとサーバーを接続したら、プリンタードライバーや必要なフォントなどをクライアントPCにインストールします。

INSTALL

The print server is equipped with a high speed Celeron 1.2GHz processor and 1,024 MB of memory so it can quickly process heavy data up to a few hundred mega-bytes with speedy printout from the first sheet. Moreover, RIP* data is stored on the hard disk, allowing fast reprints without the need for an applications or a PC.

インストールの前に

プリンタードライバーや市販のフォントをインストールする前に、クライアントPCの動作環境やプリンタードライバーのインストール方法を確認します。

クライアントPCの動作環境

Macintoshをお使いの場合

サポートしているOS環境

- 漢字Talk7.6.1以降
  ただし、プリンタードライバーは、漢字Talk7.6.1より前のOSにもインストールできます。
- Mac OS X 10.2.6以降
  ただし、プリンタードライバーは、Mac OS X 10.1.5、Mac OS X 10.2.x※、10.3にもインストールできます。
  ※ Mac OS X 10.2はサポートしていません。

必要なシステム環境

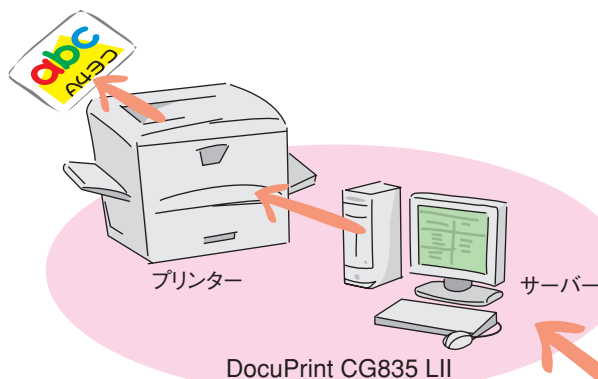
- 68040以降のMacintosh、またはPowerMacintosh
- ハードディスクドライブ
- ネットワーク環境(EtherTalk、TCP/IP)
- Internet Explorer 5.0以降、またはNetscape Communicator 4.5以降

Windowsをお使いの場合

サポートしているOS環境

- Microsoft Windows 95
- Microsoft Windows 98
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows NT 4.0(Service Pack 4以降)
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP

必要なシステム環境

- CPU：Pentium 100MHz以上
- ハードディスクドライブ
- ネットワーク環境(TCP/IP、Microsoft Windows Network※、NetWare※)
  ※ サーバーを使用するために必要な設定については、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)を参照してください。

ドライバー…

プリンターやスキャナー、マウスなどを作動させるために
必要なソフトウエアです。
プリンタードライバーは、プリンターを利用するときに使います。

2 ソフトウエアをインストールしましょう

プリンタードライバーとは？

アプリケーションで作成されたデータを、印刷形式（用紙サイズ、方向、カラー印刷、グレースケール印刷など）を指定して、プリンターに渡すためのソフトウエアです。

プリンターによって印刷機能が違うため、それぞれのプリンターの機能に合ったプリンタードライバーが必要になります。たとえば、A3用紙に印刷できないプリンターでは、A3用紙は指定できません。

インストールの方法

プリンタードライバーのインストールには、次の方法があります。

- サーバーに同梱されているCD-ROMからインストールする
- サーバーからダウンロードしてインストールする

CD-ROMからインストールする場合

同梱されているCD-ROMには、以下のファイルやフォルダが含まれています。
Macintoshの場合はファイル名に「Installer」、Windowsの場合は拡張子に「.exe」がついているファイルをダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

Macintosh

- Client
  - AdobePS_J_Installer (Mac OS 8.6J以降のPowerMac用)
  - AdobePS87_J_Installer (Mac OS 8.1J以降のPowerMac用)
  - AdobePS852_J_Installer (Mac OS 8.1J以降のPowerMac用)
  - AdobePSPlugin_Installer_TP (PowerMac用プラグイン)
  - AdobePS852PI_Installer_TP (68K用プラグイン)
  - OS X
    - X10.1_PSS52_PPD.dmg (Mac OS X 10.1.5用PPD)
    - X10.2_PSS52_PPD.dmg (Mac OS X v10.2.x用PPD)
    - DropPrint_Installer_TP.dmg (DropPrintLite)
    - StatusMonitor_Installer_TP.dmg (StatusMonitor)
  - DropPrintLite_Installer (DropPrintLite)
  - ScreenFont1J_2/2J/3J (スクリーンフォント)
  - StatusMonitor_Installer (StatusMonitor)
  - FXPSSICC_P_TP.sit (ICCプロファイル)
  - PSTool 2.0 (PSTool)
  - eye-one Reader
    - eye-one_Reader （Eye-One用測色ソフト）

Windows

- Client
  - AdobePS453J(Windows 95/98/Me用)
    - setup.exe
  - AdobePS522J(Windows NT 4.0用)
    - setup.exe
  - PSPlugin for Windows2000 (Windows 2000/XP用)
    - DPCG835
      - Fxpsf22.inf
  - PPD for PageMaker
    - Fx83pf22.ppd
  - Drop Print
    - DropPrint_Installer_TP.exe
  - eye-one Reader
    - eye-one_Reader.exe （Eye-One用測色ソフト）

（フォルダアイコン）はフォルダ、（ファイルアイコン）はファイルを表しています。

サーバーに同梱されている
インストールCD-ROMから
インストールします。

クライアントPC

サーバーからダウンロードする場合

サーバーから、以下のソフトウエアをダウンロードできます。

ソフトウエア	Macintosh				Windows	
	Mac OS X 10.2.8/10.3.9/ 10.4.6	Mac OS X 10.1.5	Mac OS		95/98/ Me/NT	2000/XP
			Power PC	68K		
基本セット	○	—	○	○	○	○
プリンタードライバー	—	—	—	○	○	—
プリンタードライバー1※1	—	—	○	—	—	—
プリンタードライバー2※1	—	—	○	—	—	—
プリンタードライバープラグイン	○※3	—	○	○	—	○
プリンター記述ファイル	○※3	○	—	—	—	—
スクリーンフォント(1/2/3)※2	—	—	○	○	—	—
PageMaker用PPD	—	—	—	—	○	○
DropPrintLite (DropPrintLite)	○	—	○	○	○	○
StatusMonitor	○	—	○	○	—	—
ICCプロファイル	—	—	○	○	○	○

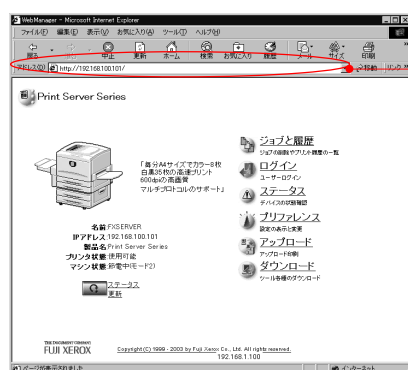
※1 PowerPC用に2種類のドライバーを提供しています。
　プリンタードライバー1…Mac OS8.6J以降のPowerPC用
　プリンタードライバー2…Mac OS8.1J以降のPowerPC用
※2 Mac OS X 10.1.5、10.2および10.3.x用のスクリーンフォントはPowerPC用からダウンロードしてください。
※3 Mac OS X 10.4.6のIntelプロセッサのネイティブコードに対応しています。

基本セットでは、クライアントPCで使用できるソフトウエアをまとめてダウンロードできます。ただし、プリンタードライバー2は基本セットに含まれていません。使用する場合は、個別にダウンロードしてください。

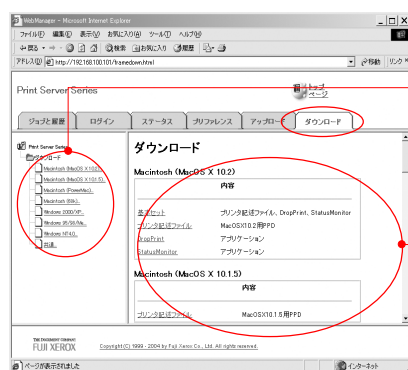
ここでは例として、Internet Explorerを使ってサーバーからソフトウエアをダウンロードする手順について説明します。

操作手順

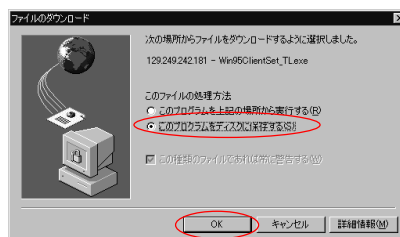
Internet Explorerを起動し、[アドレス]欄に「http://」に続けてサーバーのIPアドレスを入力し、<Enter>キーを押します。

WebManager画面が表示されます。

「http://」に続けてサーバーのIPアドレスを入力します。

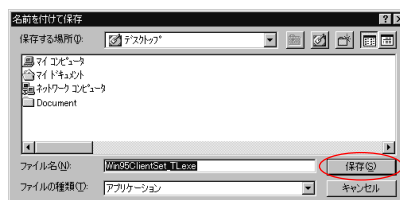
2

[ダウンロード]をクリックし、左側のフレームからお使いのOSを、右側のフレームからインストールするソフトウエアをクリックします。

[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されます。

3

[このプログラムをディスクに保存する]を指定して、[OK]をクリックします。

[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

4

保存する場所を指定して、[保存]をクリックします。

ソフトウエアのダウンロードが開始されます。

5

基本セット、プリンタードライバー、PPDをダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

ファイルが解凍されます。

基本セットを解凍した場合は、さらに解凍したフォルダーにあるプリンタードライバー、PageMaker用PPDを解凍します。

以上で、ソフトウエアのダウンロードは完了です。

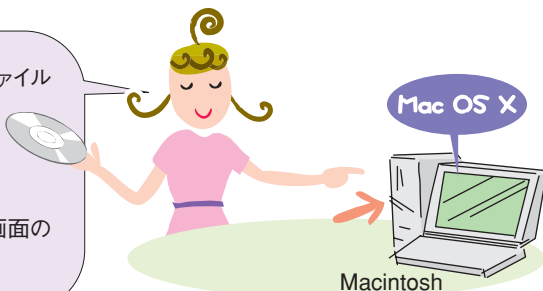
続いてソフトウエアをインストールする場合は、次ページ以降の該当するコンピューターの節を参照してください。

Macintoshをお使いの場合

お使いのOSに応じて、操作方法が異なります。

- Mac OS Xをお使いの場合：「Mac OS X用プリンターを作成する」(下記)に進んでください。
- PowerMacをお使いの場合：「Macintosh用プリンタードライバーをインストールする」(21ページ)に進んでください。

Mac OS X用プリンターを作成する

Mac OS X用プリンター記述ファイル(PPD)をMac OS X 10.1.5または10.2.x／10.3.x以降のMacintoshにインストールします。
ここでは、Mac OS X 10.2.8の画面の例で説明します。

補足

Mac OS Xをお使いの場合は、プリンタードライバーのインストールは必要ありません。OSに付属のLaserWriter用プリンタードライバーを使用します。

操作手順

1

CD-ROMの「Client」フォルダの「OS X」フォルダー内にあるX10.2_PSS52_PPD.dmgアイコンをダブルクリックし、マウントされたX10.2_PSS52_PPDボリューム内のFXPSS_DPCG835LⅡ_V52_102.pkgをダブルクリックします

- 10.1.5の場合：
  「X10.1_PSS52_PPD.dmg」ファイル
- 10.2.x/10.3/10.4の場合：
  「X10.2_PSS52_PPD.dmg」ファイル

管理者パスワードを求める画面が表示された場合は、[🔒]ボタンをクリックし、表示される[認証]画面で管理者のパスワードを入力してください。
インストール画面が表示されます。

2

[続ける]をクリックします。

[インストール先を選択]画面が表示されます。

3

インストール先を選択し、[続ける]をクリックします。

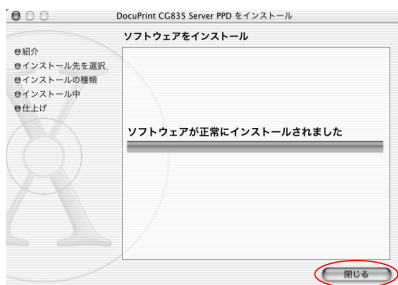
[簡易インストール]画面が表示されます。

4

[インストール]をクリックします。

インストールが始まります。インストールが終了すると、次の画面が表示されます。

5

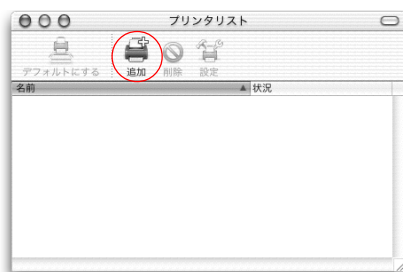
[閉じる]をクリックします。

以上で、PPDファイルのインストールは完了です。
続いて手順6に進み、プリンターの作成を行います。

6

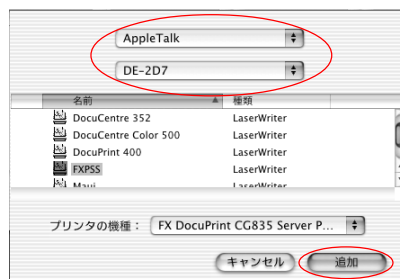
「Applications」フォルダ→「Utilities」フォルダーの順に開き、Print Centerアイコンをダブルクリックします。

[プリンタリスト]ウィンドウが表示されます。

7

[追加]をクリックします。

次の画面が表示されます。

8

[AppleTalk]、およびサーバーが属しているゾーンを選択し、リストからサーバーを選択して、[追加]をクリックします。

9

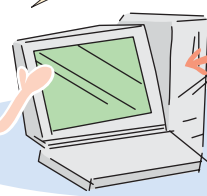
[プリンタリスト]ウィンドウを閉じます。

Macintosh用プリンタードライバーをインストールする (68K/PowerPC搭載のMacintosh)

お使いのMacintoshに応じて、以下のファイルをインストールしてください。

- 68Kをお使いの場合：
  AdobePS852_J_InstallerとAdobePS852PI_Installer_TP
- PowerMac(Mac OS8.1J以降)をお使いの場合：
  AdobePS87_J_InstallerとAdobePSPlugIn_Installer_TP
- PowerMac(Mac OS8.6J以降)をお使いの場合：
  AdobePS_J_Installer とAdobePSPlugIn_Installer_TP

補足

PowerMac(Mac OS8.1J以降)用のプリンタードライバーは、基本セットに含まれていません。使用する場合は、プリンタードライバー2を個別にダウンロードしてください。

インストールの前に

Macintosh 68K用のAdobePS8.5.2Jドライバーを、Mac OS8.5以降のPowerMacで使用するときは、AdobePS8.5.2Jドライバーをインストールする前に、機能拡張フォルダー内の「PrintingLib」を削除してください。

操作手順

1

CD-ROMをセットし、プリンタードライバーをダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

2

[続ける]をクリックして、インストールを続行します。

エンドユーザーライセンス契約書が表示されます。

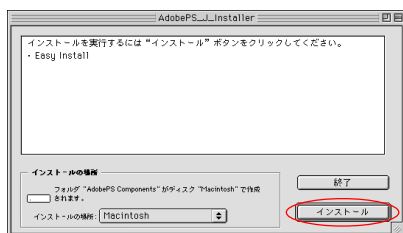
3

[同意]をクリックします。

AdobePSのインストール画面が表示されます。

4

[インストール]をクリックします。

インストールが始まります。インストールが終了すると、インストーラーを終了するためのウィンドウが表示されます。

5

[終了]をクリックし、インストーラーを終了します。

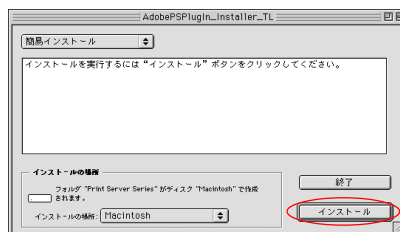
続いてプリンタードライバープラグインをインストールします。

6

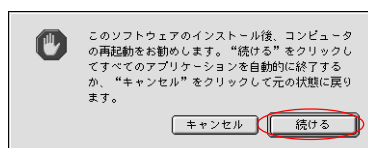
ダウンロードしたプラグインをダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

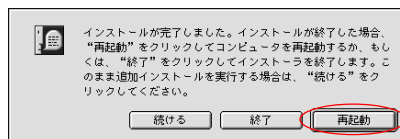
7

[インストール]をクリックします。

インストール後に再起動を勧めるウィンドウが表示されます。

8

[続ける]をクリックします。

インストールが終了すると、コンピューターを再起動するためのウィンドウが表示されます。

9

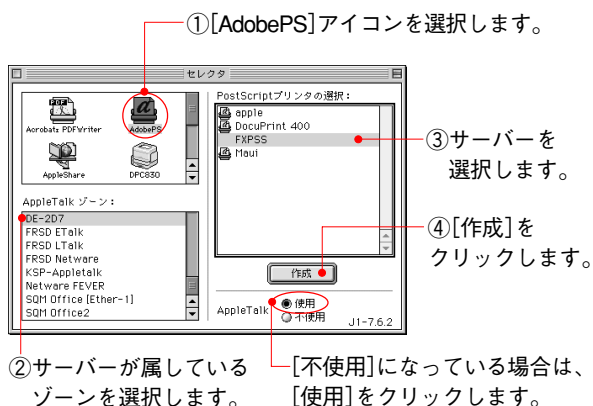
[再起動]をクリックし、コンピューターを再起動します。

以上で、プリンタードライバーのインストールは完了です。
続いて手順11に進み、プリンターの作成を行います。

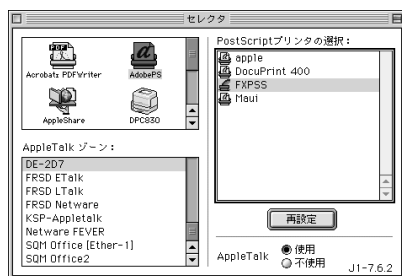
10

アップルメニューから[セレクタ]を選択します。

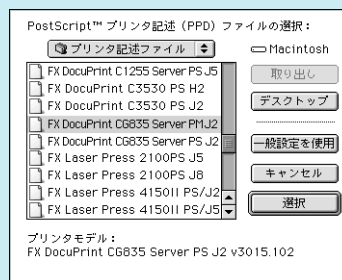
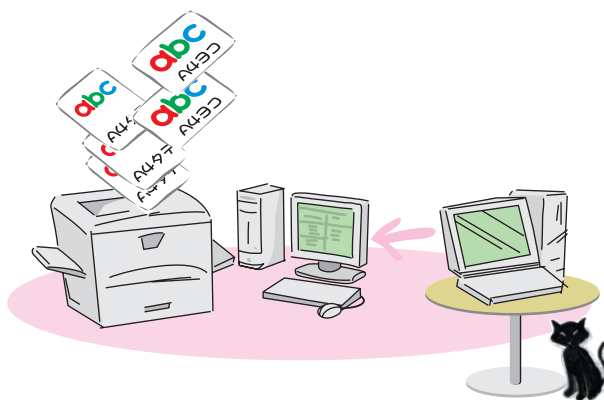
[セレクタ]ウィンドウが表示されます。

11

[AdobePS]アイコンを選択し、[AppleTalkゾーン]からサーバーが属しているゾーンを選択します。次に、[PostScriptプリンタの選択]に表示されたリストからサーバーを選択し、[作成]をクリックします。
サーバーの名称やゾーン名がわからない場合は、使用しているネットワーク管理者に確認してください。

サーバーの機種に合ったAdobePSドライバー用のPPDファイル(FX DocuPrint CG835 PSS-52 PS H2)が自動的に選択され、プリンターの作成が完了します。

補足

PageMakerからプリントする場合は、[セレクタ]ウィンドウの[再設定]をクリックし、表示された画面で[PPDの選択]をクリックして、次のPPDを選択してください。

●FX DocuPrint CG835 PSS-52 PM H2

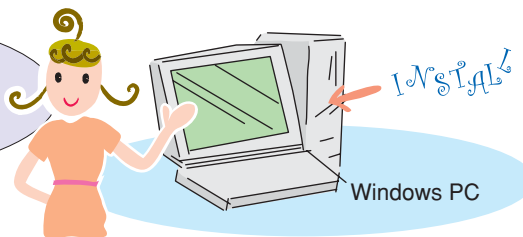
12

[セレクタ]ウィンドウを閉じます。

Windowsをお使いの場合

ここでは、Windows 2000/XP用のプリンタードライバーのインストールについて説明します。

Windows 95/98/Me/Windows NT 4.0用のプリンタードライバーのインストールについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)を参照してください。

Windows 2000/XP用のプリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストールは、
共有プリンターを使う場合と
使わない場合で異なります。

INSTALL
Windows PC

インストールの前に

起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。

プリンタードライバーのインストールは、Administrator権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

ここでは例として、Windows 2000でStandard TCP/IPを使用する場合について説明します。

操作手順

タスクバーの[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択します。

[プリンタ]ウィンドウが表示されます。

2

[プリンタの追加]をダブルクリックします。

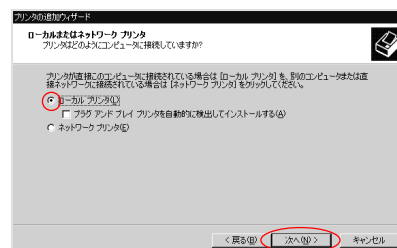
[プリンタの追加ウィザード]が表示されます。

3

[次へ]をクリックします。

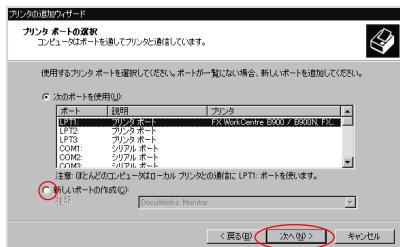
[ローカルまたはネットワークプリンタ]画面に変わります。

4

[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

[プリンタポートの選択]画面に変わります。

2 ソフトウエアをインストールしましょう

5

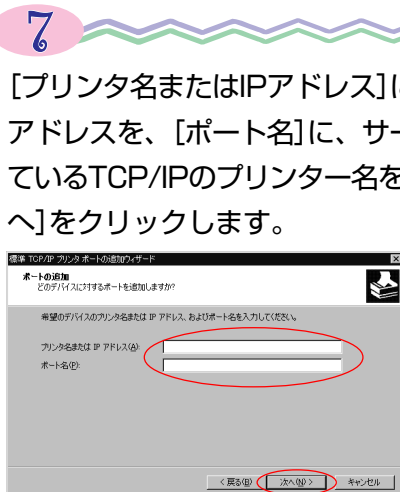
[新しいポートの作成]を選択し、[種類]で[Standard TCP/IP Port]を選択し、[次へ]をクリックします。

[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]が表示されます。

6

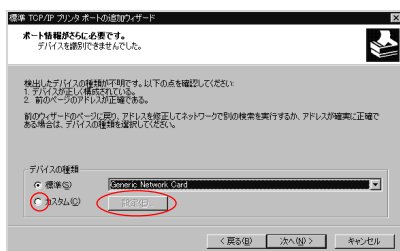
[次へ]をクリックします。

[ポートの追加]画面に変わります。

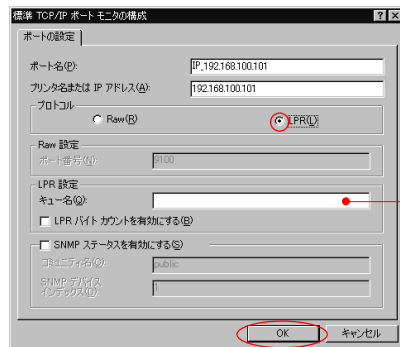
7

[プリンタ名またはIPアドレス]にサーバーのIPアドレスを、[ポート名]に、サーバーに設定しているTCP/IPのプリンター名を入力して、[次へ]をクリックします。

ポート情報を詳細に設定する画面が表示されます。

8

[デバイスの種類]で[カスタム]を選択し、[設定]をクリックします。

[標準TCP/IPポートモニタの構成]ダイアログボックスが表示されます。

9

[プロトコル]で[LPR]を選択し、[LPR設定]の[キュー名]にサーバーに設定してあるTCP/IPのプリンター名を入力して、[OK]をクリックします。

「TCP/IPネットワークで使用する場合」(12ページ)の手順3で設定した名前を入力します。

Rawモードはサポートしていません。

10

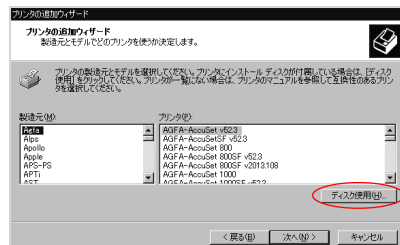
[プリンタの追加ウィザード]画面に戻ったら、[次へ]をクリックします。

11

[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]の完了画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

プリンターの製造元とモデルを選択するダイアログボックスが表示されます。

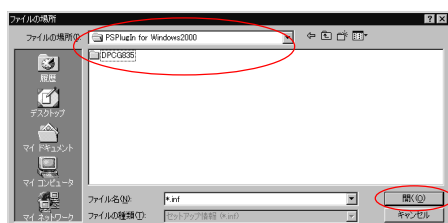
12

[ディスク使用]をクリックします。

13

[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されたら、[参照]をクリックします。

[ファイルの場所]ダイアログボックスが表示されます。

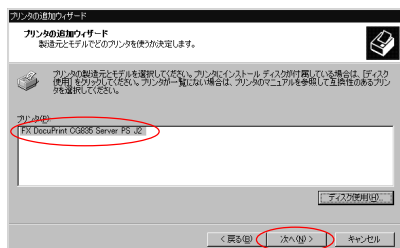
14

CD-ROM内の[Client]フォルダーにある[PSPlugIn for Windows2000]フォルダーを指定し、[DPCG835]→[Fxpsf22.inf]を選択して、[開く]をクリックします。

15

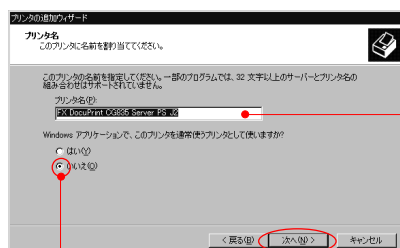
[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスに戻ったら、[OK]をクリックします。

PPDが表示されます。

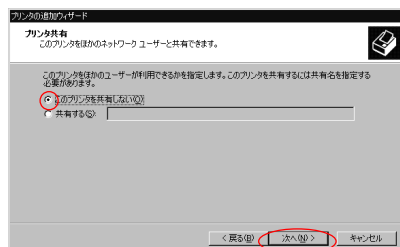
16

[FX DocuPrint CG835 Server PS H2]を選択して、[次へ]をクリックします。

[プリンタ名]画面に変わります。

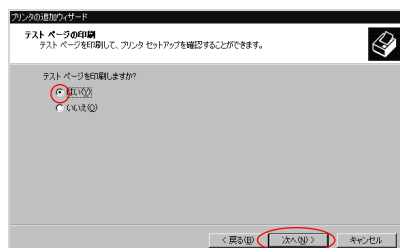
17

以下の項目を設定し、[次へ]をクリックします。

[プリンタ共有]画面に変わります。

18

プリンターを共有する場合は[共有する]を指定し、プリンターの共有名をテキストボックスに入力します。共有しない場合は[このプリンタを共有しない]を指定し、[次へ]をクリックします。

[テストページの印刷]画面に変わります。

19

インストールの完了後にテストページをプリントする場合は[はい]を指定し、[次へ]をクリックします。

20

[プリンタの追加ウィザード]の完了画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
表示されるデジタル署名の画面で[はい]をクリックして、インストールを終了します。

21

[プリンタ]ウィンドウを閉じます。

PageMakerを使用する場合、PageMaker用PPDをインストールしてください。
PageMaker用PPDのインストールについては、「PageMaker用PPDのインストール」(30ページ)を参照してください。

以上でドライバーのインストールは完了です。

便利なソフトウエアをクライアントPCにインストールする

DocuPrint CG835 LIIでは、プリント作業をサポートする以下の便利なソフトウエアを用意しています。
必要に応じて、インストールしてご利用ください。

● DropPrintLite(Macintosh, Windows)

ドキュメントを作成したアプリケーションを開かずに、印刷データをサーバーに送信するためのソフトウエアです。クライアントPCにインストールして使います。

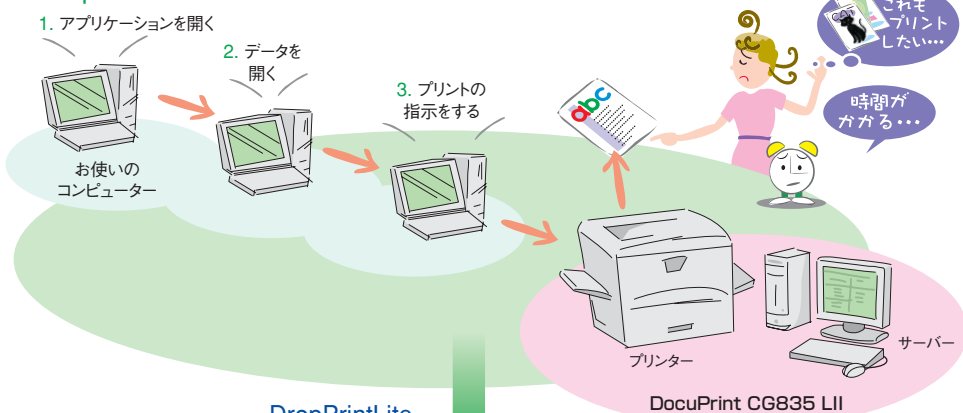
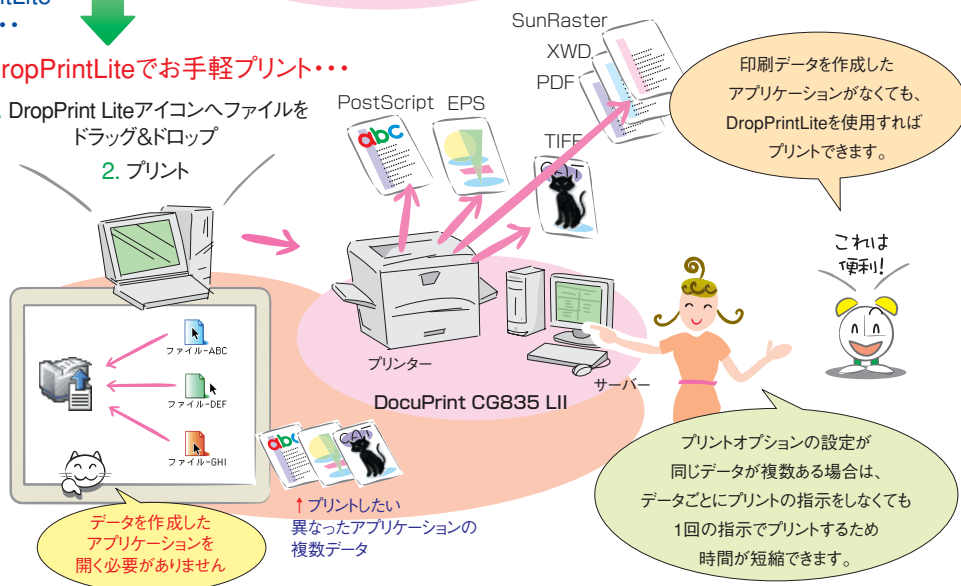
DropPrintLiteを使うと、ドキュメントを作成したアプリケーションがなくてもプリントできます。また、プリントオプションが同じ設定の複数の印刷データをプリントするときは、印刷データごとにプリント指示をしなくても1回の指示でプリントできます。

DropPrintLiteでは、以下のファイルフォーマットをプリントできます。

● PostScript ● EPS ● PDF ● TIFF
● SunRaster ● XWD

● Status Monitor(Macintosh のみ)

AppleTalkプロトコルを使用して、Macintoshからサーバーや印刷データの状態を確認するためのソフトウエアです。

● サーバーに送信した印刷データを確認したり、保存した印刷データを削除できます。
● サーバーの状態、プリンターにセットされている用紙サイズや用紙の残量、トナー量などを確認できます。

Macintoshをお使いの場合

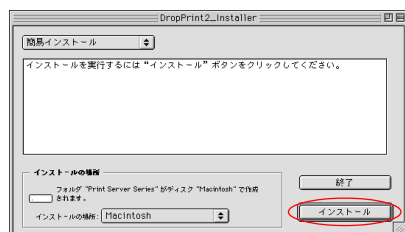
インストールの前に

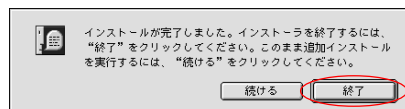
起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。

ここでは例として、DropPrintLiteをインストールするときの手順を説明します。

操作手順

1. CD-ROM内のDropPrintLiteのアイコンをダブルクリックします。
インストーラーが起動します。

2. [インストール]をクリックします。

インストールが始まります。インストールが終了すると、インストーラーを終了するためのウィンドウが表示されます。

3. [終了]をクリックして、インストーラーを終了します。

以上で、DropPrintLiteのインストールは完了です。

「DropPrintLiteを使ってプリントする」
（57ページ）

Windowsをお使いの場合

インストールの前に

起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。

ここでは例として、DropPrintLiteをインストールするときの手順を説明します。

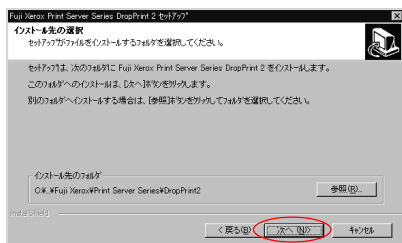
操作手順

1. CD-ROM内の[Client]フォルダにある[DropPrint]フォルダを開き、DropPrintLiteのアイコンをダブルクリックします。
DropPrintLiteのインストーラーが起動し、次のような画面が表示されます。

2. [次へ]をクリックします。

[インストール先の選択]ダイアログボックスが表示されます。

3

インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして、インストールディレクトリを指定します。
[次へ]をクリックします。

インストールが開始されます。
インストールが終了すると、ウィザードの完了画面が表示されます。

4

[完了]をクリックして、インストールを終了します。

以上で、DropPrintLiteのインストールは完了です。

「DropPrintLiteを使ってプリントする」
(57ページ)

PageMaker用PPDのインストール

PageMakerから印刷する場合は、専用のPPDファイルをインストールする必要があります。

操作手順

1

CD-ROM内の[Client]フォルダーにある[PPD for PageMaker]フォルダーを開き、PageMaker用PPDファイル(Fx83pf22.ppd)を、以下のディレクトリにコピーします。

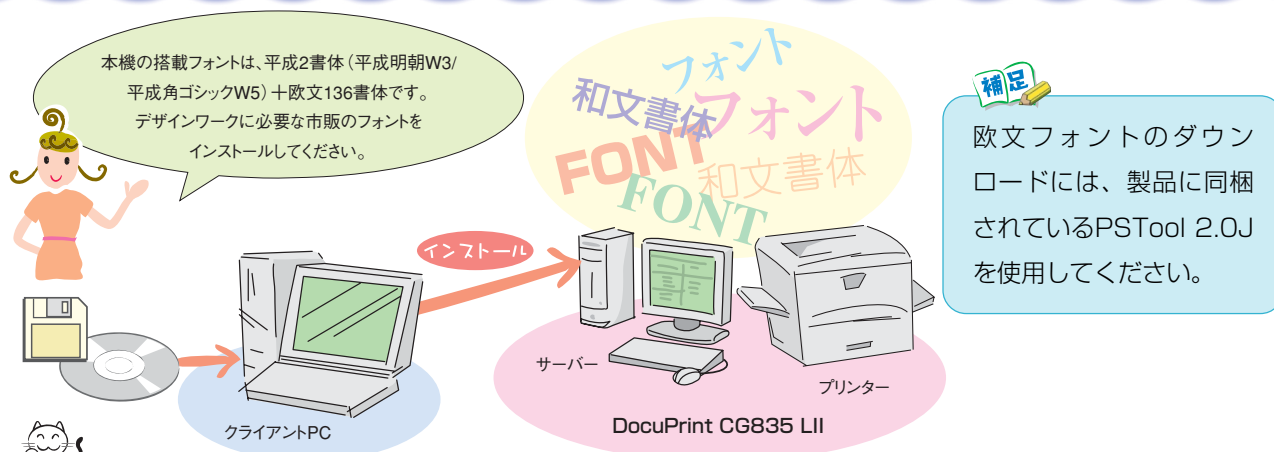
- PageMaker6.5J/7.0Jの場合
  PageMakerのインストールディレクトリ¥Rsrc¥Japanese¥PPD4
- PageMaker6.0Jの場合
  PageMakerのインストールディレクトリ¥Rsrc¥PPD4

以上で、PageMaker用PPDのインストールは完了です。

市販のフォントをインストールする

補足

欧文フォントのダウンロードには、製品に同梱されているPSTool 2.0Jを使用してください。

注記

- 市販フォントをインストールする場合は、まずServerManagerの［ツール］メニューから［サーバーの環境設定］を選択し、［ネットワーク］タブからAppleTalkのプリンターを作成してください。そのあと、市販フォントをインストールしてください。
  AppleTalkのプリンターの作成方法は、「AppleTalkで使用する場合」（10ページ）を参照してください。
- フォントをインストールするときは、必ずサーバーとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れておいてください。

操作手順

1

サーバーの［FX_ServerManager］ウィンドウで、［ファイル］→［特別］→［フォントダウンロード開始］を選択します。

［フォントダウンロード開始］を選択すると、［フォントダウンロード終了］を選択するまで、プリント処理は行われません。

2

クライアントのMacintoshのセレクタ（漢字Talk 7.6.1以降）またはプリントセンター/プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X）で、フォントダウンロード用のプリンターに接続します。

フォントダウンロード用のプリンター名は、「XXX-Font」になります（「XXX」には、AppleTalkのプリンター名が表示されます）。

3

フォントメーカーのインストール手順に従い、インストールします。

4

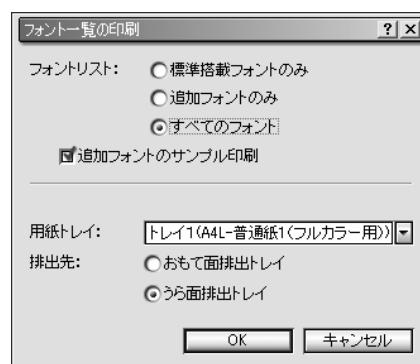
インストールが終了したら、［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントダウンロード終了］を選択します。

5

フォントのインストールがすべて完了したら、［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］メニューから［フォントの更新］を選択します。

6

フォント一覧をプリントし、正常にインストールされているか確認します。

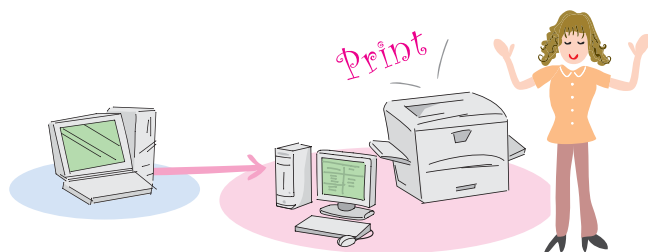
① ［フォントリスト］で［すべてのフォント］を選択し、［追加フォントのサンプル印刷］をチェックします。

② [用紙トレイ]、[排出先]を設定して、[OK]をクリックします。

フォント一覧がプリントされます。

ほかにもインストールしたいフォントがあるときは、手順1～4を繰り返します。
フォントメーカーによっては、一度に複数の書体をインストールできる場合もあります。各フォントメーカーのインストール手順に従ってください。

安全のため、フォントのバックアップを作成し、CD-Rなどで保管しておくことをお勧めします。万一トラブルが起きたときに、復旧作業の時間を短縮できます。フォントのバックアップについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「4.2 フォント情報の確認とバックアップ」を参照してください。

プリントしましょう

基本的なプリント操作や、サーバーの基本的な機能の使い方、使用できる用紙について説明します。

DESKTOP PUBLISHING

The printer helps eliminate errors before the file is sent to the print process through its warning system, highlighting overprint areas, alerting the user if the image data is in RGB, rather than CMYK, which is necessary for printing, and indicating where lines are too thin to show up in printing.

The print server is equipped with a high speed Celeron 1.2GHz processor and 1,024 MB of memory so it can quickly process heavy data up to a few hundred mega-bytes with speedy printout from the first sheet. Moreover, RIP* data is stored on the hard disk, allowing fast reprints without the need for an applications or a PC.

プリントの基本操作

印刷データをプリントするには、クライアントPCから直接プリントする方法と、サーバーで編集してプリントする方法があります。

クライアントPCやシステム構成によって、異なる場合があります。

基本的なプリント操作の流れ

カラー・用紙の種類・画質などを設定し［プリント］ボタンを押すと、印刷データがサーバーに送信されます。

通常のプリント

1

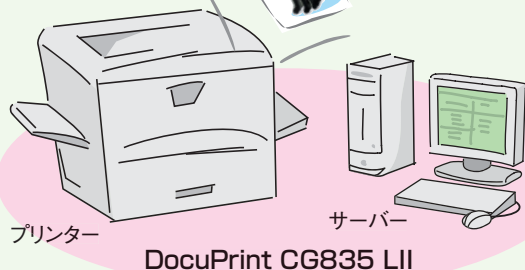
1. プリントオプションを設定
2. 印刷データを
   サーバーに送信します。

クライアントPC

スプールオプションで「保存しない」を選択します。

送信

2

プリント

プリンター　サーバー

DocuPrint CG835 LII

クライアントPCから、直接プリントされます。

サーバーで編集してプリント

1

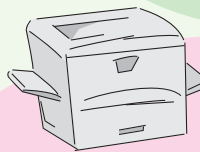
スプールオプションで「プリントせずに保存する」を選択します。

クライアントPC

送信

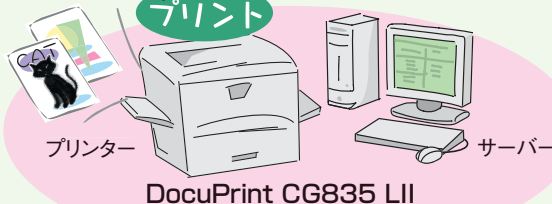
2

保存　編集

1. 印刷データのプリントオプションを設定・編集します。
2. プリントの指示をします。

プリンター　サーバー

DocuPrint CG835 LII

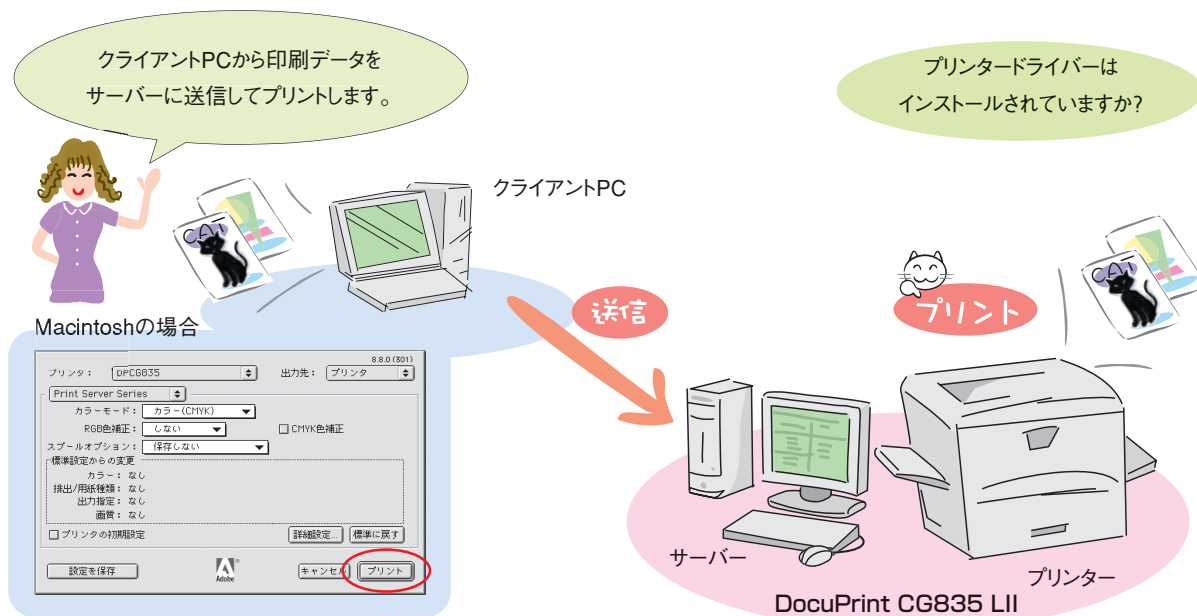
3

プリント

プリンター　サーバー

DocuPrint CG835 LII

サーバーで編集された印刷結果になります。

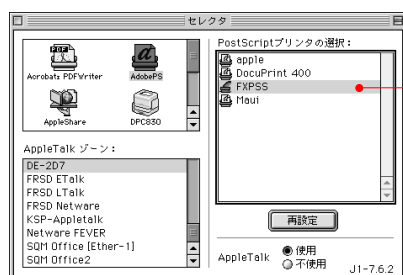
印刷データをプリントする

ここでは、クライアントPCからプリントする手順について説明します。

Macintoshをお使いの場合

ここでは例として、Mac OS 9.2.2の画面を使って説明します。

操作手順

セレクタ(漢字Talk 7.6.1以降)またはプリントセンター/プリンタ設定ユーティリティ(Mac OS X)で、Print Server Seriesのサーバーを、使用するプリンターとして選択します。

補足

- PageMakerからプリントする場合は、PageMaker用のPPDファイル(「FX DocuPrint CG835 PSS-52 PM H2」)を使用します。選択されているPPDファイルの確認、およびPPDファイルの変更方法については、「Macintosh用プリンタードライバーをインストールする(68K/PowerPC搭載のMacintosh)」(21ページ)を参照してください。
- サーバーの名称やゾーン名がわからない場合は、使用しているネットワークの管理者に確認してください。

3 プリントしましょう

2

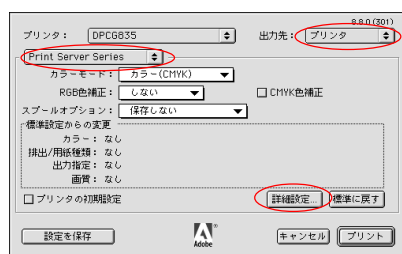
セレクタ(漢字Talk 7.6.1以降)またはプリントセンター/プリンタ設定ユーティリティ(Mac OS X)を閉じます。

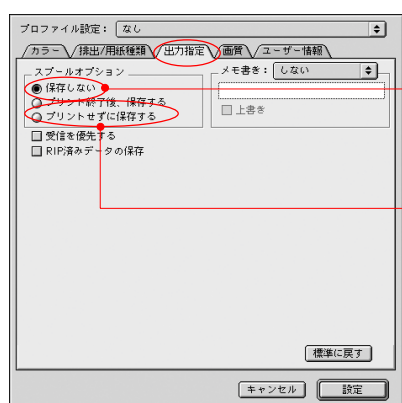
3

アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

プリントダイアログボックスが表示されます。

4

[出力先]から[プリンタ]を選択し、左上にあるメニューから、[Print Server Series]を選択して、[詳細設定]をクリックします。

5

[出力指定]タブを選択し、[スプールオプション]を選択します。

直接プリントするか、サーバーで編集してプリントするかによって、選択するスプールオプションが異なります。

補足

[プリント終了後、保存する]を選択したときは、プリント終了後、印刷データがサーバーに残ります。

6

必要に応じて、その他のプリントオプションを設定し、[設定]をクリックします。

参照

プリントオプションの詳細については、「プリントオプションをカスタマイズする」(41ページ)を参照してください。

注記

両面印刷するときは、[排出/用紙種類]タブの両面印刷を使用してください。

7

プリントダイアログボックスで[プリント]をクリックします。

これでデータが送信され、プリントが開始されます。

Windowsをお使いの場合

ここでは例としてWindows 2000のワードパッドの画面を使って説明します。

操作手順

1

アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

2

[プリンタ名]でPrint Server Seriesのサーバーを選択し、[プロパティ]をクリックします。

プロパティダイアログボックスが表示されます。

[プリント終了後、保存する]を選択したときは、プリント終了後、印刷データがサーバーに残ります。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

3

[Print Server Series]タブをクリックし、[スプールオプション]を選択し、[OK]をクリックします。
直接プリントするか、サーバーで編集してプリントするかによって、選択するスプールオプションが異なります。

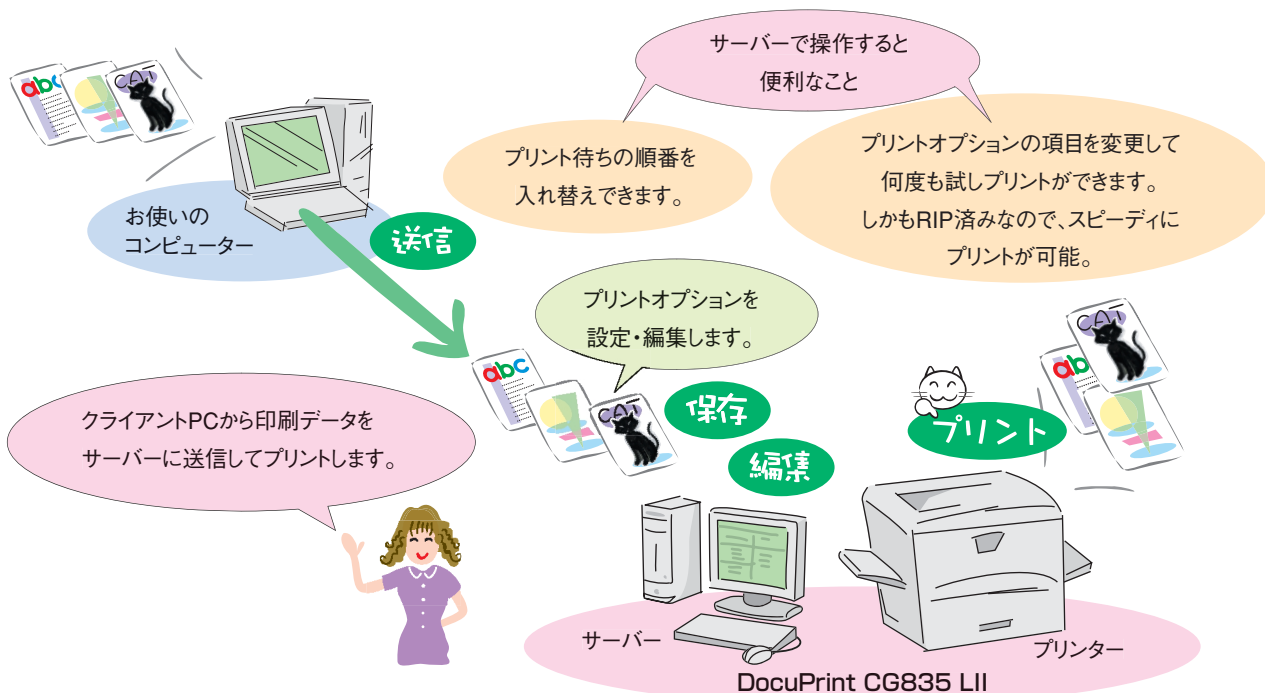
4

必要に応じて、その他のプリントオプションを設定し、[OK]をクリックします。

プリントオプションの詳細については、「プリントオプションをカスタマイズする」(41ページ)を参照してください。

これでデータが送信され、プリントが開始されます。

サーバーで印刷データを編集・プリントする

サーバーで受信した印刷データを、ServerManagerを使って編集し、プリントを指示します。
ここでは、ServerManagerの主な機能と操作方法について説明します。
Macintosh、Windowsとも操作は同様です。

ServerManagerのウィンドウ

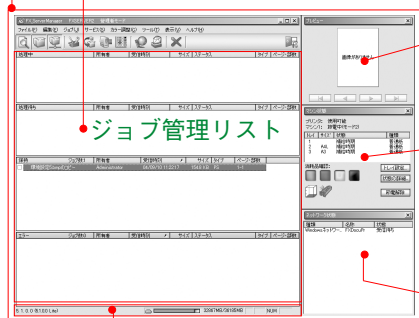
ServerManagerは、次の4つのウィンドウから構成されています。

サーバーでは、この画面を使って印刷データの操作をします。直接アプリケーションを開いて編集はしません。

FX_ServerManagerウィンドウ
「ジョブ管理リスト」には、クライアントPCから送信・保存された印刷データが表示されます。

プレビューウィンドウ
ジョブ管理リストで選択した印刷データの、プレビュー画像が表示されます。

マシン状態ウィンドウ
プリンターの現在の状態が表示されます。
[トレイ設定]
各トレイの用紙の種類や特A3トレイの用紙サイズを設定できます。
[状態の詳細]
マシン状態の詳細が確認できます。
[節電]
節電モード

ネットワーク状態ウィンドウ
利用できるネットワークの現在の状態が表示されます。

ステータスバー
ServerManagerのバージョン情報と、ディスク容量の情報が表示されます。

印刷データを保存するかどうかを変更するには

[スプールオプション]でサーバーに保存するように設定された印刷データは、ジョブ管理リストの保持リストに表示されます。プリントした後、印刷データを保存しないように変更するときは、チェックをはずします。

チェックされている印刷データは、サーバーに保存するように設定されています。

保持	ジョブ数:2	所有者	受信時刻
☑	ドキュメント.doc	Endo-Akira	02/07/31 16:24:31
☑	Report1.doc	Endo-Akira	02/07/31 16:36:30

- 処理中のに対しても操作できます。
- チェックされていない印刷データは、プリントなどの処理が終了すると、ジョブ管理リストから削除されます。

- 通常、ウィンドウ内の文字の色は黒で表示されますが、印刷データの状態によって赤やオレンジなどの色文字が使われるものもあります。
- ジョブに色文字が使われていたり、ジョブ管理リストのエラーリストに表示されているときは、「困ったときは」(87ページ)を参照し対処してください。

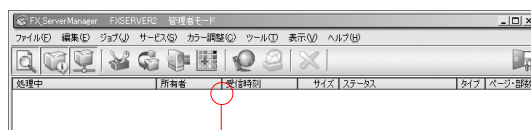
ログインモードを確認するには

[FX_ServerManager]ウィンドウ左上で、サーバー名とServerManagerにログインしたモードを確認できます。

サーバー名　ログインモード

システムの運用に影響するようなServerManagerの設定や、セキュリティープリントの設定がされている印刷データの操作などを、制限なく行うには、管理者でログインしている必要があります。

カラム幅を変更するには

図の部分をドラッグすると、各カラムの幅を変更できます。

この部分をマウスでドラッグします。

カラムを移動させるには

移動させたい項目のカラムを選択し、移動したい場所までドラッグします。

移動先には青色のマークが表示されます。

移動中は項目名が半透明で表示されます。

ジョブリストをソートするには

保持リストとエラーリストでは、指定した項目をキーにして、印刷データを昇順または降順にソートできます。
ソートしたい項目のカラム上でクリックすると、△マークが表示され、昇順にソートされます。昇順(△)と降順(▽)は、1回クリックするごとに、切り替わります。

このカラム上で1回クリックすると、
△マークが表示がされます。

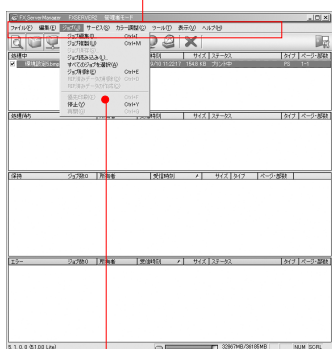
デフォルトは、「受信時刻」の昇順にソートされています。

印刷データを編集してプリントする

ジョブ管理リストにある印刷データを選択して、次のことができます。

- ジョブ管理リスト間をドラッグ＆ドロップして移動し、印刷データの状態や処理の順番を変更できます。
- ServerManagerのメニューを実行できます。
- 右クリックで表示されるポップアップメニューの項目を実行できます。

操作手順

ServerManagerのメニュー

［ジョブ］メニュー

補足

- 印刷データに対する操作は、選択されたすべての印刷データが対象になります。ただし、選択した印刷データや印刷データの数によって、使用できるメニューの項目は異なります。
- 処理中の印刷データは編集できません。

1

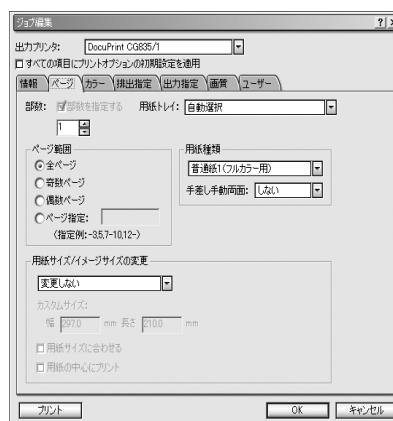
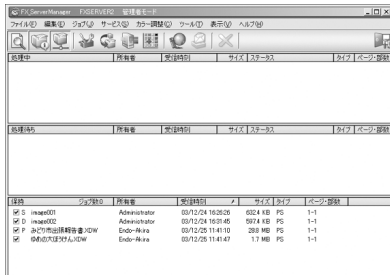
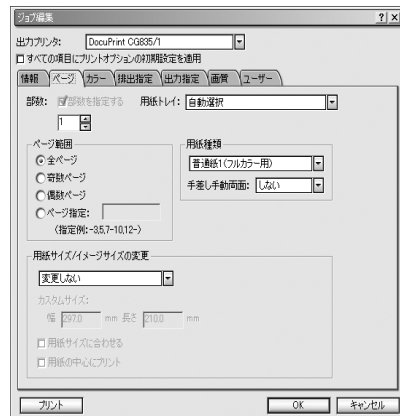
［ジョブ］をダブルクリックします。

［ジョブ編集］ダイアログボックスが表示されます。

2

各タブの項目を編集します。

3 プリントしましょう

3

印刷データの編集が完了したら、プリントを指示します。
プリントするときは、処理待ちリストに印刷データをドラッグ＆ドロップして移動します。

［ジョブ編集］ダイアログボックスが表示されているときは、［プリント］をクリックします。

上記のほかにも、プリントの指示には次の方法があります。

- ServerManagerの［ジョブ］メニューから［再開］を実行します。
- 右クリックで表示されるポップアップメニューから［再開］を選択します。

WebManagerを使うと、プリントジョブを表示したり、一時的にプリントを停止したり、プリント待ちの行列から印刷データを削除したりできます。

エラーシートがプリントされたときは

プリント処理中にPostScriptエラーが発生すると、エラーシートがプリントされます。エラーシートには、エラーの内容が記述されています。印刷データのドキュメントの設定を確認してください。
エラーシートは、エラーが発生したときにプリントするよう、デフォルトで設定されています。ServerManagerで、エラーシートをプリントしないように設定を変更したい場合は、「ServerManager」（70ページ）を参照してください。

■エラーの内容の例

```
%%[Error:undefined spot color,(DIC 2349p)]%%
%%[Flushing:reset of job (to end-of-file) will be ignored]%%
```

プリントオプションをカスタマイズする

プリントオプションには、いろいろな機能が用意されています。目的に合わせて、プリンターごとにプリントオプションのデフォルト値を設定できます。
デフォルト値は、次の印刷データまたは項目に適用されます。

- PDF/SunRaster/XWD/TIFF/EPSファイル
- プリンタードライバーを使用しないで作成したPostScriptファイル
- ジョブ編集で、[すべての項目にプリントオプションの初期設定を適用]をチェックした印刷データ
- 特別なプリンタードライバー(特別なPPDやシステムなど)からプリントする場合で、機能の設定が省略された項目

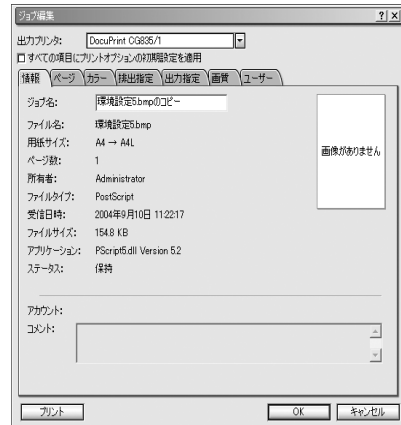
プリントオプションの詳細については、「プリントオプション」(74ページ)や『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「第3章 プリントの調整と設定」を参照してください。

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウの ボタンをクリックします。
または、[ツール]メニューから[プリントオプションの初期設定]を選択します。

[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスが表示されます。

2

[出力プリンタ]からプリンターを選択し、各タブの項目を設定し、[OK]をクリックします。

[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスには、次のタブがあります。

- ページ
- カラー
- 排出指定
- 出力指定
- 画質
- グラフィックス
- ユーザー

各項目の説明については、「プリントオプション」(74ページ)を参照してください。

[サーバーの環境設定]ダイアログボックスの[ネットワーク]タブで、TCP/IP(lpr)やAppleTalk、FTPフォルダが設定されている場合は、選択できる項目が[出力プリンタ]横のプルダウンメニューに表示されます。設定する項目を選択します。

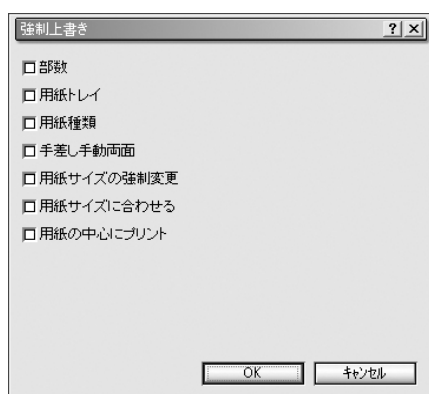
3 プリントしましょう

また、[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスの各タブには、次の共通項目があります。

[強制上書き]ボタン
[強制上書き]ダイアログボックスが表示されます。各項目をチェックすると、クライアントPCからの指定が無視され、プリントオプションの初期設定が適用されます。

チェックした場合は、[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスの項目の右側に、チェックマークが表示されます。

[強制上書き]の指定は、次の項目よりも優先されます。

- ●プリンタードライバー、DropPrintLite、およびWebManagerからのプリント
- ●DropPrintLiteおよびWebManagerの[ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う]
- ●ServerManagerおよびWebManagerの[ジョブの読み込み]で読み込んだ、プリントオプションの設定を含むPostScriptファイル

[標準に戻す]ボタン
選択したタブで設定できる項目を工場出荷時の値に戻します。

[全てを出荷時の値に戻す]ボタン
出力プリンターおよび出力プロトコルごとに、すべてのタブの設定を工場出荷時の値に戻します。

サーバーの設定情報をバックアップする

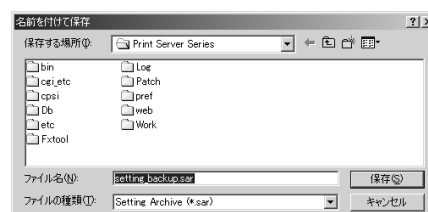
サーバーの設定情報をバックアップしておくと、万一トラブルが起きたとき、復旧作業の時間を短縮できます。安全のため、システムのバックアップを作成することをお勧めします。
設定情報をバックアップすると、次の情報が1つのファイルにまとめられます。

●ServerManagerの[ツール]メニューで設定した環境設定などの情報
●キャリブレーションデータと割り当て情報
●次のカラープロファイルデータと割り当て情報
　●RGB色補正プロファイル
　●RGB出力プロファイル
　●CMYKシミュレーションプロファイル
●ユーザー調整カーブ

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウの[ファイル]→[特別]→[設定のバックアップの作成]を選択します。
[パスワード確認]ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックします。
設定情報をバックアップするフォルダとファイル名を指定するための、[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

2

保存するフォルダとファイル名を指定して、[保存]をクリックします。
ファイルの拡張子は、「.sar」です。
保存したファイルは、サーバーにバックアップしてください。

設定情報のバックアップを復元するには

バックアップした設定情報を復元する場合は、[FX_ServerManager]ウィンドウの[ファイル]→[特別]→[設定のバックアップの復帰]を選択します。表示された[ファイルを開く]ダイアログボックスで、復元するフォルダとファイル名を指定して、[開く]をクリックします。

用紙について

紙には数多くの種類があり、その特質も様々です。
適切でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質が低下する原因になることがあります。プリンターの性能を効果的に活用するためには、標準紙を使用されることをお勧めします。
せっかくのデザインも紙質でイメージダウンにならないようにしましょう。

インクジェット専用紙は使用しないでください。

特殊な加工がしてあるインクジェット専用紙をお使いになると、プリンタートラブルの原因になりますので、使用しないでください。

詳細は、『取扱説明書（プリンター編）』の「3.1用紙について」をご覧ください。

使用できる用紙

用紙の種類

普通紙（標準紙）

本プリンターの標準紙は次のとおりです。

用紙名	規格
J紙（カラー・片面印刷用）	メートル坪量：82g/m²
JD紙（カラー・両面印刷用）	メートル坪量：98g/m²

普通紙（一般紙）

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、標準紙の使用をお勧めします。

規格
メートル坪量：64〜98g/m²

メートル坪量とは、1m²の用紙1枚の質量をいいます。

特殊紙

本プリンターでは、普通紙のほかに、次の用紙に印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。

- OHPフィルム（白黒プリンター用の枠なしOHPフィルム（XEROX FILM<枠なし>商品コード：V516））
- ラベル用紙（全面シールで、カットされていないもの）
- 封筒（洋形2/3/4号、洋長形3号）
- 官製はがき
- 厚紙（メートル坪量：98〜210g/m²）
- コート紙
- 専用光沢紙（ミラーコートプラチナ157g/m²）
- マット紙

- 硬い厚紙に印刷すると、イメージがずれることがあります。
- インクジェットプリンター用のコート紙は、使用できません。
- コート紙/専用光沢紙/マット紙を多数枚セットして使用すると、用紙が湿気をおびて重なって機械に入り、故障の原因になります。コート紙/専用光沢紙/マット紙は、1枚ずつセットしてください。
- 封筒は、のりづけ部分にテープが付いていないものを使用してください。あらかじめのりづけされている封筒は、のりづけ部分の状態によっては印刷できないことがあります。
- すでにおもて面が印刷されているはがきのうら面に印刷するとき、少しでもはがきが反っていると、紙づまりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、はがきをセットしてください。なお、かもめーるなど多色刷りのはがきには印刷しないでください。
- 封筒の洋長形3 号は、プリンタードライバーなどでは「洋長3号」と表示されます。

各トレイと使用できる用紙の種類・サイズ

給紙方法	用紙の種類	最大収容枚数
手差しトレイ	普通紙1(フルカラー用)、 普通紙2、 厚紙1(98 ～210g/m²)、 厚紙2(98 ～210g/m²)、 はがき、封筒、ラベル用紙、OHPフィルム	150枚または厚さ16mm まで
	コート紙、専用光沢紙、マット紙	1枚
トレイ1　250枚ユニバーサルトレイ (同梱品/オプション)	普通紙1(フルカラー用)、 普通紙2	250枚または厚さ26mm まで
特A3トレイ(オプション)、普通紙1 (フルカラー用)	普通紙1(フルカラー用)、 普通紙2	250枚または厚さ26mm まで
トレイ2、3 トレイモジュール (オプション)	普通紙1(フルカラー用)、 普通紙2	250枚または厚さ26mm まで

詳細は、『取扱説明書(プリンター編)』の「3.1 用紙について」をご覧ください。

各トレイと使用できる用紙の種類・サイズ

次のような用紙は、紙づまりや故障、および装置破損の原因になります。使用しないでください。

- フルカラー用OHPフィルムなど、弊社が推奨しているOHPフィルム以外のもの
- インクジェット専用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 他のプリンターやコピー機で印刷された用紙
- シワや折れ、破れのある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 反っている(カールしている)用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 155℃の熱で変質するインクを使った用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは中性紙に替えてください。
- 凹凸や留め金のある封筒
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- のりづけ部分がのりでベタついている封筒
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないものや、カットされているラベル用紙
- 布地転写紙
- 水転写紙
- 電飾紙
- デジタルコート紙の艶ありタイプ
- タックフィルム(透明/無色)
- 穴あき用紙

用紙について...

プリンター用紙には数多くの種類があり、紙の目がタテ目・ヨコ目などの差もあります。高温多湿の条件下では紙が変化し、適切にプリントできない場合があります。また、上質紙とコート紙では色の発色が違ってきます。
きれいなデザインカンプを提出するためには、それぞれの紙の特質を知っておくことがポイントです。
推奨の「J紙(片面コート)」、「JD紙(両面コート)」は、コート紙と同じような質感を持ち、実際の印刷結果に近い色味でデザインカンプをプリントできます。

厚紙に印刷する場合

通常、厚紙に印刷する場合は「厚紙1」を選択します。用紙によって、トナーの定着が悪くはがれるような場合は、「厚紙2」を選択して印刷すると、定着性が改善することがあります。

第4章 便利な機能

知っていると、さらに便利にサーバーを使いこなせる機能について説明します。

The printer helps eliminate errors before the file is sent to the print process through its warning system, highlighting overprint areas, alerting the user if the image data is in RGB, rather than CMYK, which is necessary for printing, and indicating where lines are too thin to show up in printing.

色分版合成機能を使って仕上がりを確認する

イメージセッター用の色分解版データを印刷機と同様に、1枚のカラーページに合成してプリントできます。また、通常のコンポジット出力では再現できない、オーバープリントやトラッピングの指定もこの色分版の合成機能を使用することにより、印刷前に事前にその仕上がり状態を確認できます。

色分版の合成機能を使うと、印刷の校正刷りと同じ結果がプリントされますので、入稿前の最終色校正チェックができます。

この機能を使って作成した色校正出力は、フイルムから作成した色校正出力の代わりになります。オーバープリントを指定したオブジェクトを正しい色でプリントするので、トラッピングの結果も確認できます。

操作手順

ここでは例として、Macintoshでの操作手順を説明します。

アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント]または[印刷]を選択し、表示されるダイアログボックスで[詳細設定]を選択します。

[ジョブ編集]ダイアログボックスが表示されます。

[画質]タブをクリックし、[色分版の合成]で各色の版を合成するスタイルを選択し、[プリント]をクリックします。

デフォルトは、[自動]に設定されています。

色分版のスタイルは、以下の中から選択できます。

[自動]

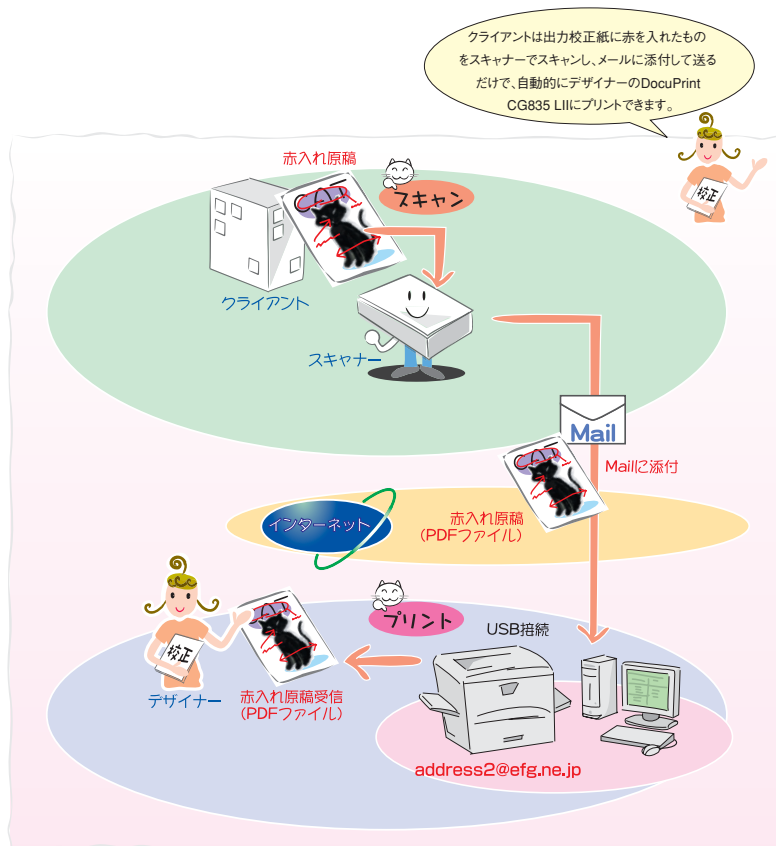
通常は[自動]を選択します。特色版に対しても合成できます。対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONEです。

[しない]
分版データの各版をそのままグレースケールで出力します。

[QuarkXPress-4Style]、[QuarkXPress-3Style]、[PageMaker Style]、[FreeHand Style]、[Canvas Style]、[Illustrator Style]、[InDesign Style]
各アプリケーションに対応するスタイルです。
[自動]で正しく出力されない場合でも、各アプリケーションに対応するスタイルを選択すると、正しく出力できることがあります。ただし、特色版の合成には対応していません。

設定したスタイルでプリントされます。

PDF受信機能を使う[Eメールプリント]

遠隔地のPrint Serverからメールに添付されて送られてきたPDF、PS、EPS、TIFFファイルをサーバーで受信し、プリントできます。また、クライアントPCからのメールも受信できます。

- 添付ファイルがPDF、PS、EPS、TIFF以外の場合は、受信メールと添付ファイルは削除されます。この場合、通信状況と通信レポートには、通信エラーとして記録されます。
- 添付ファイルが複数ある場合は、すべてプリントされます。ただし、未対応のファイルはプリントされません。
- 分割して送信されたメールは、DocuPrint CG835 LII側で受信時に合成されますが、クライアントPCから分割して送信されたメールも、合成してプリントが可能です。ただし、クライアントPC側で使用しているメーラーによっては合成できないものもあります。
- 受信したメールが転送メールの場合、エラーメールになることがあります。

環境設定をする

PDF受信機能を使用するには、メール受信の環境設定が必要です。
設定の前に、次の項目をシステム管理者やネットワーク管理者に依頼/確認してください。

- サーバー本体のメールアドレスの登録
- POP3ユーザー名
- POP3ユーザーパスワード
- POP3サーバーアドレス

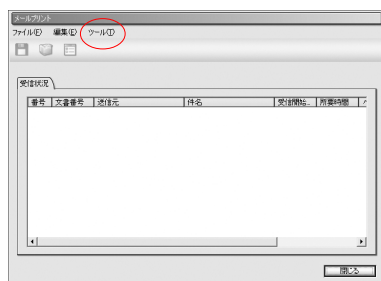
操作手順

1

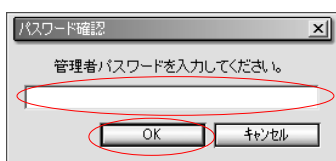
[FX_ServerManager]ウィンドウのボタンをクリックします。
[サービス]メニューから[メールプリント]を選択しても、同じ操作が行えます。

[メールプリント]ダイアログボックスが表示されます。

2

[ツール]メニューから[環境設定]を選択します。

[パスワード確認]ダイアログボックスが表示されます。

3

管理者パスワードを入力して、[OK]をクリックします。

[環境設定]ダイアログボックスが表示されます。

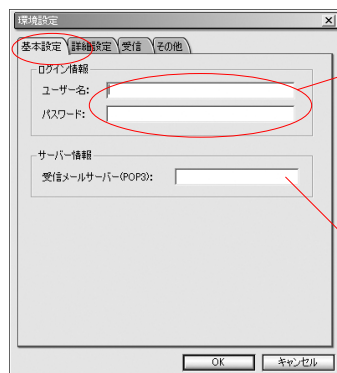
4

各タブで必要な項目を設定します。

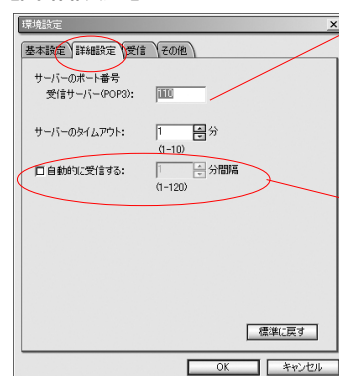
はじめに[基本設定]タブのすべての項目を設定しないと、他のタブの設定はできません。

[標準に戻す]ボタンをクリックすると、そのタブの設定内容がデフォルトに戻ります。

[基本設定]タブ

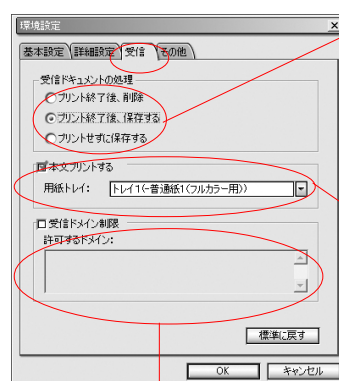
システム管理者やネットワーク管理者から指定された情報を設定してください。この設定を間違えると、メールの受信ができません。

POP3サーバーへのログインユーザー名とパスワードを64バイト以内で入力します。

POP3サーバーアドレスをIPアドレス(xxx.xxx.xxx.xxx形式)、またはDNS名で128バイト以内で入力します。

[詳細設定]タブ

POP3サーバーのポート番号を0～9999の範囲で入力します。デフォルトは、「25」です。

チェックすると、自動的に受信処置をします。
自動受信する場合は、POP3サーバーへのメール確認間隔を設定します。デフォルトは、「1」分です。

[自動的に受信する]をオフに設定すると、手動受信となり[FX_ServerManager]ウィンドウの[メール受信]をクリックしたときに受信が行われます。

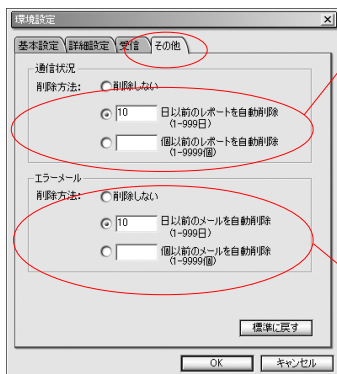
[受信]タブ

受信ドキュメント(PDFファイル)の処理について指定します。デフォルトは、[プリント終了後、保存する]です。

メール本文をプリントするときに、チェックします。
プリントする場合は、本文プリント用の用紙トレイを選択します。

受信を許可するドメインを制限する場合に、チェックします。デフォルトは[オフ]です。受信ドメインを制限する場合は、許可するドメインを最大50個まで登録できます。1つのドメイン名は、128バイト以内で入力してください。ドメインとドメインの間は改行またはたはカンマ「,」を入力します。

4 便利な機能

メールの本文や添付ファイルの処理方法は、[受信ドキュメントの処理]の設定が適用されます。

[その他]タブ

[メールプリント]ダイアログボックスの[受信状況]タブに表示される通信レポートの削除方法を設定します。デフォルトは[「10」日以前のレポートを自動削除]です。

エラーメールの削除方法を設定します。デフォルトは、[「10」日以前のレポートを自動削除]です。

各タブを設定したら、[OK]をクリックします。

PDFファイルを受信する

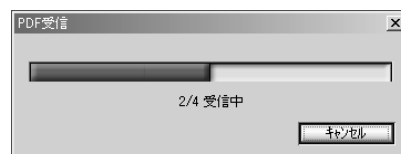
受信できるファイルは、PDF、PS、EPS、TIFFです。
受信したファイルの処理方法は、プリント終了後削除・プリントして保存・プリントしないで保存があります。

[環境設定]ダイアログボックスの[詳細設定]タブで[自動的に受信する]がチェックされている場合は、自動的に受信します。
ここでは、手動で受信する方法について説明します。

クライアントPCからもメールプリントができます。

操作手順

[FX_ServerManager]ウィンドウの ボタンをクリックします。
[サービス]メニューから[メール受信]を選択しても、[PDF受信]ダイアログボックスが表示できます。

[PDF受信]ダイアログボックスが表示され、受信が開始します。

受信が終了した順に、メールから添付ファイルが取り出されます。

添付ファイルは、[環境設定]ダイアログボックスの[受信]タブにある[受信ドキュメントの処理]の設定に従って処理されます。プリントする設定の場合は、ServerManagerのプリントオプションの初期設定が適用されます。ただし、プリントされる用紙サイズは、このあとの「プリントされる用紙サイズについて」のようになります。

プリントされる用紙サイズについて

DocuPrint CG835 II/CG835 LIIから受信した場合

受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされている場合

- 指定された用紙サイズにプリントされます。
- 受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされていない場合は、以下の優先順位でプリントされます。
  - 受信ジョブの用紙サイズよりも大きいサイズの中で最小の用紙サイズを選択し、等倍で用紙の中心にプリントされます。
  - 受信ジョブの用紙サイズよりも小さいサイズの中で最大の用紙サイズを選択し、用紙サイズに合わせて縮小してプリントされます。

クライアントPC から受信した場合

受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされている場合

● 指定された用紙サイズにプリントされます。

受信ジョブに指定された用紙サイズがトレイにセットされていない場合

● エラージョブになります。

クライアントPCからの 印刷データで用紙サイズの指定がない場合は、FTPプリントの初期設定の値でプリントされます。FTPプリントの初期設定については、「FTPを使ってプリントする」(55ページ)を参照してください。

通信状況を確認する

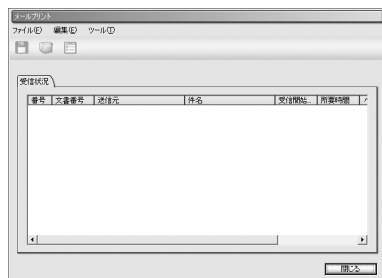
受信の結果を確認できます。

操作手順

1

[FX_ServerManager]ウィンドウのボタンをクリックします。
[サービス]メニューから[メールプリント]を選択しても、同じ操作が行えます。

[メールプリント]ダイアログボックスが表示されます。

2

内容を確認したら、[閉じる]をクリックします。

通信状況をファイルとして保存する

通信状況をCSV形式のファイルとして保存できます。

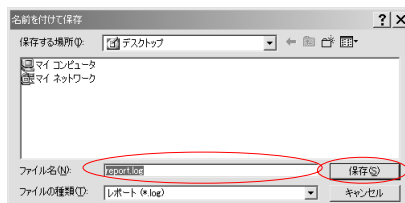
操作手順

1

[メールプリント]ダイアログボックスでジョブを選択しをクリックします。
複数のジョブを選択できます。

ファイル保存のダイアログボックスが表示されます。

2

保存する場所、[ファイル名]を指定して、[保存]をクリックします。

通信状況がCSV形式のファイルで保存されます。

通信状況をプリントする

通信状況の受信レポートをプリントできます。

操作手順

1

[メールプリント]ダイアログボックスで印刷データを選択し、をクリックします。
複数の印刷データを選択できます。

用紙トレイを選択するダイアログボックスが表示されます。

4 便利な機能

2

[用紙トレイ]からプリントする用紙トレイを選択して、[OK]をクリックします。
受信レポートがプリントされます。

受信レポートで確認できる項目

項目	説明	
番号	受信状況の通し番号(1～9999)が表示されます。	
文書番号	送受信ドキュメントの通し番号が表示されます。	
送信元	送信元の名前(メールヘッダーのFromフィールドを使用)が表示されます。	
件名	件名が表示されます。	
受信開始時刻	受信開始時刻が表示されます。	
所要時間	受信開始から受信終了までの時間が表示されます。 プリント処理時間は含まれません。	
ページ数	添付されたPDFファイルのページ数が表示されます。	
通信結果	受信済み	受信終了状態
	受信中	受信開始から受信終了までの状態
	プリント済み	プリント終了状態
	プリント	ServerManagerでジョブがキャンセルされた状態
	キャンセル	
	プリントエラー	ServerManagerでジョブがエラーになった状態
	受信エラー	受信中にエラーが発生した場合に、エラーの内容(XXX)を(XXX)で表示します。

受信エラーのコードについては、「エラージョブメッセージ一覧」の「メール受信時エラー」を参照してください。

プロパティを確認する

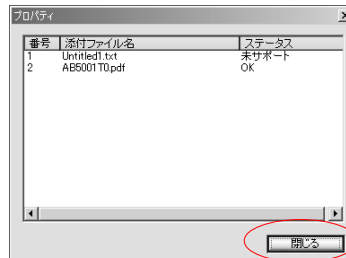
操作手順

1

[メールプリント]ダイアログボックスで印刷データを選択し、をクリックします。
選択できる印刷データは、ひとつだけです。
[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

2

内容を確認したら、[閉じる]をクリックします。

4 便利な機能

FTPを使ってプリントする

FTPを使用して、サーバーにプリントできます。デフォルトのFTPフォルダのほかに、サブフォルダを20まで設定できます。

- サーバーにFTP接続するときの、ユーザー名、パスワードについては、システム管理者に確認してください。
- 本機能を使用するには、あらかじめサーバーOS側にユーザーを登録しておく必要があります。「anonymous」で使用する場合は、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「5.13.2 FTPの匿名アクセスについて」を参照してください。

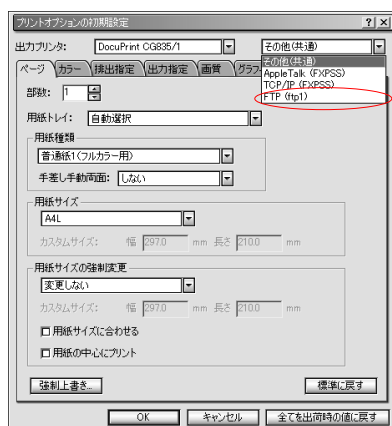
プルダウンメニューにFTPフォルダが表示されない場合は、[サーバーの環境設定]ダイアログボックスの[ネットワーク]タブで[FTPプリント]がチェックされているかどうか、サブフォルダが設定されているかどうかを確認してください。
[サーバーの環境設定]ダイアログボックスおよびFTPフォルダの設定については、「TCP/IPネットワークで使用する場合」(12ページ)を参照してください。

ファイルフォーマット

プリントできるファイルフォーマットは、次のとおりです。

- PostScript
- EPS
- TIFF
- PDF
- SunRaster
- XWD

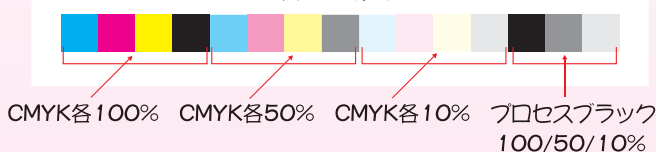
プリントオプション

FTPサーバーに送信した印刷データに対するプリントオプションは、ServerManagerの[プリントオプションの初期設定]での設定項目が適用されます。[プリントオプションの初期設定]では、フォルダごとに設定できます。

転送モード

印刷データを送信するときの転送モードは、Binary(バイナリー)です。

データを格納するフォルダ

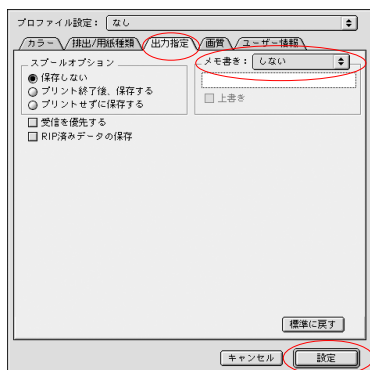
デフォルトのFTPフォルダを格納するフォルダは、「/folder1」です。

カラーパッチやコメントをつける[メモ書き]

操作手順

ここでは例として、Macintoshでの操作手順を説明します。

アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、プリントダイアログボックスの[詳細設定]を選択します。

[ジョブ編集]ダイアログボックスが表示されます。

[出力指定]タブをクリックし、[メモ書き]からメモの種類を選択して、[プリント]をクリックします。

[カラーパッチ]

CMYKのカラーパッチを左下にプリントします。

[オプションメモ]

CMYKシミュレーションや画質モードなどのプリントオプション設定をプリントします。

[コメント]

指定した文字列をプリントします。(31バイト以内)

[カスタム]

独自形式のメモ書きを設定できます。デフォルトは、印刷データごとに日付と番号がプリントされます。

[上書き]チェックボックス

オンにすると、印刷データの上にメモを重ねてプリントします。

オフにすると、メモの上に、印刷データを重ねてプリントします。メモ書きの内容が、印刷データによって上書きされますので、メモがプリントされない場合があります。

DropPrintLiteを使ってプリントする

DropPrintLiteとは、印刷データを作成したアプリケーションを開かずに印刷データをサーバーに送信してプリントするための、クライアントPCで使うソフトウエアです。
DropPrintLiteを使用すると、印刷データを作成したアプリケーションがなくてもプリントできます。また、プリントオプションの設定が同じ印刷データが複数ある場合は、印刷データごとにプリントの指示をしなくても、1回の指示でプリントできます。

DropPrintLiteを使って、次のファイルフォーマットのファイルをプリントできます。

- PostScript
- EPS
- PDF
- TIFF
- SunRaster
- XWD

またDropPrintLiteでは、キャリブレーションで色を調整するために、クライアントPCに接続されたスキャナーでスキャンしたGray Scale Targetやキャリブレーションシートの画像を、サーバーにアップロードすることもできます。

- DropPrintLiteのインストールについては、「便利なソフトウエアをクライアントPCにインストールする」(28ページ)を参照してください。
- DropPrintLiteを使って、Gray Scale Targetやキャリブレーションシート画像をサーバーにアップロードする方法については、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)「第1章 色の調整」を参照してください。

ここでは、DropPrintLiteを使って印刷データをプリントする手順について説明します。

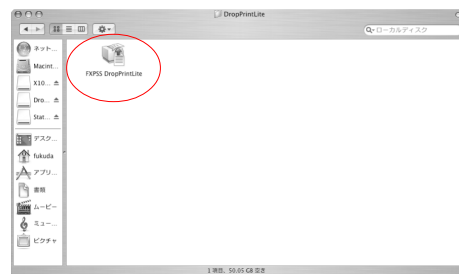
Macintoshをお使いの場合

DropPrintLiteを使って、新規に送信先を登録してから印刷データをプリントする手順について説明します。
ここでは例として、MacOS Xの場合で説明します。

操作手順

クライアントの[Print Server Series]フォルダ内の[DropPrintLite]フォルダをダブルクリックします。

[Print Server Series]フォルダは、インストール時に作成されたフォルダです。
[DropPrintLite]フォルダの内容が表示されます。

[FXPSS DropPrintLite]をダブルクリックします。

DropPrintLiteが起動します。

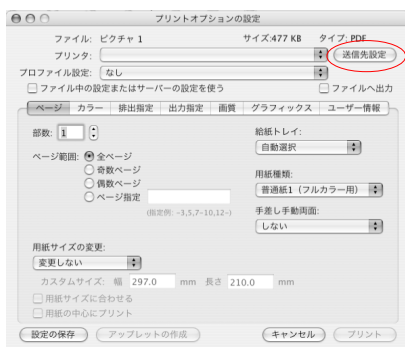
[ファイル]メニューから[開く]を選択します。

ドキュメントを選択するダイアログボックスが表示されます。

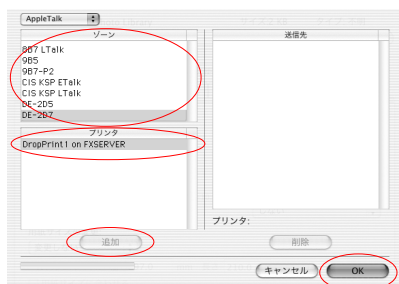
ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

[プリントオプションの設定]ダイアログボックスが表示されます。

[送信先設定]をクリックします。

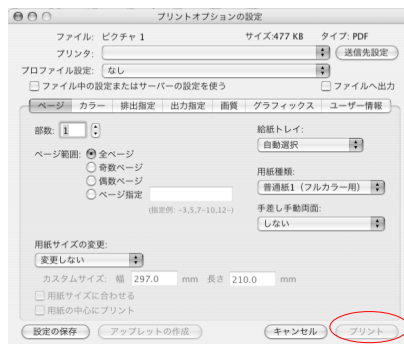
[プリンタ]がグレー表示になっている場合は、送信先にサーバーを登録する必要があります。

ファイルタイプは自動的に判別されます。[プリントオプションの設定]ダイアログボックスでは、設定できない項目はグレー表示になっています。

[送信先設定]ダイアログボックスが表示されます。

[AppleTalkゾーン]から使用するネットワークゾーンを選択し、表示されたプリンターリストから使用するサーバーを選択して、[送信先に追加]をクリックして[設定]をクリックします。

●[送信先に追加]は、プリンターリスト内でサーバーを選択している場合にだけ、クリックできます。

●リスト内の項目は、ドラッグすることで順番を変更できます。

[プリントオプションの設定]ダイアログボックスの[プリンタ]が表示されます。

必要に応じて、プリントオプションを設定し、[プリント]をクリックします。

設定した内容で、印刷データがサーバーに送信されます。

DropPrintLiteを終了する場合は、[ファイル]メニューから[終了]を選択します。

<Command>+<Q>キーでも終了できます。

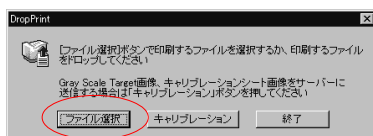
● Windowsをお使いの場合

操作手順

[スタート]→[プログラム]→[Fuji Xerox]→[DocuPrint CG835 LⅡ]→[DropPrintLite]を選択します。

DropPrintLiteの起動ダイアログボックスが表示されます。

2

[ファイル選択]をクリックします。

[開く]ダイアログボックスが表示されます。

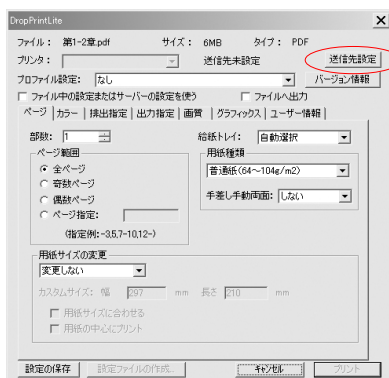
3

プリントするファイルを選択します。
プリントするファイルをDropPrintLiteの起動ダイアログボックスにドロップしても同じ操作が行えます。

[DropPrintLite]ダイアログボックスが表示されます。

4

[送信先設定]をクリックします。

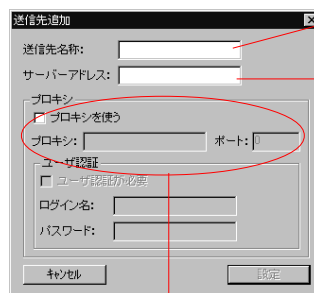
[プリンタ]が選択できない場合は、送信先にサーバーを登録する必要があります。

[送信先設定]ダイアログボックスが表示されます。

5

[追加]をクリックします。

[送信先追加]ダイアログボックスが表示されます。

6

[送信先名称]と[サーバーアドレス]を入力し、[設定]をクリックして、[送信先設定]ダイアログボックスの[閉じる]をクリックします。

送信先を表示するときの名前を入力します。[DropPrint]ダイアログボックスの[プリンタ]の項目に、ここで入力した名前が表示されます。

サーバーのIPアドレスを入力します。

プロキシサーバーを使う場合は、[プロキシを使う]をチェックし、プロキシの項目を設定します。

7

必要に応じてプリントオプションを設定し、[プリント]をクリックします。

設定した内容で、ファイルがサーバーに送信されます。
DropPrintLiteを終了したいときは、起動ダイアログボックスで[終了]をクリックします。

複数のファイルをプリントするには

複数のファイルをまとめてプリントする場合は、前述の[ファイルを開く]ダイアログボックスで、<Shift>キー(Windowsの場合は<Ctrl>キー)を押しながらファイルを選択します。
または、[DropPrintLite]フォルダの[FXPSS DropPrintLite](Windowsの場合は複数のファイルを選択してからDropPrintLiteの起動ダイアログボックス)にドロップします。

複数のファイルを指定すると、[DropPrintLite]ダイアログボックスに、[以降のファイルを同じ設定でプリント]チェックボックスが表示されます。

チェックした場合

設定した内容で、選択したすべてのファイルがサーバーに送信されます。ファイル数に相当する分のダイアログボックスは表示されません。

[ファイル]には、「-」が表示されます。[タイプ]には、ドキュメントのファイルタイプが表示されます。ただし、異なるファイルタイプのファイルを同時に複数選択した場合は、「-」が表示されます。

チェックしない場合

送信するファイルの数だけ、繰り返しダイアログボックスが表示されます。それぞれのファイルのファイルタイプに応じて、設定できる項目が異なります。

Webブラウザーで印刷データを管理する(WebManager)

WebManagerは、サーバーをTCP/IP環境でネットワークに接続している場合に、ネットワーク上のコンピューターのWebブラウザーを利用して、サーバーの状態を確認したり、印刷データの設定を変更したりするためのソフトウエアです。

Macintoshでは、TCP/IP環境のない場合でもStatusMonitorを使用して印刷データを確認できます。StatusMonitorについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)「StatusMonitor(Macintosh)」を参照してください。

WebManagerでできること

WebManagerでは、クライアントから以下のことができます。

●印刷データの確認や操作ができます

サーバーに送信した印刷データの設定を確認したり、サーバーに保存した印刷データを削除したりできます。「Administrator」でログインすると、ほかの印刷データに対する操作もできます。また、プリント履歴をCSVファイル形式でダウンロードできます。

●サーバーやプリンターの状態を確認できます

サーバーの状態、プリンターにセットされている用紙サイズや用紙の残量、トナー量などを確認できます。また、ユーザー調整カーブ、キャリブレーションデータ、カラープロファイルの設定情報なども確認できます。

●WebManagerからドキュメントをプリントできます

WebManager画面からドキュメント(PostScript、EPS、TIFF、PDF、SunRaster、XWD)を指定してサーバーに送信し、プリントできます。

●プリンタードライバーなどをダウンロードできます

クライアントで使用するプリンタードライバー、各種アプリケーションなどをダウンロードできます。

●対応ブラウザー

サーバーとの接続には、Webブラウザーを利用します。

WebManagerに対応しているブラウザーは、以下のとおりです。

Macintoshの場合

●Internet Explorer 5.0以降

●Netscape Communicator 4.5以降

Windowsの場合

●Internet Explorer 5.0以降

●Netscape Communicator 4.6以降

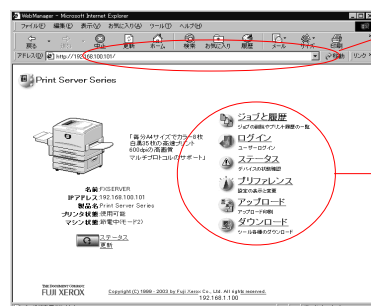
サーバーに、同時に接続できるWebブラウザー数は、最大10件です。

WebManagerを表示する

ここでは例として、Internet Explorerを起動して、WebManagerを表示する手順について説明します。

操作手順

Internet Explorerを起動し、[アドレス]欄に「http://」に続けてサーバーのIPアドレスを入力し、<Enter>キーを押します。

WebManager画面が表示されます。

「http://に続けてサーバーのIPアドレスを入力します。

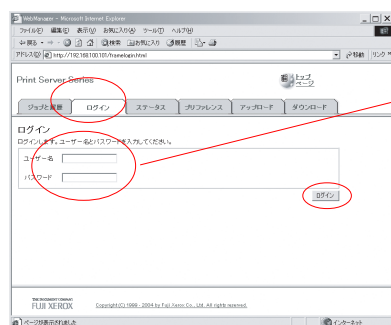
各画面にリンクしています。表示したい項目を選択します。

WebManagerにログインする

ServerManagerの[ユーザー管理]で[Webセキュリティ]が[ジョブのオーナーのみ可]に設定されている場合、ジョブの操作を行うには、WebManagerにジョブの所有者でログインする必要があります。
また、次のような場合にも、WebManagerに「Administrator」でログインする必要があります。

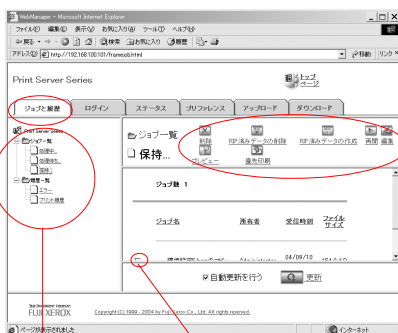
- ServerManagerの[ユーザー管理]で、[Webセキュリティ]が[全て操作不可]に設定されている場合
- ServerManagerの[ユーザー管理]で、[Webセキュリティ]が[ジョブのオーナーのみ操作可]に設定されており、WebManagerで、ほかの人が所有する印刷データに対して操作したい場合

セキュリティープリントの設定がされている印刷データは、[Webセキュリティ]の設定にかかわらず、ジョブの操作はできません。

WebManagerへのログインは、[ログイン]タブで行います。
[ログイン]をクリックし、表示されたログイン画面にユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。

大文字、小文字を正確に入力してください。

ログインに成功すると、「ログインに成功しました。」というメッセージが表示されます。

印刷データを確認・操作する

[ジョブと履歴]タブで、サーバーに送信された印刷データの確認および操作ができます。

操作ボタン
操作対象をチェックした印刷データに対して操作できます。

表示したい項目を選択します。

操作対象チェックボックス
印刷データを操作するときにチェックします。

操作手順

1 左側フレームから、表示したい項目を選択します。

右側フレームに、選択した項目が表示されます。

2 印刷データの状態を確認します。

操作したい印刷データがある場合は、印刷データの先頭にある操作対象をチェックします。

3 操作ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスの指示に従って、各項目を操作・設定します。

サーバーやプリンターの状況を確認する

[ステータス]タブで、サーバーの状態、用紙トレイにセットされている用紙サイズや用紙の残量、およびトナー量などを確認できます。

WebManagerのトップページでプリンターのアイコンをクリックしても、この画面を表示できます。

表示したい項目を選択します。

サーバーの設定を確認する

［プリファレンス］タブで、ServerManagerで設定した、キャリブレーションデータやカラープロファイルなどの設定内容を確認できます。

表示したい項目を選択します。

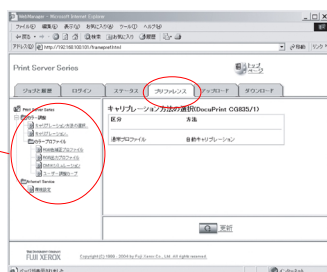
WebManager画面からプリントする

［アップロード］タブで、クライアントPCにある印刷データをサーバーに送信し、プリントできます。
WebManagerからサーバーに送信できるファイルは、次のとおりです。

- PostScript
- EPS
- TIFF
- PDF
- SunRaster
- XWD

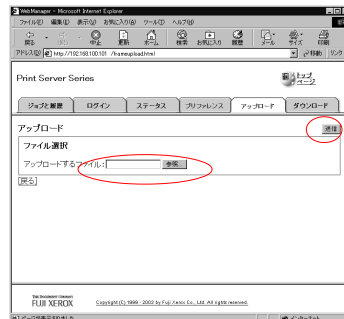
操作手順

［アップロード］タブをクリックし、［出力プリンタ］から使用するプリンターを選択し、画面右上にある［次へ］をクリックします。
必要に応じて、プリントオプションを設定してください。

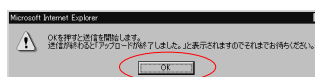
［プリントオプションの初期設定］に設定してある値でプリントする場合は、ここをチェックします。

プリントオプションの詳細については、「プリントオプション」（74ページ）を参照してください。

アップロードするファイル名を指定する画面が表示されます。

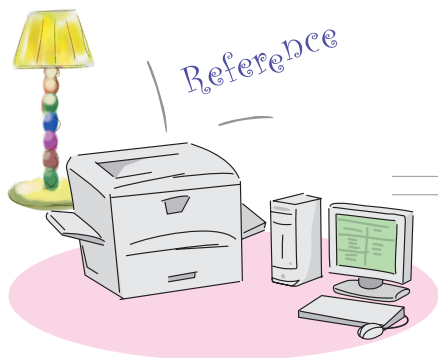
2

送信するドキュメントを指定して、画面右上にある［送信］をクリックします。
［アップロードするファイル］に、送信するドキュメント名を入力するか、［参照］をクリックして送信するドキュメントを指定してください。

送信を確認するためのダイアログボックスが表示されます。

3

［OK］をクリックします。

サーバーにドキュメントが送信され、処理待ちリストに表示されます。

リファレンス

各画面の詳細を説明します。

プリンタードライバー

プリンタードライバーのプリントオプションの設定項目を、タブ別に説明します。
ここでは例として、Mac OS Xの画面を使って説明します。

各タブ共通の項目

プリンタードライバーのプリントオプションの各タブに共通する項目は、次のとおりです。

プリンタ

使用するプリンターを指定します。

プロファイル設定

詳しくは、「DropPrintLite」の「②プロファイル設定」(68ページ)を参照してください。

ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う

ここをチェックすると、この[プリントオプションの設定]画面で設定した内容が無視されます。

送信先設定

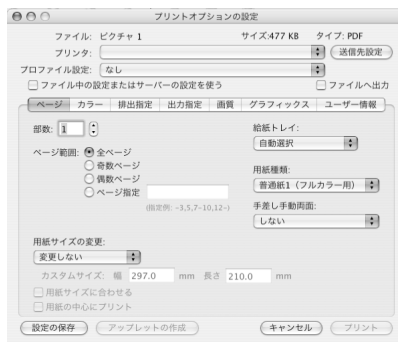
詳しくは、「DropPrintLite」の「①送信先設定」(68ページ)を参照してください。

ファイルへ出力

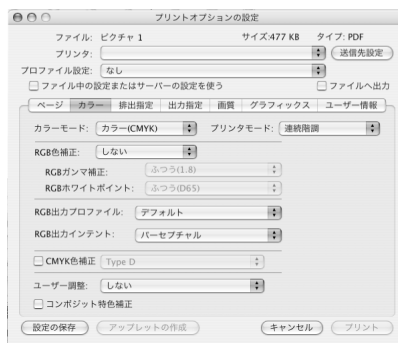
印刷データをファイルに出力します。

上記以外で設定できる項目については、「プリントオプション」の「各タブ共通の項目」(74ページ)を参照してください。

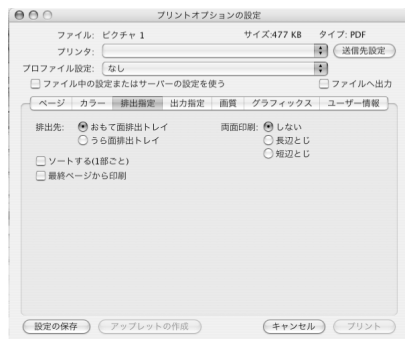
[ページ]タブ

[ページ]タブには、部数や用紙サイズなど、ページ設定の情報が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[ページ]タブ」(75ページ)を参照してください。

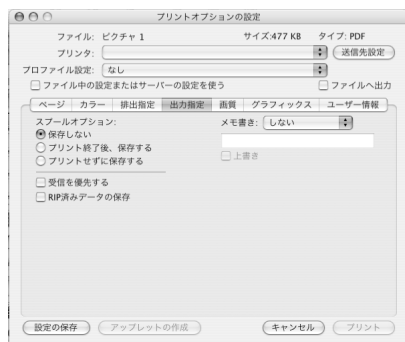
[カラー]タブ

[カラー]タブには、色の調整に関する情報が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[カラー]タブ」(77ページ)を参照してください。

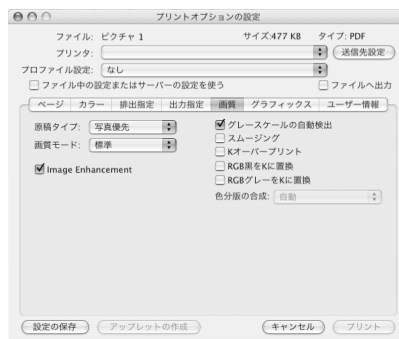
[排出指定]タブ

[排出指定]タブには、用紙の排出に関する情報が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[排出指定]タブ」(81ページ)を参照してください。

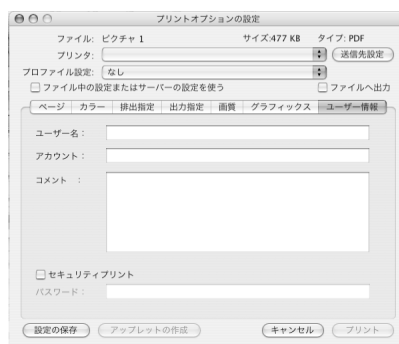
[出力指定]タブ

[出力指定]タブには、スプールや出力などに関する設定が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[出力指定]タブ」(82ページ)を参照してください。

[画質]タブ

[画質]タブには、原稿タイプや各種警告機能などの設定が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[画質]タブ」(83ページ)を参照してください。

[ユーザー情報]タブ

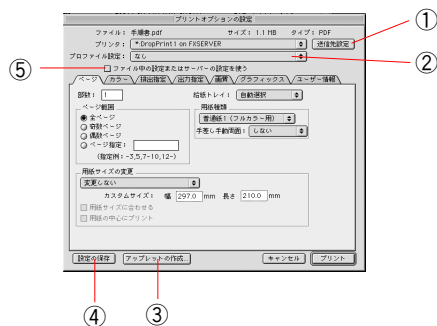
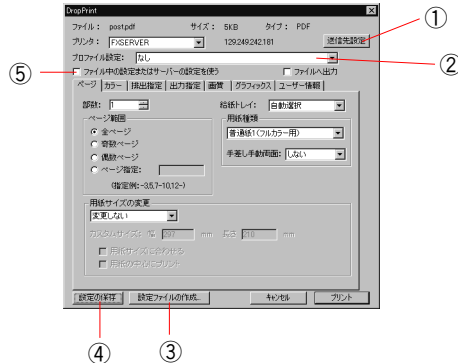
[ユーザー情報]タブには、印刷データに関するユーザー情報が表示されます。

設定できる項目については、「プリントオプション」の「[ユーザー情報]タブ」(86ページ)を参照してください。

DropPrintLite

DropPrintLite固有の機能について説明します。

参照

●DropPrintLiteでできること、および操作の方法については、「DropPrintLiteを使ってプリントする」(57ページ)を参照してください。
●プリントオプションに関するタブの項目については、「プリントオプション」(74ページ)を参照してください。

Macintosh

Windows

①送信先設定

[送信先設定]ダイアログボックスが表示され、送信先を設定できます。

②プロファイル設定

接続先のサーバーで割り当てられている各種プロファイル(RGBプロファイル、CMYKプロファイル、ユーザー調整カーブ)の設定情報を持つファイルです。WebManagerでプロファイル設定のダウンロードを行う必要があります。

プロファイルの設定は、WebManagerからダウンロードできます。詳細については「WebManager画面からプリントする」(63ページ)を参照してください。

③アプレットの作成(Macintoshの場合)

[保存]ダイアログボックスが表示されます。[設定ウィンドウを出さずに直接印刷]をオンにすると、[プリントオプションの設定]ダイアログボックスが表示されずにプリントできるアプレットを作成できます。

また、ファイルをアイコンにドラッグ&ドロップするだけで、同じ設定でプリントできるアプレットを作成できます。

補足

アプレットの設定内容を変更したい場合は、[プリントオプションの設定]ダイアログボックスで各項目を変更し、[設定の保存]をクリックするか、アプレットを再度作成してください。

設定ファイルの作成(Windowsの場合)

[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。[設定ウィンドウを出さずに印刷]をオンにすると、[DropPrint]ダイアログボックスが表示されずにプリントできる設定ファイルを確認できます。

また、ファイルを presen用.dp2 アイコンにドラッグ&ドロップするだけで、同じ設定でプリントできる設定ファイルを作成できます。

●ファイル名の拡張子は「.dp2」です。

●設定ファイルの設定内容を変更したい場合は、[プリントオプションの設定]ダイアログボックスで各項目を変更し、[DropPrint]をクリックするか、設定ファイルを再度作成してください。

④設定の保存

設定した内容が[DropPrint]ダイアログボックスのデフォルト値として保存されます。いったん[設定の保存]をクリックすると、[キャンセル]をクリックしても設定の内容を元に戻すことはできません。

⑤ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う

オンにすると、[プリントオプションの初期設定]の設定、またはプリントするドキュメント内に記述されている設定でプリントされます。

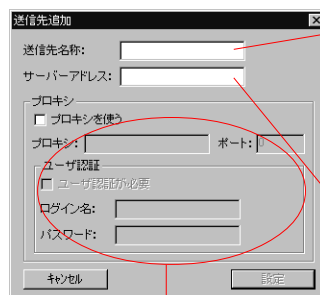
DropPrintLite、またはアップロード印刷で、[ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う]を指定しても、送信するファイル内で[部数]が指定されていない場合は、サーバー側の[プリンタの初期設定]で設定している[部数]の値は反映されません。

[送信先追加]ダイアログボックス(Macintoshの場合)

[送信先設定]をクリックすると表示されます。[AppleTalkゾーン]から、使用するネットワークゾーンを選択します。次に、表示されたプリンターリストから使用するサーバーを選択し、[送信先に追加]をクリックして[設定]をクリックします。

MacOS Xの場合は、通信プロトコルを[AppleTalk]と[HTTP]の中から選択することができます。

[送信先追加]ダイアログボックス(Windowsの場合)

[送信先設定]をクリックし、表示された[送信先設定]ダイアログボックスで[追加]をクリックすると、表示されます。

送信先を表示するときの名前を入力します。[DropPrint]ダイアログボックスの[プリンタ]の項目に、ここで入力した名前が表示されます。

サーバーのIPアドレスを入力します。

プロキシサーバーを使う場合は、[プロキシを使う]をチェックし、各項目を設定します。

プロキシサーバーは、HTTP1.0以降をサポートしている必要があります。

ServerManager

ServerManagerに表示される項目について説明します。

ServerManagerのウィンドウ

ServerManagerのウィンドウは、次の4つのウィンドウから構成されています。

ジョブ管理リスト

ジョブ管理リストには、サーバー内にあるすべての 印刷データが状態ごとに各リストに表示されます。

●処理中リスト

現在サーバーでプリント処理されている印刷データの一覧が表示されます。プリント中のものは青い文字で、用紙切れなどが発生しているものは赤い文字で表示されます。

●処理待ちリスト

現在サーバーでプリント処理を待っている印刷データの一覧が表示されます。

●保持リスト

プリント処理が終わったものなど、サーバーに保持されている印刷データの一覧とジョブ数が表示されます。

●エラーリスト

プリント処理で、エラーが発生した印刷データの一覧と印刷データ数が表示されます。用紙切れなどプリントオプションの設定を変更する必要がないエラーが発生しているものは黒い文字で、プリントオプションの設定を変更すれば再プリントできるものはオレンジ色の文字で表示されます。また、クライアントで ファイルを作成し直す必要があるジョブなどは、赤い文字で表示されます。

プレビューウィンドウ

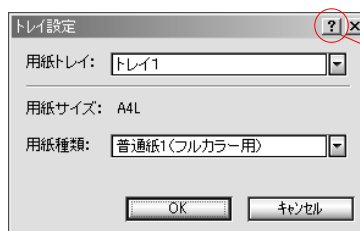
ジョブ管理リストで選択されている印刷データのプレビュー画像が表示されます。

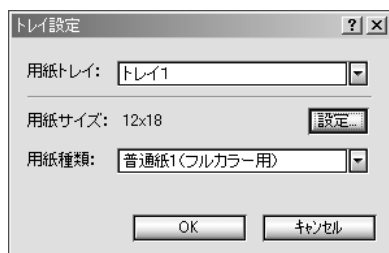
マシン状態ウィンドウ

プリンターやスキャナーの状況が表示されます。

[状態の詳細]ボタン

各トレイごとに用紙の種類を設定するための[トレイ設定]ダイアログボックスが表示されます。

トレイ1に特A3トレイがセットされている場合は、[用紙サイズ]の横に[設定]ボタンが表示されます。[設定]ボタンをクリックして、トレイにセットされている用紙のサイズを指定してください。

[?]ボタンをクリックし、項目上をクリックすると、項目に関する説明が表示されます。

特A3トレイがセットされている場合

特A3トレイの用紙サイズに、定型サイズと同サイズのカスタムサイズを指定してプリントした場合、ServerManagerでのジョブ編集などでは、用紙サイズが定型サイズとして表示されます。

[状態の詳細]ボタン

マシン状態の詳細を示すポップアップウィンドウが表示されます。

[節電]ボタン

節電モードのオン/オフができます。節電モードのときは、[節電解除]と表示されます。

[消耗品確認]

消耗品の状態がアイコンで表示されます。

●トナー量

各トナーの残量が、以下のアイコンで表現されます。

	トナーが十分にある状態です。
	トナーが残り少ない状態です。トナーカートリッジの交換時期です。
	トナーが空の状態です。トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジがセットされていません。トナーカートリッジを正しくセットしてください。

●トナー回収カートリッジ

トナー回収カートリッジの状態が、以下のアイコンで表現されます。

	正常な状態です。
	トナー回収カートリッジの交換時期です。
	トナー回収カートリッジを交換してください。
	トナー回収カートリッジがセットされていません。トナー回収カートリッジを正しくセットしてください。

●ドラムカートリッジ

ドラムカートリッジの状態が、以下のアイコンで表現されます。

	正常な状態です。
	ドラムカートリッジの交換時期です。
	ドラムカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジがセットされていません。ドラムカートリッジを正しくセットしてください。

ネットワーク状態ウィンドウ

利用できるネットワークの種類やプリンターの受信状態などが表示されます。

プリンターの受信状態が、受信中のものは青い文字で、エラーが発生しているものは赤い文字で表示されます。

ServerManagerの機能ボタン

ServerManagerウィンドウ上部にある機能ボタンをクリックすると、以下の操作が行えます。

	印刷イメージをプレビュー表示します。
	マシンの状態を表示します。（エラーの場合には、ボタンの形状が変化します。）
	ネットワークの状態を表示します。（エラーの場合は、ボタンの形状が変化します。）
	サーバーの環境設定ができます。
	プリントオプションの初期設定ができます。
	カラープロファイルの割り当てができます。
	自動キャリブレーションが行えます。
	メールプリントを起動します。
	メール受信を起動します。
	印刷データを削除します。（ジョブリストから印刷データを選択して、ボタンの上にドロップすることでも削除できます。）
	ログイン/ログオフできます。（ログイン状態によって、ボタンの形状が変化します。）

[ジョブ]メニュー

ジョブ編集

印刷データを選択し、このメニューを選択すると、[ジョブ編集]ダイアログボックスが表示され、プリントオプションを変更できます。

ジョブ複製

印刷データを選択し、このメニューを選択すると、印刷データがコピーされ、保持リストに表示されます。

このメニューは、保持またはエラーリストにある印刷データを選択した場合にだけ使用できます。

複製

- RIP処理済みデータは、コピーされません。
- 選択した印刷データにセキュリティープリントの指定がされている場合は、そのパスワードもコピーされます。

ジョブ保存

印刷データを選択し、このメニューを選択すると、[ジョブ保存]ダイアログボックスが表示されます。[ファイルを圧縮する]をオンにすると、印刷データを圧縮して保存できます。

保存されるファイルの名前はジョブ名が使用され、重複したファイル名には末尾に連番が付きます。拡張子は、圧縮しなかった場合は「.jbf」、圧縮した場合は「.lzh」になります。

このメニューは、保持またはエラーリストにある印刷データを選択した場合だけ使用できます。

- RIP済みデータは保存されません。
- 選択した印刷データにセキュリティープリントの指定がされている場合は、そのパスワードも保存されます。
- Windowsでファイル名として使用できない文字（¥ / : ? " < > ;）は、自動的にアンダーバー「_」に置き換えられます。

ジョブ読み込み

保持リストに読み込むファイルを指定できます。

読み込める印刷データは、次のとおりです。

- [ジョブ保存]で保存した印刷データ
- PostScriptファイル、PDF、EPSファイル、TIFFファイル

PostScriptファイルだけ、ファイル中のプリントオプションの設定が有効になります。その他のファイルは[プリントオプションの初期設定]の[その他（共通）]での指定が適用されます。

すべてのジョブを選択

印刷データを選択し、このメニューを選択すると、選択したジョブが含まれるリストにあるすべての印刷データが選択されます。

ジョブ削除

印刷データを選択し、このメニューを選択すると、印刷データを削除できます。

- 印刷データを選択して、[FX_ServerManager]ウィンドウの✕ボタンをクリックするか、✕ボタンの上にドラッグ&ドロップしても削除できます。
- 一般ユーザーモードで、セキュリティープリントの指定がされている印刷データの受信中に削除した場合、受信が終了するまでは削除されません。

RIP済みデータの削除

RIP処理済みデータを持っている印刷データを選択し、このメニューを選択すると、選択した印刷データのRIP処理済みデータを削除できます。
このメニューは、保持またはエラーリストにある印刷データを選択した場合にだけ使用できます。

RIP済みデータの作成

RIP処理済みデータを持っていない印刷データを選択し、このメニューを選択すると、選択した印刷データのRIP処理済みデータが作成され、印刷データが保持リストに移動します。

この機能は、プリントオプションの[RIP済みデータの保存]、[サーバーの環境設定]の[RIP後のデータをイメージとして保存]の設定内容には影響されません。

優先印刷

印刷データを選択し、このメニューを選択すると、現在プリント中の印刷データの次に選択したジョブがプリントされます。
ただし、RIP処理中の印刷データに対しては、優先印刷はできません。

ServerManagerの[サーバーの環境設定]の[プリント]タブで、[カバーページを印刷する]を選択している場合には、処理中の印刷データの優先印刷はできません。

停止

印刷データを選択し、このメニューを選択すると、処理中の印刷データが停止して、保持リストの最下段に移動します。

受信中の印刷データを途中で停止しても、受信が終了するまで処理中リストにある印刷データは停止されません。受信終了後、次の印刷データの処理(RIP)が開始されます。

再開

保持またはエラーリストにある印刷データを選択し、このメニューを選択すると、再プリントできます。
このメニューは、保持またはエラーリストにある印刷データを選択した場合にだけ使用できます。

[ジョブ編集]ダイアログボックスの[出力指定]タブで[プリント終了後、保存する]を設定している印刷データは、自動的にチェックされます。チェックされたまま再プリントすると、プリント終了後、印刷データは保持リストに戻ります。

プリントオプション

プリントオプションの項目を、[ジョブ編集]ダイアログボックスのタブ別に説明します。

- 各項目に記載されているプリントオプションのデフォルト値は、プリンタードライバー、DropPrintLite、またはServerManagerの[プリントオプションの初期設定]の値です。
- ファイルタイプによって、設定できる項目が異なります。設定できない項目は、グレー表示になり、選択できないようになっています。

各タブ共通の項目

[ジョブ編集]ダイアログボックスの各タブに共通する項目は、次のとおりです。

出力プリンタ

使用するプリンターを指定します。

[プリント]ボタン

編集したジョブを、すぐにプリントできます。

すべての項目にプリントオプションの初期設定を適用

すべての項目に対して、[プリントオプションの初期設定]で設定した値を適用したい場合に、チェックします。チェックすると、[ジョブ編集]ダイアログボックスで設定した値は無効になります。

[情報]タブ

[情報]タブには、ジョブ名や受信日時などのプロパティ情報が表示されます。

[情報]タブで確認できる項目は、次のとおりです。

ジョブ名

クライアントから送信されたジョブのドキュメント名が表示されます。

ジョブ管理リストに表示されるジョブ名を変更できます。

ファイル名

ドキュメント名が表示されます。

用紙サイズ

プリントオプションで指定したドキュメントの用紙サイズが表示されます。

また、RIP処理をした場合は、もとの用紙サイズと最後のイメージサイズが、次のように表示されます。

- もとの用紙サイズ→最後にRIP処理したときのイメージサイズ
- 用紙サイズが指定されていない場合は、「不明」と表示されます。

ページ数

印刷データのページ数が表示されます。

所有者

プリントを送信した所有者名が表示されます。

ファイルタイプ

印刷データのファイルフォーマットが表示されます。

受信日時

サーバーが印刷データを受信した日時が表示されます。

ファイルサイズ

印刷データのファイルサイズが表示されます。

アプリケーション

印刷データを作成したアプリケーションが表示されます。

ステータス

印刷データの処理状況や、エラーメッセージが表示されます。

RIPエラー、PostScriptエラーの場合は、右側に表示されている[詳細]ボタンをクリックすると、エラーの詳細が記述されたダイアログボックスが表示されます。

プレビュー画像

ジョブがプレビューを保存している場合は、右側にある四角い枠内に、1ページめの画像が表示されます。

保持データ

印刷データがデータを保持している場合は、プレビュー画像の下に以下のアイコンが表示されます。

	RIP処理済みデータを保持しています。

アカウント

プリンタードライバーなどで指定したアカウントが表示されます。

コメント

プリンタードライバーなどで指定したコメントが表示されます。

[ページ]タブ

[ページ]タブには、部数や用紙サイズなど、ページ設定の情報が表示されます。

[ページ]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

部数

プリントする部数を、1～999までの値で入力できます。デフォルトは、[1]です。

DropPrintLite、またはWebManagerのアップロード印刷で、[ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う]を指定しても、送信するファイル内で[部数]が指定されていない場合は、サーバー側の[プリンタの初期設定]で設定している[部数]の値は反映されません。

用紙トレイ(または給紙トレイ)

用紙トレイを選択します。デフォルトは、[自動選択]です。

[自動選択]を指定した場合の注意事項

- 選択される用紙トレイの優先順位は、次のとおりです。
  トレイ1＞トレイ2＞トレイ3
- プリントオプションで用紙サイズと用紙種類を指定している場合は、指定が一致するトレイから給紙されます。このとき、手差しトレイは選択の対象外になります。また、用紙切れのトレイは、優先順位が最下位になります。
- 選択した用紙サイズのトレイが装着またはセットされていないときで、用紙サイズが代用されない場合は、RIP処理を中止し、エラージョブとして処理されます。
- 用紙サイズを指定していない場合は、[プリントオプションの初期設定]で設定した[用紙サイズ]が適用されます。

[トレイ2]、[トレイ3]は、オプションのトレイモジュールが装着されている場合に表示されます。

ページ範囲

ページ範囲を選択します。デフォルトは、[全ページ]です。

[ページ指定]には、1～999までの値を入力できます。ページの区切りはカンマ「,」で、連続したページはハイフン「-」で指定します。「-5」は、「1～5ページまで」を、「5-」は「5ページ以降」を表します。

用紙種類

プリントに使用する用紙の種類を選択します。

用紙種類には、次の項目があります。デフォルトは、[普通紙1(フルカラー用)]です。

- 普通紙1(フルカラー用)
- 普通紙2
- 厚紙1(98～210g/m²)
- 厚紙2(98～210g/m²)
- OHPフィルム
- OHP合紙(白紙挿入)
- OHP合紙(プリント)
- ラベル紙
- コート紙
- マット紙
- 専用光沢紙
- はがき
- 封筒

補足

- [用紙トレイ]が、[トレイ1]～[トレイ3]の場合は、[普通紙1(フルカラー用)]と[普通紙2]だけが セット可能です。
- 通常、厚紙に印刷する場合は「厚紙1」を選択します。用紙によって、トナーの定着が悪くはがれるような場合は、「厚紙2」を選択して印刷すると、定着性が改善することがあります。

手差し手動両面

手差しトレイを使用して、両面印刷する場合の印刷方法を指定します。

手差し両面印刷には、次の項目があります。デフォルトは、[しない]です。

- しない
- おもて面(長辺とじ)
- おもて面(短辺とじ)
- うら面(長辺とじ)
- うら面(短辺とじ)

用紙は、以下のようにセットしてください。

セットする向き（うら面）

短辺とじで両面印刷する場合（よこ向き）

■できあがり状態

■セットする向き

A

排出方向

うら面を上にして排出

補足

- この項目は、[用紙トレイ]が[手差しトレイ]で、[用紙種類]が[普通紙1(フルカラー用)]、[普通紙2]、[厚紙1(98～210g/m²)]、[厚紙2(98～210g/m²)]、[コート紙]、[マット紙]、[専用光沢紙]、[はがき]の場合に有効です。
- DocuPrint CG835 LIIからジョブを読み込む場合は、V5.0以前のバージョンで[手差しうら面]を[する]で保存したジョブは、本バージョンでは[うら面(長辺とじ)]に変換されます。

用紙サイズ/イメージサイズの変更(または用紙サイズ)

用紙サイズを変更するときに指定します。デフォルトは、[変更しない]です。

●A3x2、A2L、B4x2、B3Lは、DropPrintLite、WebManager、ServerManagerでは表示されません。
●A3x2/A2LまたはB4x2/B3Lを選択した場合は、1ページ分のイメージが、A3またはB4用紙2枚に分割されてプリントされます。
●A3x2、B4x2は、「A3+トンボサイズ」まで、A2Lは「A3の印字エリア×2」、B3Lは「B4の印字エリア×2」まで出力するためのサイズです。
●A3x2/B4x2でとじしろをつけたいときは、[サーバーの環境設定]の[プリント]タブで設定してください。

A2L/B3Lの用紙サイズを指定してプリントした場合、A3x2/B4x2の用紙サイズに比べてRIP処理に時間がかかります。

カスタムサイズ(またはカスタムページサイズ)

[用紙サイズ/イメージサイズの変更]で[カスタムサイズ]を選択したときに、用紙のサイズを入力します。カスタムサイズの単位は、「mm」です。

入力できるサイズの範囲は、次のとおりです。デフォルトは、幅[297.0]、長さ[210.0]です。

用紙トレイ	入力範囲(単位mm)
トレイ1(特A3トレイがセットされている場合だけ)	幅:304.8〜328.0 長さ:420〜457.2
手差しトレイ	幅:90〜330.2 長さ:139.7〜457.2

用紙サイズに合わせる

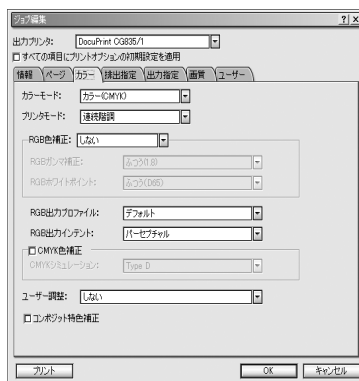
用紙サイズに合わせて拡大または縮小してプリントするときに、チェックします。

用紙の中心にプリント

用紙サイズを変更した場合、イメージを用紙の中央に合わせてプリントするときに、チェックします。

[カラー]タブ

[カラー]タブには、色の調整に関する情報が表示されます。

[カラー]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

カラーモード

カラーモードを選択します。

ドキュメントのイメージがグレースケールの場合は、どちらを選択してもほぼ同じプリント結果になりますが、[グレースケール(K)]を選択したほうが処理が速くなります。

[グレースケール(K)]を選択した場合は、[RGB色補正]、[RGBガンマ補正]、[コンポジット特色補正]、[RGBホワイトポイント]は指定できません。

プリンタモード

プリンターモードを選択します。

プリンターモードには、次の項目があります。デフォルトは、[連続階調]です。

●連続階調

連続階調(各色8ビット)でプリントします。

●スクリーン

2値(各色1ビット)でプリントします。

[スクリーン]を選択すると、カラーイメージにスクリーン処理をしてプリントします。ドキュメントの大部分が彩度の強い色を使ったカラー原稿などでは、スクリーン処理によってプリント結果が良くなることがあります。

[スクリーン]を選択した場合の注意/制限事項

- ●ユーザー調整カーブの設定は無効になります。
- ●RGB色補正やCMYK色補正は正しい色味でプリントできません。RGB色補正やCMYK色補正のプロファイルは、連続階調用です。
- ●[画質]タブの[原稿タイプ]が[文字/写真(写真優先)]、または[文字/写真(文字優先)]のときは、印刷データはエラーになります。

RGB色補正

印刷データにあるRGB画像に対して、色補正をするかどうかを設定します。

[カラーモード]で[カラー(CMYK)]を選択した場合に、指定できます。

[する]を選択した場合は、さらに[RGBホワイトポイント]と[RGBガンマ補正]が指定できます。また、[ユーザー1～10]を選択した場合は、[RGBガンマ補正]だけがさらに指定できます。デフォルトは、[しない]です。

ユーザー1～10には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.7 RGB用ICCプロファイルを読み込む」を参照してください。

RGBガンマ補正

ディスプレイの表示にプリントの色を近づけるため、ディスプレイの明るさの状態を選択することで、RGBまたはCIE RGB画像に対してガンマ調整をします。[RGB色補正]で[する]または[ユーザー1～10]を選択した場合に、指定できます。

- ●[RGB色補正]で[する]を指定した場合、[デフォルト]を選択すると[ふつう(1.8)]が適用されます。
- ●[RGB色補正]で[ユーザー1～10]を指定した場合、[デフォルト]を選択するとユーザープロファイルのガンマ指定が適用されます。

RGBホワイトポイント

ディスプレイの表示色とプリントの色を近づけるため、ディスプレイのホワイトポイントを選択します。

[RGB色補正]で[する]を選択した場合に指定できます。

RGBホワイトポイントには、次の項目があります。デフォルトは、[ふつう(D65)]です。

●やや黄色い(D50 Proofing)

ディスプレイの肌色や赤の色調が黄色に近すぎたり、青が紫に近すぎたり、または緑色が黄色に近すぎたりして見える場合に選択します。

●ふつう(D65)

●やや青い(9300)

ディスプレイの肌色や赤の色調がマゼンタに近すぎたり、空色などの青がシアンに近すぎたり、または緑色が濃すぎたりして見える場合に選択します。

RGB出力プロファイル

ドキュメントにあるRGB、CIEカラー、L*a*b*、およびXYZなどの画像の色変換に、指定したプロファイルを使用します。

●プリントオプションの[カラーモード]で[グレースケール(K)]を設定している場合、読み込んだRGB出力プロファイルを適用すると、プロセスカラーでプリントされます。

●Photoshopで[ポストスクリプトカラー管理]をオンにしたCMYKデータやプロファイルを埋め込んだCMYKデータはCIEカラー扱いとなり、RGB出力プロファイルの指定が適用されます。

ユーザー1～10には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては、『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の「1.7 RGB用ICCプロファイルを読み込む」を参照してください。

RGB出力インテント

[RGB出力プロファイル]で指定したユーザープロファイルで使用する、変換モードを指定します。
RGB出力インテントには、次の項目があります。
デフォルトは、[パーセプチャル]です。

●パーセプチャル

カラー画像の全体的なバランスをとりながら処理します。

●サチュレーション

カラー画像の色相や彩度のバランスをとりながら再現できるように処理します。

●相対カラリメトリック

再現できる色領域は色を一致させ、異なる色領域のためにプリンターで再現できない色については、もっとも近い色に再現できるように処理します。

●絶対カラリメトリック

[絶対カラリメトリック]は、入力データの白と用紙の白の調整を行わない、絶対的なモードです。適用するICCプロファイルによっては、白いデータ部分でも、色が付いてプリントされることがあります。

CMYK色補正

ドキュメントにあるCMYK画像に対して色補正をするかどうかを指定します。チェックボックスをオンにすると、さらに[CMYKシミュレーション]でプロファイルが指定できます。デフォルトは、「オフ」です。

CMYKシミュレーション

プリントするときに使用するプロファイルを選択します。[CMYK色補正]がオンの場合に、指定できます。
CMYKシミュレーションには、次の項目があります。
デフォルトは、「TypeD」です。

●TypeD

日本で使用されている代表的な印刷物のインク色に近づくように補正します。これにより、標準的オフセット・プロセス印刷における印刷物の色に近づくように補正できます。

●DIC標準色

印刷物の色の標準化のために大日本インキ化学工業株式会社が定めた規格です。標準的なオフセット・プロセス印刷で、印刷物の色を近似的にシミュレーションできるプロファイルです。

●雑誌広告基準カラー

雑誌広告基準カラー(JMPAカラー)がシミュレーションできるプロファイルです。

●雑誌広告基準カラーV2(2004)

雑誌広告基準カラー(JMPAカラー)Ver.2がシミュレーションできるプロファイルです。

●東洋インキ標準色ver.2.0

印刷物の標準化のために東洋インキ製造株式会社が定めた規格です。「東洋インキ標準色ver.2.0」の印刷条件は、次のとおりです。

インキ	:	TKハイユニティ
イメージセッター	:	Creo Dolev 800
印刷機	:	三菱ダイヤ304型
用紙	:	パールコート 104.7g/m² (三菱製紙)
スクリーン	:	175線/インチ スクエアドット

●JapanColor2001(アート紙)

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のアート紙(ISO規格用紙タイプ1)印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

●JapanColor2001(マット紙)

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のマットコート紙(ISO規格用紙タイプ2)印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

●JapanColor2001(コート紙)

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のコート紙(ISO規格用紙タイプ3)印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

●JapanColor2001(上質紙)

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」の上質紙(ISO規格用紙タイプ4)印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

JapanColor2001(上質紙)を使用した場合、黒文字が薄く再現されることがあります。黒文字を濃く、くっきり見せたいときは、「JapanColor2001(上質紙IEオン)を使用してください。

●DIC標準色 (IEオフ)(1)

[DIC標準色]のIEオフのカラープロファイルです。

●雑誌広告基準カラー(IEオフ) (2)

[雑誌広告基準カラー]のIEオフのカラープロファイルです。

●色補正なし(IEオフ) (3)〜(10)

●IEとは、Image Enhancement の略で、文字の輪郭などをくっきりさせる機能です。K100%の濃度が低い印刷環境をシミュレーションするCMYKプロファイルの場合、黒のグラデーションで、99〜100%の部分に段差が目立ってしまうことがあります。このような場合にはImage Enhancementのチェックをはずしてください。Image Enhancementについては、「画質タブ」の「Image Enhancement」(84ページ)を参照してください。

●プリンターの状態によっては、IEがオンのとき、グラデーションなどがきれいにプリントされない場合があります。この場合は、IEオフのカラープロファイルを選択してください。

ユーザー調整

プリントするときに使用するユーザー調整カーブを選択します。

ユーザー調整には、次の項目があります。デフォルトは[しない]です。

●しない

●無調整(1)〜(10)、またはユーザー調整1〜10

ユーザー調整1〜10には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)「1.10.4 ユーザー調整カーブを割り当てる」を参照してください。

コンポジット特色補正

コンポジットカラーのジョブの場合に、アプリケーションで指定している特色インクの色とプリントの色を近づけたいときに、チェックします。オフにすると、アプリケーションに内蔵されているCMYK値でプリントされます。

指定した特色が、サーバーに登録されていない場合には、「PostScriptエラー:undefined spot color」が発生します。

対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONEです。

デフォルトは、「オフ」です。

コンポジット特色補正は、分版ジョブには影響しません。分版合成で特色版が含まれる場合には、[画質]タブの[色分版の合成]を[自動]に設定してください。特色版の分版合成が行われると共に、コンポジット特色補正と同様の色補正処理が行われます。

PhotoshopのダブルトーンのEPSファイルを、QuarkXPressなどのアプリケーションのレイアウトに配置した場合、QuarkXPressからのコンポジットプリントではCIEカラーで出力されるので、コンポジット特色補正は適用されません。QuarkXPressから分版出力を行うと、特色版で出力されるので、分版合成機能の特色版合成機能により特色補正が適用されます。

[排出指定]タブ

[排出指定]タブには、用紙の排出に関する情報が表示されます。
[排出指定]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

プリンタードライバーの[詳細設定]ダイアログボックスでは、[排出/用紙種類]タブになります。

排出先

排出するときの印刷面の向きを選択します。
排出先には、次の項目があります。デフォルトは、[おもて面排出トレイ]です。

●おもて面排出トレイ

印刷面を上にして、サイドトレイから排出します。

●うら面排出トレイ

印刷面を下にして、センタートレイから排出します。用紙サイズがB5よりも大きく、用紙の種類が普通紙、ラベル紙の場合だけ有効です。

●「両面印刷」で[長辺とじ]または[短辺とじ]が指定されている場合、以下のようになります。
●奇数ページをうら向きにして排出します。
[最終ページから印刷]と[排出先]の指定は無効になり、1ページめから排出されます。

両面印刷

両面プリントの方法を選択します。

●プリンターにオプションの両面印刷モジュールが装着されている場合だけ、両面印刷ができます。
●両面印刷が可能な用紙サイズは次のとおりです。また、両面印刷が可能な用紙の種類は、[普通紙1(フルカラー用)][普通紙2][厚紙1(98～210g/m²)][コート紙][マット紙]です。
・A4L　・A4　・A3　・B5L　・B4
・8.5x11L　・8.5x11　・8.5x14
・11x17　・12x18
●厚紙やコート紙、マット紙に両面印刷をする場合は、手差しトレイにセットしてください。
●トレイ1に特A3トレイがセットされている場合は、トレイ1から給紙できません。

両面印刷には、次の項目があります。デフォルトは、[しない]です。

●しない

●長辺とじ

用紙の長辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するようにプリントします。
たて向き原稿の場合は、表と裏が同じ方向を上にして両面にプリントされ、よこ向き原稿の場合は、裏面のプリントイメージが180度回転します。

●短辺とじ

用紙の短辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するようにプリントします。
たて向き原稿の場合は、裏面のプリントイメージが180度回転され、よこ向き原稿の場合は、表と裏が同じ方向を上にして両面にプリントされます。

ソートする(一部ごと)

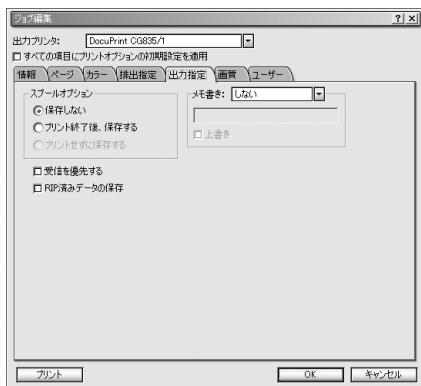
複数ページの印刷データを複数部数プリントするときに、部単位でまとめてプリントする場合に、チェックします。
デフォルトは、チェックされています。

最終ページから印刷

最後のページからプリントする場合に、チェックします。
デフォルトは、チェックされています。

[両面印刷]で、[長辺とじ]または[短辺とじ]が指定されている場合、[最終ページから印刷]の指定は無効になり、1ページめからプリントされます。

[出力指定]タブ

[出力指定]タブには、スプールや出力などに関する設定が表示されます。
[出力指定]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

スプールオプション

送信された印刷データの出力方法を選択します。

受信を優先する

データをすべて受信し終わってからRIP 処理を開始するときにチェックします。チェックをはずすと、RIP中のデータがない場合は、受信しながらRIP処理デフォルトは、チェックされています。

この機能は、クライアントからのプリント指示時にだけ有効です。印刷データの読み込み時には無視されます。

高速/低速のネットワークが混在する場合(1000Baseや100Baseに10Baseや無線LANが混在する場合)に、低速ネットワークから大容量のプリント指示をすると、送信が終わるまでRIP処理を占有してしまい、高速なネットワークからのプリントのRIP処理を待たせてしまうことなります。
低速なネットワークから大容量のプリントをする場合は、[受信を優先する]チェックボックスをオンにすると、全体の生産性を向上できます。「プリントオプションをカスタマイズする」の「[強制上書き]ボタン」(42ページ)を参照して、通常のプリンタのほかに、低速なネットワークからプリントする場合の専用のプリンターを設定し、そのプリンターに[受信を優先する]がオンになるように強制上書き機能で設定して使用すると便利です。

RIP済みデータの保存

RIP処理後のデータをサーバーに保存する場合に、チェックします。
[サーバーの環境設定]の[プリント]タブで、[RIP後のデータをイメージとして保存]をオンに設定し、かつ[スプールオプション]で、[プリント終了後、保存する]または[プリントせずに保存する]を選択した場合にだけ有効です。デフォルトは、チェックされています。

- [スプールオプション]で[保存しない]が選択されていると、RIP処理済みデータは保存されません。
- [原稿タイプ]を[文字/写真(写真優先)]、または[文字/写真(文字優先)]から、[写真優先]、[文字優先]、[グラフ]のいずれかに変更した場合、またはその逆の変更をしたときは、RIP処理済みデータは削除されます。

メモ書き

印刷データに、カラーパッチやコメントなどを重ねてプリントします。
パッチの設定や、オプションメモで使用するフォントなどを変更できます。
メモ書きには、次の項目があります。デフォルトは[しない]です。

●しない

●カラーパッチ

CMYKおよびプロセスブラックについて、100%、50%、10%の3種類、計15パッチが、各1×1cmの大きさでプリントされます。

●オプションメモ

プリントオプションの設定をプリントします。
次の項目について、デフォルト値から変更した場合に、変更値がプリントされます。

・RGB色補正　・RGBガンマ補正
・RGBホワイトポイント
・RGB出力プロファイル・RGB出力インテント
・CMYKシミュレーション
・ユーザー調整　・コンポジット特色補正
・Image Enhancement
・スムージング　・原稿タイプ
・画質モード

●コメント

[メモ書き－コメント]で指定した文字列をプリントします。

●カスタム

独自の形式のメモ書きを設定することができます。
デフォルトでは、印刷データごとに、日付と番号がプリントされます。複数部数の設定および複数ページの印刷データでは、すべてのページに同じ番号がプリントされます。この番号は、RIP処理のたびに、またキャンセル、エラー、およびWindows からのフォントダウンロードのときにも、カウントアップします。
この番号は、カンプ番号を想定したものです。複数部のプリント出力を行い、自分と先方、または複数部署で校正するような場合、編集や修正によるバージョンの不整合が発生しないように、この番号で確認できます。

メモ書き－上書き

印刷データの上にメモを重ねてプリントするときにチェックします。チェックをはずすと、メモの上にジョブを重ねてプリントします。
デフォルトは、チェックされています。

[画質]タブ

[画質]タブには、原稿タイプや各種警告機能などの設定が表示されます。
[画質]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

原稿タイプ

原稿タイプを選択します。デフォルトは、[写真優先]です。

●写真優先

写真のように中間調データが多く含まれているドキュメントの場合に指定します。階調が重視されたプリント結果になります。

●文字優先

ドキュメント内に、中間色の文字や図形を多く含む場合に指定します。中間色の図形の品質が重視されたプリント結果になります。

●グラフ

グレースケールのドキュメントやグラフのように細部をくっきりさせたいときに指定します。写真や文字が多く含まれるようなドキュメントには向いていません。

●文字/写真(写真優先)

写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータ、文字や線図形などデータが、それぞれのデータに適した処理に切り替えられてプリントされます。
写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータは、階調重視のプリント結果になります。

●文字/写真(文字優先)

写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータ、文字や線図形などデータが、それぞれのデータに適した処理に切り替えられてプリントされます。
写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータは、中間色の図形の品質が重視されたプリント結果になります。

画質モード

画質モードを選択します。デフォルトは、[標準]です。

●標準

用紙サイズや印刷面にかかわらず、600×600dpiで処理されます。

●グラフィックス

A4サイズ以下の片面/両面印刷、およびA4サイズより大きい片面は600×300dpiで、A4サイズより大きい両面の場合は300×300dpiで処理されます。

●ドラフト

用紙サイズや印刷面にかかわらず、300×300dpiで処理されます。出力解像度が標準より低いので、処理が速くなります。最終出力前のドラフトプリントや、Windowsからのプリントで解像度が制限される場合に選択してください。

補足

●[標準]でプリントしたとき、印刷データがエラー(コントローラーボードエラー(1031))で終了した場合は、[グラフィックス]を選択します。
●頻繁にコントローラーボードエラー(1031)が発生する場合には、拡張メモリーオプションを購入することをお勧めします。

Image Enhancement

Image Enhancementは、K100%の文字や図形のエッジを滑らかにプリントするための機能です。通常は、チェックされている状態で使用します。

●CMYKプロファイルで、IEオフのプロファイルを選択している場合、Image Enhancement機能は無効になります。
●プリンターの状態によっては、IE がオンのとき、黒の99～100%の部分のグラデーションがきれいにプリントされない場合があります。この場合は、IEをオフにしてください。
●ユーザー調整カーブでK100%の濃度を下げてプリントしたいときには、IEをオフにしてください。IEがオンの場合には、K100%の濃度はユーザー調整カーブでは下げることができません。

グレースケールの自動検出

自動的に白黒ページを判別させ、プリント速度の速い[グレースケール(K)]モードでプリントする場合に、チェックします。少量のカラーページを含む複数ページの印刷データをプリントする場合などに、プリント時間を短縮できます。
全ページにカラーデータがある印刷データの場合は、チェックをはずします。
デフォルトは、チェックされています。

スムージング

スムージングをする場合に、チェックします。スムージングをすると、Kの線や文字にアンチエイリアス効果がかかります。デフォルトは、チェックされていません。

●この機能は、[プリンタモード]が[連続階調]の場合に有効です。
●IEを有効にして文字や線の輪郭の品質を向上させたい場合には、スムージングをオフにしてください。IEがオフのとき、文字や線の輪郭をなめらかに見せたい場合は、スムージングをオンにしてください。IEとは、Image Enhancementの略で、文字の輪郭などをくっきりさせることをいいます。

Kオーバープリント

ブラック100%で文字やグラフィックをプリントする場合で、オーバープリントするときに、チェックします。抜き合わせでプリントしたい場合は、チェックをはずします。デフォルトは、チェックされていません。

この機能は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

RGB黒をKに置換

RGB黒をブラック100%に置き換えてプリントしたい場合は、チェックボックスをオンにします。
RGBモードで作られたCMYK混色の黒を、純粋な黒トナー(C=M=Y=0%、K=100%)に置き換えてプリントするので、ぼやけて見えるCMYK混色の黒を、Kだけのはっきりとした黒にできます。
Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XPの場合、デフォルトは、「オン」です。
Macintoshの場合、デフォルトは、「オフ」です。

RGBグレーをKに置換

RGBグレーをK単色のグレーに置き換えてプリントしたい場合は、チェックボックスをオンにします。
RGBモードで作られたCMYK混色のグレーを、純粋な黒トナー(C=M=Y)に置き換えてプリントするので、ぼやけて見えるCMYK混色のグレーを、Kだけのはっきりとしたグレーにできます。
Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XPの場合、デフォルトは、「オン」です。
Macintoshの場合、デフォルトは、「オフ」です。

この機能は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

色分版の合成

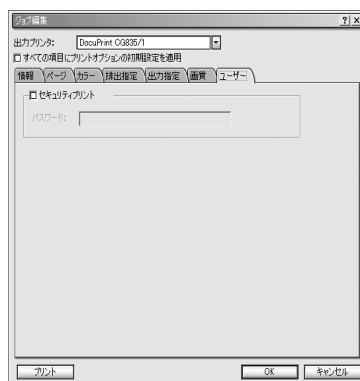
各色の版を合成するスタイルを選択します。
色分版の合成には、次の項目があります。デフォルトは、[自動]です。

- 自動
- しない
- QuarkXPress-4Style
- QuarkXPress-3Style
- PageMaker Style
- FreeHand Style
- Canvas Style
- Illustrator Style
- InDesign Style

[自動]の場合、特色版の合成にも対応できます。対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONEです。

[ユーザー]タブ

[ユーザー]タブで設定できる項目は、次のとおりです。

プリンタードライバーの[詳細設定]ダイアログボックスやDropPrintLite、WebManagerでは、[ユーザー情報]タブになります。[セキュリティプリント]のほかに[ユーザー名]、[アカウント]、[コメント]が設定できます。[ユーザー情報]タブについては「固有のプリントオプション」の[ユーザー情報タブ](86ページ)を参照してください。

セキュリティプリント

ドキュメントにパスワードによる保護をかける場合にチェックし、パスワードを入力します。

パスワードに入力できる文字は、0〜9、a〜z、A〜Z、記号、スペースです。また、5〜31文字の範囲で指定してください。

セキュリティープリントの指定がされたドキュメントは、ServerManagerでパスワードを入力しないと操作ができなくなります。ただし、管理者でログインした場合は、操作できます。

固有のプリントオプション

[Print Server Series]タブ

[Print Server Series]タブには、プリントオプションの中でよく利用される項目が集められています。

Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、およびMacintoshのプリンタードライバーからプリントした場合に表示されます。

[Print Server Series]タブ固有の項目は、次のとおりです。

標準設定からの変更

[Print Server Series]タブと、[詳細設定]ダイアログボックスの[ユーザー情報]タブに表示される以外の項目で、サーバーで設定されているプリントオプションと異なる値を設定しているオプション項目と、その値を表示します。

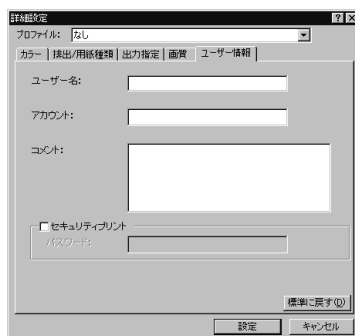
[詳細設定]ボタン

このボタンをクリックすると、[詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。

[詳細設定]ダイアログボックスでは、プリントに関する詳細な設定ができます。

[ユーザー情報]タブ

Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、およびMacintoshのプリンタードライバーやDropPrintLite、WebManagerで表示されます。

[ユーザー情報]タブで設定できる項目について説明します。

セキュリティプリント

ドキュメントにパスワードによる保護をかける場合にチェックし、パスワードを入力します。

パスワードに入力できる文字は、0〜9、a〜z、A〜Z、記号、スペースです。また、5〜31文字の範囲で指定してください。

セキュリティープリントの指定がされたドキュメントは、ServerManagerでパスワードを入力しないと操作ができなくなります。ただし、管理者でログインした場合は、操作できます。

ユーザー名

ジョブのオーナー名を設定します。

ユーザー名には、31バイトまでの英数字を入力できます。設定したユーザー名は、WebManager、ServerManager上で、ジョブの所有者として表示されます。

また、プリント履歴に記録されるユーザー名としても利用されます。

アカウント

ジョブに関するアカウント情報を設定します。アカウントには、31バイトまでの英数字を入力できます。アカウントは、プリント履歴に記録されます。

コメント

ジョブに関する追加情報を設定します。コメントには、任意の文字列で255バイトまでの英数字を入力できます。コメントは、プリント履歴に記録されます。

第6章 困ったときは

この章では、困ったときのトラブル対処について説明します。

TROUBLESHOOTING

The printer helps eliminate errors before the file is sent to the print process through its warning system, highlighting overprint areas, alerting the user if the image data is in RGB, rather than CMYK, which is necessary for printing, and indicating where lines are too thin to show up in printing.

エラーウィンドウが表示されたら

プリンターを使用中に異常が発生すると、サーバーの画面上に次のようなエラーウィンドウが表示されます。
この場合は、表示されたウィンドウ内のメッセージに従って、対処してください。

また、次のような症状の場合は、『取扱説明書(プリンター編)』の該当箇所も参照のうえ、対処してください。

メッセージの概要	『取扱説明書(プリンター編)』の参照先
紙づまり	「第5章 用紙が詰まったときには」
消耗品(トナーカートリッジや、ドラムカートリッジ、トナー回収カートリッジ)のセット、および交換	「6.1 トナーカートリッジの交換」 「6.2 ドラムカートリッジの交換」 「6.3 トナー回収カートリッジの交換」
正しい用紙のセット、および用紙の補給	「第3章 使用できる用紙とセットの仕方」

対処方法に従って対処しても、問題が解決しない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

ウィンドウを閉じてしまった場合は、マシン状態ウィンドウの[状態の詳細]ボタンをクリックしてください。再度、ウィンドウを表示できます。マシン状態ウィンドウについては、「ServerManagerのウィンドウ」(38ページ)を参照してください。

エラージョブメッセージ一覧

エラーになったジョブに表示される、エラーメッセージについて説明します。
以下のメッセージは、ServerManagerとStatusMonitorのエラーリスト中の「ステータス」や、[ジョブ編集]ダイアログボックスを表示したときに、[情報]タブの[ステータス]に表示されます。
その他のエラーメッセージについては、『取扱説明書サーバー編』を参照してください。

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応
103	プリントオプションエラー	このプリントオプションでは両面印刷できません	プリントオプションを確認して再プリントしてください。
104	プリンター電源オフ	プリンタの電源が入っていません	プリンターの電源を入れてから、エラーリストに入った該当する 印刷データを再開してください。
105	プリントオプションエラー	このプリンタは両面印刷できません	片面でプリントしてください。両面印刷を行うには、両面印刷モジュール(オプション)をプリンターに装着する必要があります。
106	ラスター画像変換エラー	画像変換に失敗しました	SunRaster・XWD・TIFF画像の変換に失敗しました。
107	PostScriptエラー	PostScriptエラーです	印刷データを確認してください。
108	用紙トレイなし	指定された用紙(用紙サイズ、用紙の種類)に必要なトレイがありません	使用したい用紙をプリンターにセットしてから、エラーリストに入った該当する印刷データを再開して下さい。
116	出力部数エラー	コピー部数が999を超えています	部数を999部以下に設定して、再プリントしてください。
120	分版合成エラー	色版の数が合わないため分版合成に失敗しました	[色分版の合成]のところで[QuarkXPress3-Style]などを指定してプリントしたときに色版の数が合っていません。 [自動]を指定して、プリントしてください。
122	両面印刷サイズエラー	おもて面とうら面の用紙サイズが異なるため両面印刷できません	改ページの場所を調整するか、片面でプリントしてください。
126	プリントオプションエラー	指定された用紙種類では両面印刷できません	両面印刷ができる用紙を使用してください。
139	用紙トレイなし	指定された用紙サイズ(RIP済みデータの用紙サイズ)、用紙種類)に必要なトレイがありません	RIP処理済みデータの用紙サイズをトレイにセットするか、RIP処理済みデータを削除して、再度RIP処理し直してください。
140	サイズエラー	用紙サイズが自動の場合、手差しトレイは指定できません	EPS/TIFF/SunRaster/XWDはプリントオプションの[グラフィックス]タブで、[用紙サイズ]を[自動]に設定している場合、手差しトレイは指定できません。 ほかのトレイを指定してください。

番号	エラーリストのステータス	[情報]タブの[ステータス]	対応
141	サイズエラー	節電中にトレイの用紙サイズが変更されたため印刷できませんでした	用紙サイズを確認してください。
142	サイズエラー	SunRaster/XWDはA3x2/B4x2/A2L/B3Lに印刷できません	用紙サイズを確認してください。
157	プリントオプションエラー	範囲指定したページがありません	ページ範囲の指定を確認してください。
164	用紙トレイなし	指定された用紙トレイがありません	オプションのトレイモジュール(2段)/(1段)が装着されていない場合は、トレイ2、3を指定できません。ほかのトレイを指定してください。
165	両面印刷エラー	特A3トレイから両面印刷をおこなうことはできません	ほかのトレイを指定してください。

メール受信時エラー

番号	内容	対応
200	受信したメールに、印刷可能なファイルが添付されていませんでした。	送信元にご確認ください。受信したメールには印刷可能なファイルが添付されていません。
201	受信ドメインの制限によって、メールの受信が中止されました。	PDF配信の環境設定で、受信ドメインの設定を確認してください。
202	メールサーバーからエラー通知メールを受信しました。	PDF配信でエラーメールを確認してください。
203	分割送信されたメールの一部を受信しましたが、一定時間内に全部を受信できませんでした。	送信元にメールを再送するように依頼してください。
210	POP3サーバーのIPアドレスを参照できませんでした。	PDF配信の環境設定で、POP3サーバー名を確認してください。
211	POP3サーバーに接続できませんでした。	ネットワークの管理者にご確認ください。
212	POP3サーバーとの接続が中断しました。	ネットワークの状態を確認してください。
213	POP3サーバーに認証されませんでした。	ネットワークの管理者にご確認ください。
214	POP3サーバー上のメールボックスが開けませんでした。	ネットワークの管理者にご確認ください。
215	POP3サーバーエラー。	ネットワークの管理者にご確認ください。
220	受信処理のためのディスク容量が不足しています。	エラーメールや不要なファイルの削除、ServerManagerの不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてください。
221	受信処理中にディスクエラーが発生しました。	ディスク障害の可能性があります。お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。

Q&A

ここでは、皆様からよくあるお問い合わせと、それに対する回答を紹介します。

色調整機能について

コンポジット特色補正機能が対応している、PANTONEカラーとDICカラーは？

PANTONEカラーは、PANTONE Coated(CVC)です。
PANTONE Uncoated(CVU)を指定した場合は、PANTONE Coatedと同じ補正をします。PANTONE Press(CVS)を指定した場合は、PostScriptエラーが発生しプリントできません。
なお、DICと東洋インキもCoatedに対応しています。
DICカラーは、DICカラーガイドのパート1(DIC 1p～654p)とパート2(DIC 2001p～2638p)です。
東洋インキカラーは、TOYO COLOR FINDER 1050です。
→「[カラー]タブ」(77ページ)

画面上のRGBの文字やグラフィックスの色味が、異なる色でプリントされます。また、RGB画像の色味が、ぼやけてプリントされます。

プリントオプションの[カラー]タブで[RGB色補正]を[する]に設定して、プリントし直してみてください。
[RGB色補正]は、デフォルトでは[しない]になっています。
→「[カラー]タブ」(77ページ)

ユーザー調整カーブでK100%未満に設定したのに、反映されません。

[Image Enhancement]を「オフ」にしてプリントしてください。→「[カラー]タブ」(77ページ)

ServerManagerの設定について

白黒自動判別機能は、ありますか？

あります。
白黒ページが含まれているときに、自動的にグレースケールモードでプリントします。この機能によって、プリント速度も向上します。[画質]タブの[グレースケールモードの自動検出]で指定します。デフォルトは、チェックされています。→「[画質]タブ」(83ページ)

ServerManagerを管理者モードで、起動したいのですが。

ServerManagerの[ファイル]メニュー→[特別]→[ログインモードの設定]で表示される[ログインモードの設定]ダイアログボックスで、ServerManagerの起動時に自動的に管理者または一般ユーザーでログインするように設定できます。

EPSファイルをプリントしたら、ジョブが消えてしまいました。

ServerManagerの[ツール]メニュー→[サーバーの環境設定]の[プリント]タブに表示される[EPSをPostScriptとして扱う]がオンになっていませんか。showpageコマンドが付いていないEPSファイルをプリントした場合に、この機能がオンになっていると、showpageコマンド自動付加が抑制されて印刷データが消えてしまうことがあります。

その他

厚紙のSRA3用紙に、自動両面プリントはできますか？

官製はがきや専用光沢紙、または特A3用紙やSRA3用紙に両面プリントするときは、手差しトレイから片面ずつプリントしてください。→『取扱説明書(プリンター編)』

両面調節微調整をしても、調整用シートの印字位置が変わりません。

調整用シートは、印刷のずれを確認するためのシートなので、両面印刷微調整を実行する前の状態でプリントされます。
なお、確認用シートは、調整結果を反映したものがプリントされます。→『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)「2.1 両面印刷のずれを微調整する」

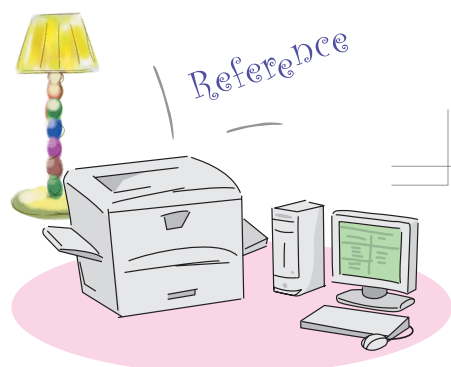
WebManagerからアップロード印刷をしたら、エラーになってしまいました。

WebManagerを使用してプリントするときは、プロキシサーバーを経由せず、直接サーバーに接続してプリントしてください。

QuarkXPress3.3で、PDFファイルを適用する仕方を教えてください。

まず、QuarkXPressがインストールされているディレクトリ内にある「PDF」フォルダに、Print Server Series用のPDFファイルを格納します。次に、[用紙設定]メニュー→QuarkXPress→プリンタの種類を選択し、「FX DocuPrint CG835 PSS-52 PDF」を選択してください
なお、QuarkXPress4は、PDFに対応していません。

- QuarkXPress3.3でQuark用PDFファイルを使用し、定型サイズにプリントする場合は、カスタムサイズ用に修正したPPDを使用しないでください。カスタムサイズ用紙にプリントする場合だけ、カスタムサイズ用に修正したPPDを使用してください。
- QuarkXPress3.3でQuark用PDFファイルを使用している場合、一度もRIP処理していない印刷データは、ServerManagerの[ジョブ編集]ダイアログボックスでは、指定された用紙サイズが表示されません。一度RIP処理されると、指定された用紙サイズが表示されます。

付　録

主な仕様

製品の仕様

DocuPrint CG835 LIIのサーバー部分の仕様について説明します。
製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

サーバー本体

●プロセッサー	Celeron D340J(2.93GHz)
●メモリー(PC)	512MB
●Ethernet	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
●HDD	60GB、オプションHDD 1台増設可能
●FDD	3.5インチ(1.44MB/720KB)
●CD-ROM	48倍速
●ビデオ出力	15pinミニD-sub(アナログRGB出力)
●キーボード	日本語109キーボード
●マウス	PS/2マウス
●Print Server Seriesボード	DocuPrint CG835 IIインターフェイス用PCIボード (フレームメモリー:512MB(256MB×2枚)、最大1,024MBまで拡張可能)
●インターフェイスケーブル	DocuPrint CG835 II専用ケーブル(2.8m)

ディスプレイ(オプション※)

38cm(15型)TFTカラー液晶ディスプレイ
最大解像度:1,024×768 dot

※ディプレイ付属モデルもあります

環境要件

定格電源/最大消費電力

●サーバー	100V、2.5A/200W
●ディスプレイ	100V、1.5A/40W

大きさ/質量

●サーバー	幅136×奥行き385×高さ355mm/約10kg
●ディスプレイ(オプション)	幅375×奥行き201×高さ356mm/4.5kg
●キーボード	幅459×奥行き172×高さ42mm/1.0kg (質量には、マウスの重さを含みます)

動作

●温度	10~35℃
●湿度	15~80%(結露がないこと)

付録

オプション製品について

DocuPrint CG835 LIIのオプション製品について説明します。

オプション製品の種類

DocuPrint CG835 LIIでは、次のようなオプション品を用意しています。
商品のご注文は、本製品をお買い求めの販売店にご連絡ください。

商品名	内容
ディスプレイ（オプション※）	38cm（15型）TFTカラー液晶ディスプレイです。 最大解像度：1024×768ドット サーバーとの接続方法は、「サーバーを設置する」（4ページ）を参照してください。 ※ディスプレイ付属モデルもあります。
増設ハードディスク	サーバーに取り付けて使用できます。サーバーに、より多くのデータを保存できます。 取り付け方は、「ハードディスクの取り付け」（96ページ）を参照してください。
512MB追加メモリータイプ2	PCIボードに取り付けて使用できます。 複雑なイメージを含む文書や、データ量の多い原稿をより高速に処理できます。 取り付け方は、「拡張メモリーの取り付け」（102ページ）を参照してください。
Eye-One（測色器）	カラーキャリブレーションおよびプロファイルの作成に使用します。サーバーとは、USBケーブルで接続します。使用方法は、『取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）の「5.16.2 測色器の使い方」を参照してください。
インターフェイスケーブル（6m）	プリンターとサーバーを接続するケーブルです。付属の2.8mのケーブルに代えて、使用できます。

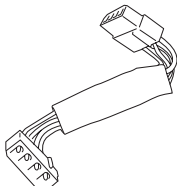
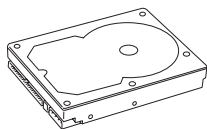
ハードディスクの取り付け

オプションのHDDの取り付け手順を説明します。

操作の前に

次のものがそろっていることを確認してください。

●HDD

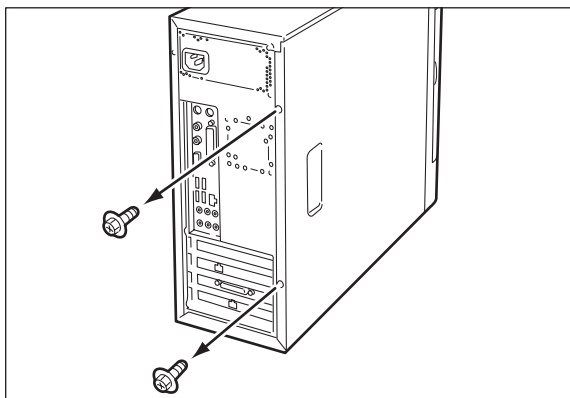
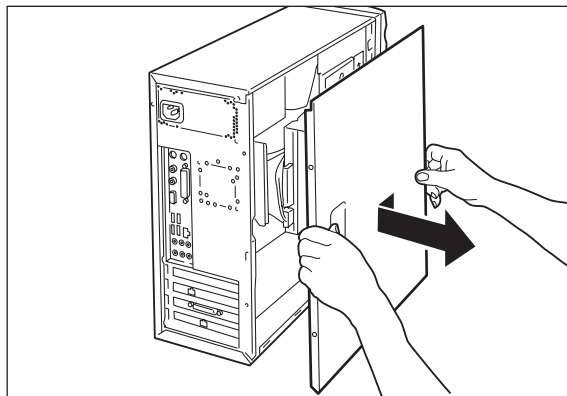
●電源中継ハーネス

●オプション品に付属のネジ 4本

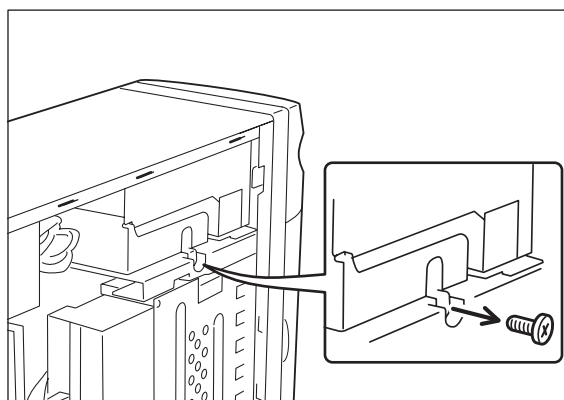
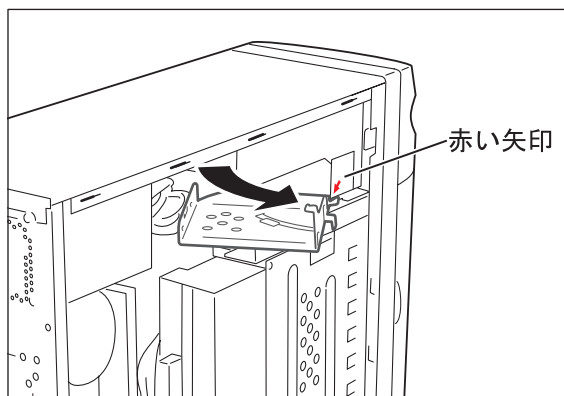
●サーバー付属の工具（プラスドライバー）

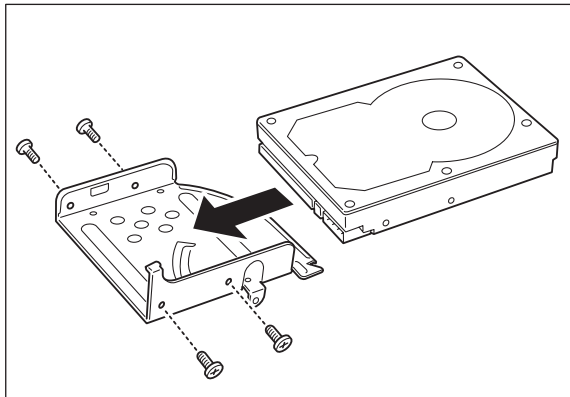
HDDの取り付け

操作手順

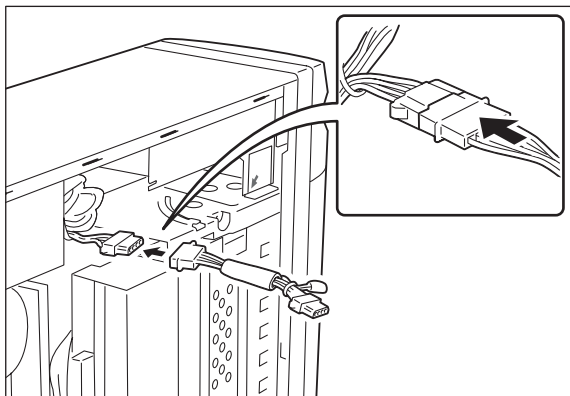
1. サーバーが起動している場合、電源を切ります。
サーバー本体に電源コードやインターフェイスケーブルが接続されている場合は、取り外します。

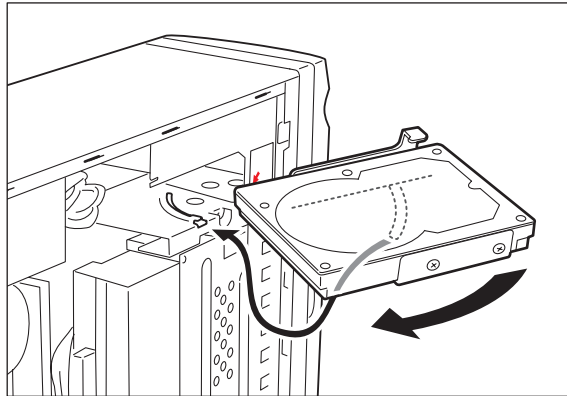
2. サーバー背面にある、左側面カバーを固定しているネジ(2本)を外します。

3. 左側面カバーを、背面側にずらしてから、手前に引いて取り外します。

4. サーバー内部の金属部分に手を触れて、静電気を逃がします。

5. 図の位置のネジを取り外します。

6. HDD用ブラケットを、赤い矢印を起点に手前側に回転させるようにして取り外します。

7

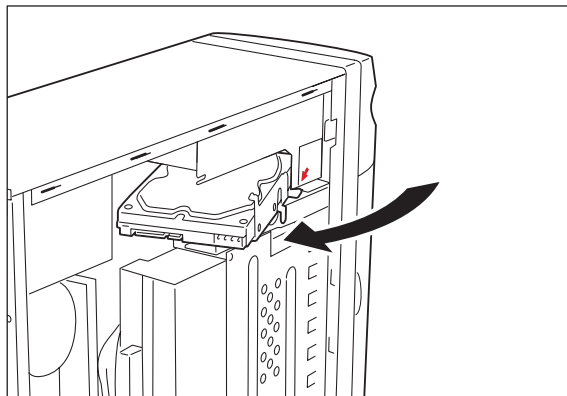
ブラケットにHDDを差し込み、HDDに同梱されていたネジ(4本)で固定します。

HDDは非常にデリケートな機器です。衝撃を与えると故障するおそれがあります。HDDとブラケットをネジで固定するときは、机などの平らな場所の上に置いて、作業してください。

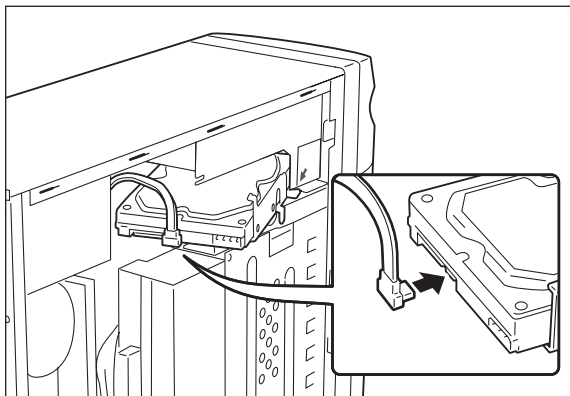
8

電源中継ハーネスの片方のコネクターを、サーバー内部の電源ケーブルに、しっかりと接続します。

9

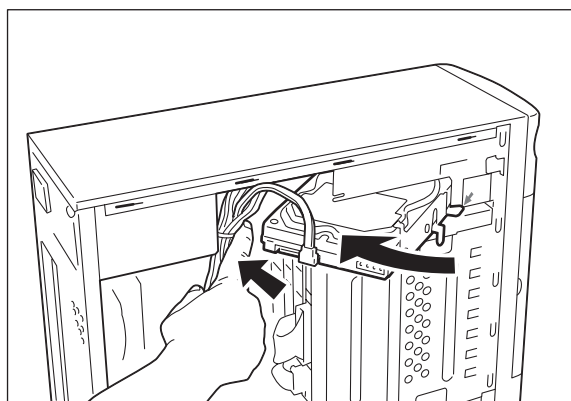
HDDをサーバーに取り付けます。ブラケットの突起部をサーバーの赤い矢印に合わせます。

作業がしにくい場合は、サーバーを横置きにしてください。

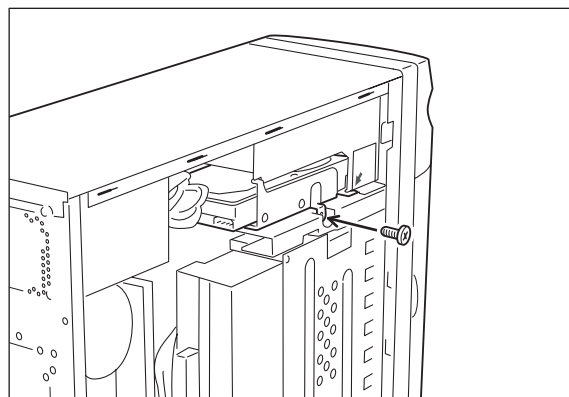
10

赤い矢印を起点にして、ブラケットの円弧状の溝が本体の溝にはまっていることを確認しながら、HDDを回転させます。

11

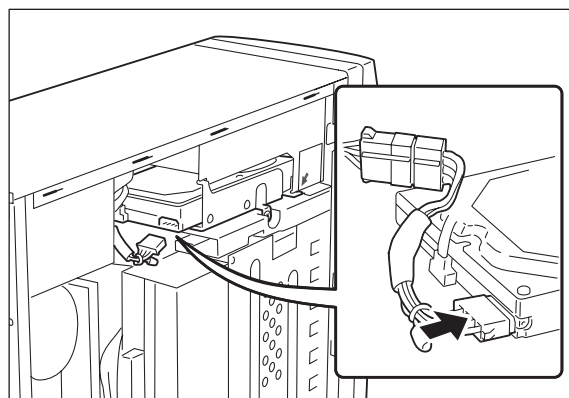
サーバー内部のSATAケーブルを、HDDのSATAコネクターに、しっかりと接続します。

コネクターの向きを確認して、正しい向きで接続してください。

12

HDDを回転させ、本体に取り付けます。このとき、HDDが電源中継ハーネスに引っかからないように、反対の手でハーネス部を広げるようにしてください。

13

手順5で取り外したネジで固定します。

手順11で接続したコネクターが、しっかりと差し込まれているかどうかを、もう一度確認してください。

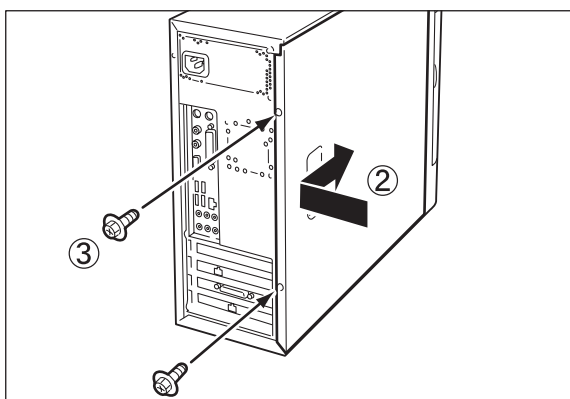
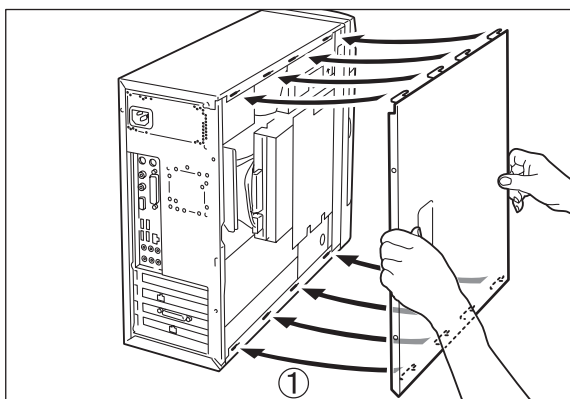
14

電源中継ハーネスの片方のコネクターを、HDDのコネクターに、しっかりと接続します。

必ず、付属の電源中継ハーネスを使用してください。電源中継ハーネスを使用しないと、サーバーが起動しないことがあります。

これで、HDDの取り付けは完了です。

続けてほかのオプション品を取り付ける場合は、以降の手順を行わないで、オプション品を取り付けます。各オプション品の取り付け手順5に進んでください。

15

左側面カバーの上下の突起部を本体の穴に差し込んだら(①)、左側面カバーをサーバー前面側にずらし、しっかりとはめ込みます。(②)。手順2で取り外したネジで、左側面カバーを固定します(③)。

16

電源コード、および手順1で取り外したケーブルを接続します。

サーバーでの設定

HDDの取り付けが完了したら、追加したディスクをフォーマットし、ドライブに割り当てます。

操作手順

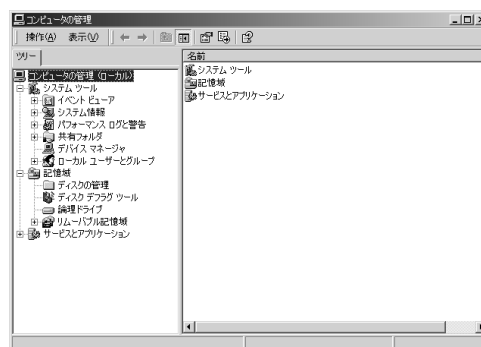
サーバーの電源を入れます。

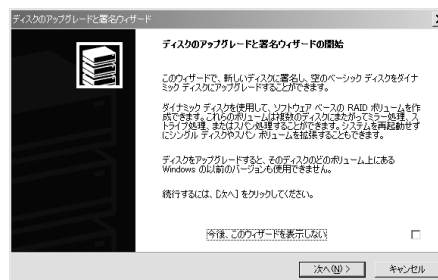
2

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。

[管理ツール]をダブルクリックし、[コンピュータの管理]をダブルクリックします。

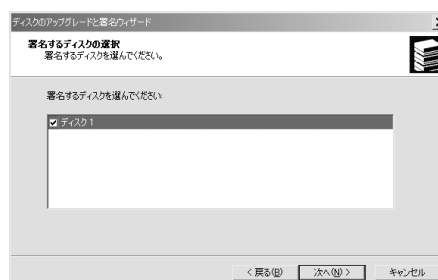
[コンピュータの管理]ウィンドウが表示されます。

4

左側のツリーから[記憶域]の下の[ディスクの管理]を選択します。

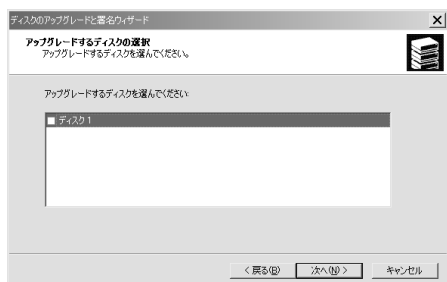
[ディスクのアップグレードと署名ウィザード]が表示されます。

5

内容を確認し、[次へ]をクリックします。

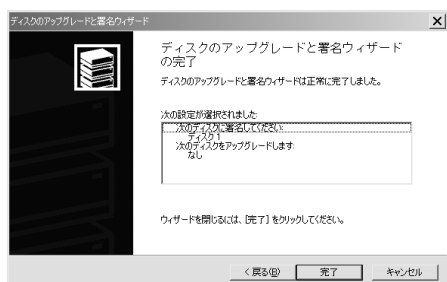
[署名するディスクの選択]ダイアログボックスが表示されます。

付録

6

[ディスク1]がチェックされていることを確認し、[次へ]をクリックします。

[アップグレードするディスクの選択]ダイアログボックスが表示されます。

7

[ディスク1]のチェックを外して、[次へ]をクリックします。

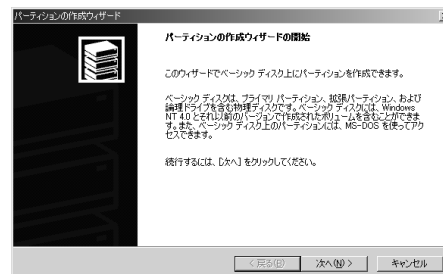
[ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了]ダイアログボックスが表示されます。

8

[完了]をクリックします。

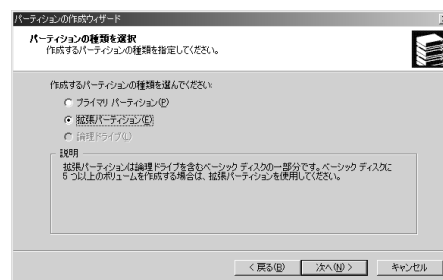
[コンピュータの管理]ウィンドウが表示されます。

9

HDDの取り付けによって追加された[ディスク1]で右クリックし、表示されたメニューから[パーティションの作成]を選択します。

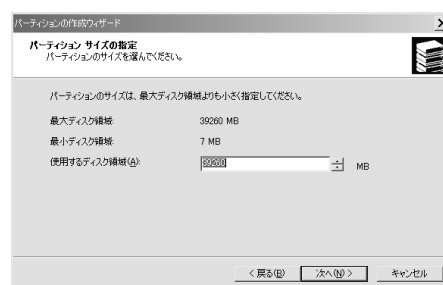
[パーティションの作成ウィザード]が表示されます。

10

[次へ]をクリックします。

[パーティションの種類を選択]ダイアログボックスが表示されます。

11

[拡張パーティション]を選択し、[次へ]をクリックします。

[パーティションサイズの指定]ダイアログボックスが表示されます。

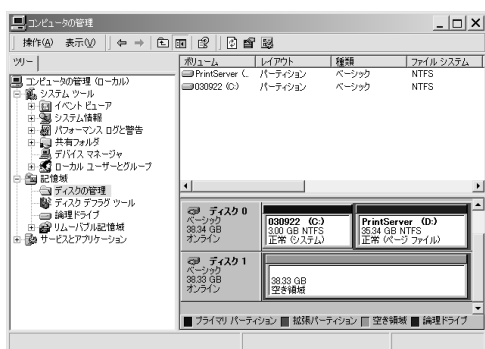
付録

12

[使用するディスク領域]に最大ディスク領域のサイズを指定し、[次へ]をクリックします。

パーティションが作成され、完了すると、[パーティションの作成ウィザードの完了]ダイアログボックスが表示されます。

13

[完了]をクリックします。

[コンピュータの管理]ウィンドウが表示されます。

続けて、ドライブを割り当てます。

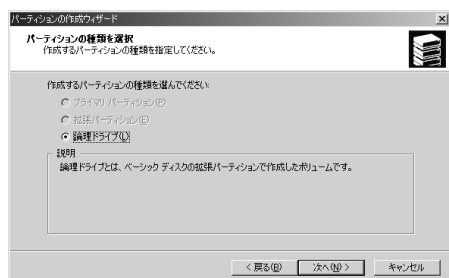
14

[ディスク1]で右クリックし、表示されたメニューから[論理ドライブの作成]を選択します。

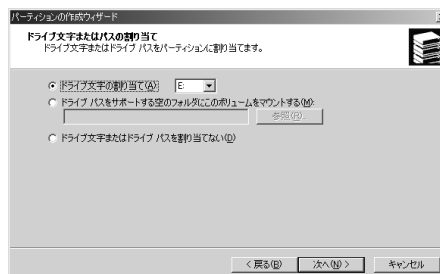
[パーティションの作成ウィザード]が表示されます。

15

[次へ]をクリックします。

[パーティションの種類を選択]ダイアログボックスが表示されます。

16

[論理ドライブ]を選択し、[次へ]をクリックします。

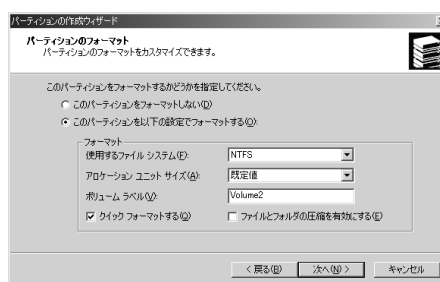
[ドライブ文字またはパスの割り当て]ダイアログボックスが表示されます。

17

[ドライブ文字の割り当て]がチェックされ、[E:]になっていることを確認して、[次へ]をクリックします。

[パーティションのフォーマット]ダイアログボックスが表示されます。

18

各項目を次のように設定します。

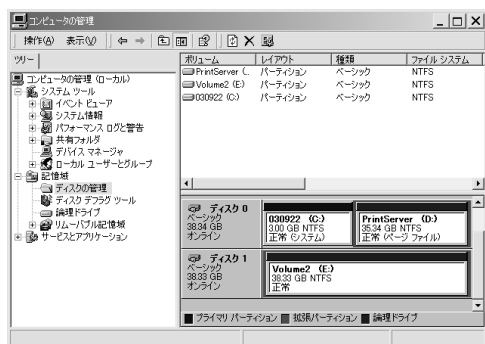
ボリューム名は、任意に付けてください。

19

[次へ]をクリックします。

パーティションが作成され、完了すると、[パーティションの作成ウィザードの完了]ダイアログボックスが表示されます。

20

[完了]をクリックします。

[コンピュータの管理]ウィンドウが表示されます。ディスク1が正しく設定されていることを確認して、ウィンドウを閉じます。

これで、追加したハードディスクを使用するための準備は完了です。

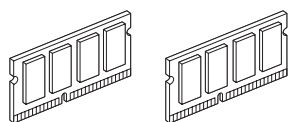
このハードディスクをFTPフォルやスプールフォルダとして使用する場合は、[FX_ServerManager]ウィンドウの[ファイル]→[特別]→[作業用フォルダ設定]を選択し、設定を変更してください。FTPフォルダを変更した場合は、[コントロールパネル]→[管理ツール]→[インターネットサービスマネージャ]→[既定のFTPサイトのプロパティ]で、FTPサービスのディレクトリを変更してください。

拡張メモリーの取り付け

オプションのメモリーの取り付け手順を説明します。

操作の前に

次のものがそろっていることを確認してください。

- メモリー 256MB 2枚

- サーバーに付属の工具(プラスドライバー)

操作手順

サーバーが起動している場合は停止し、プロセッサーの電源を切ります。

プロセッサー本体に電源コードやインターフェイスケーブルが接続されている場合は、取り外します。

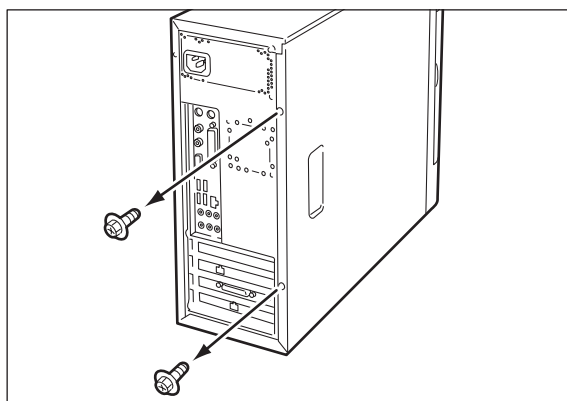
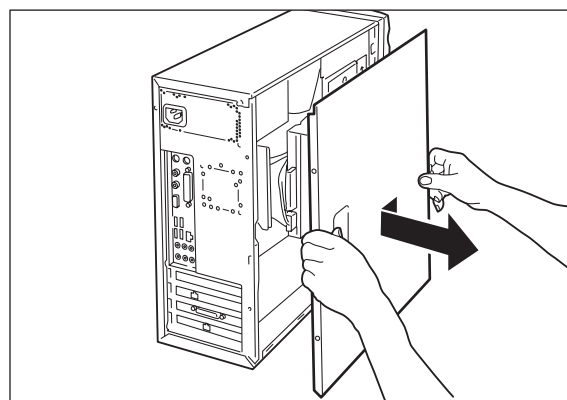
サーバー背面にある、左側面カバーを固定しているネジ(2本)を外します。

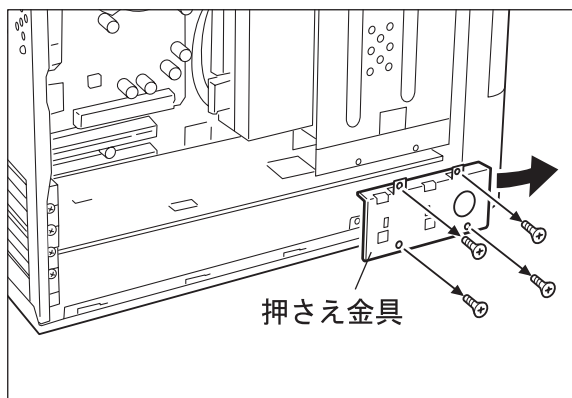
3

左側面カバーを、背面側にずらしてから、手前に引いて取り外します。

4

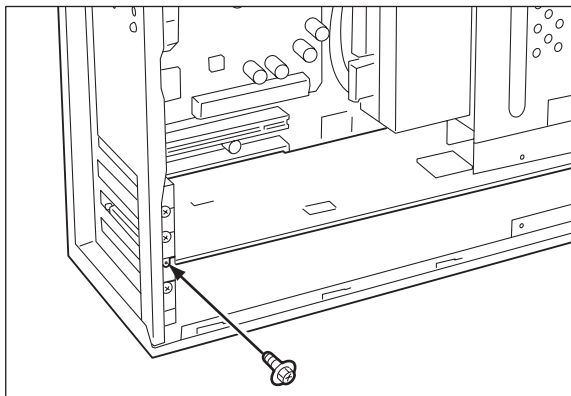
サーバー内部の金属部分に手を触れて、静電気を逃がします。

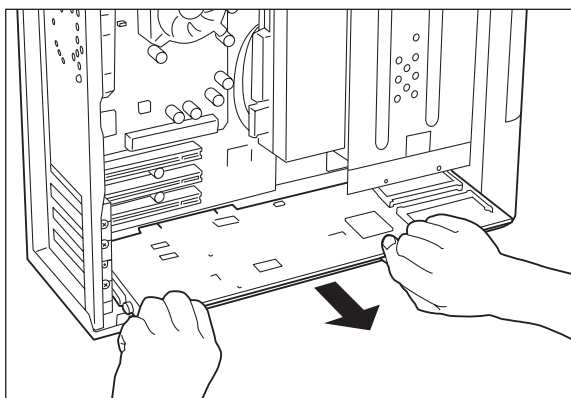
付録

5

図の位置にある4本のネジを取り外し、本体から、押さえ金具を取り除きます。

補足

作業がしにくい場合は、プロセッサーを横置きにしてください。

6

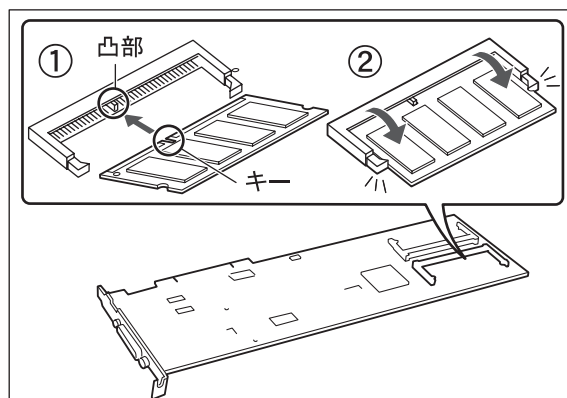
Print Server Seriesボードを固定しているネジを取り外します。

7

Print Server Seriesボードをまっすぐ引き抜きます。

8

メモリーの両端を持ち、メモリーのキーとPrint Server Seriesボード背面のSO-DIMMスロット側の凸部分を正しく合わせます(①)。

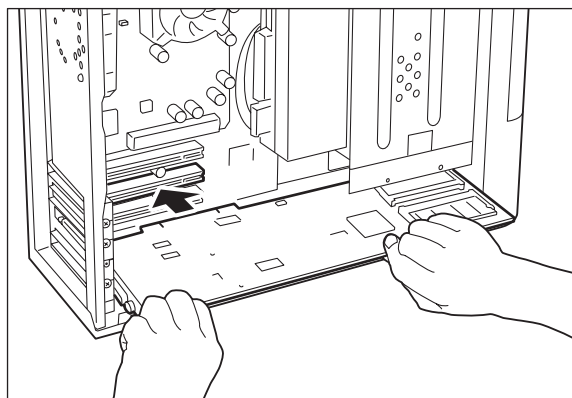
9

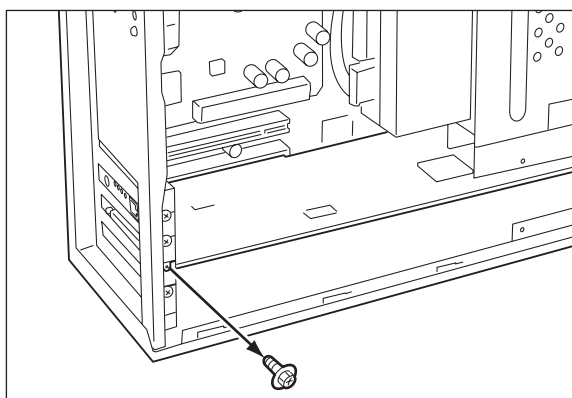
メモリーを斜めに差し込んだあと、「カチッ」と音がするまでPrint Server Seriesボード側に倒します(②)。

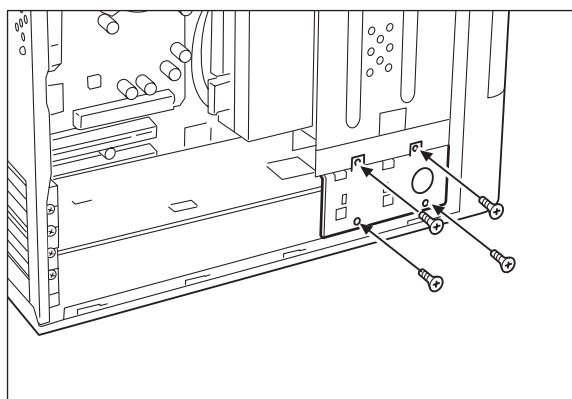
同様の手順で、2か所のSO-DIMMスロットにメモリーを取り付けてください。

必ず2枚のメモリーを取り付けてください。

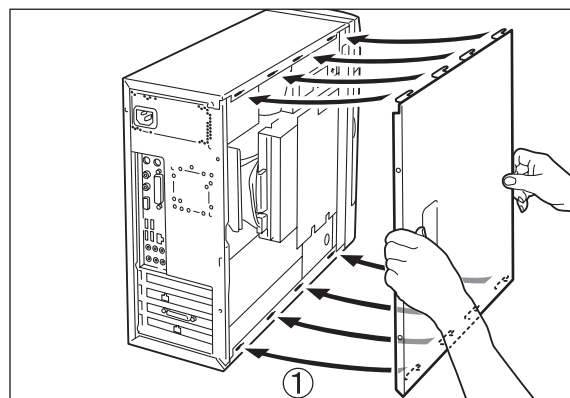
メモリーを取り外す場合は、メモリーを固定している両端のツメを外側に開き、メモリーの両端を持ってまっすぐ引き抜いてください。

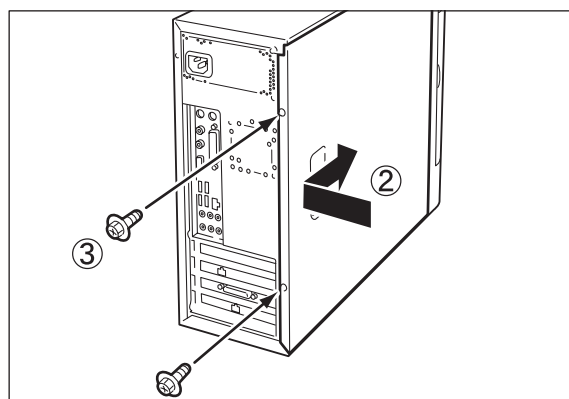
10

Print Server Seriesボードのコネクターをマザーボード側のコネクターに合わせ、しっかり差し込みます。

11

手順6で取り外したネジで、Print Server Seriesボードを固定します。

12

押さえ金具をサーバー本体に取り付け、手順5で取り外したネジ(4本)で、押さえ金具を固定します。

13

左側面カバーの上下の突起部を本体の穴に差し込んだら(①)、左側面カバーをサーバー前面側にずらし、しっかりとはめ込みます。(②)。手順2で取り外したネジで、左側面カバーを固定します(③)。

14

電源コード、および手順1で取り外したケーブルを接続します。

15

サーバーを起動します。

スタートアップページを印刷し、「サーバー/マシン」欄に「フレームメモリー：1024MB」と表示されていることを確認してください。

付録

用語集

Print Server Seriesに関連する用語は、印刷用語をはじめ編集用語やDTP用語など、多岐に渡ります。サーバーの機能を理解し、本文を読み進むうえでの参考にしてください。

CIEbased[シー・アイ・イー・ベースド]

CIEは、commission Internationale de l'Eclariageの略で、国際照明委員会のこと。
CIEが発表しているデバイスに依存しないカラーモデルをもとに、色再現することをいいます。

GCR[ジー・シー・アール]

Gray-Component Replacementの略。
カラー画像のグレーの部分からCMYの成分を取り除き、Kの濃淡に置き換えることをいいます。
画像を変換するときに、GCRの値を調整できるアプリケーションもあります。
→UCR

ICCプロファイル[アイ・シー・シー-]

International Color Consortiumの略。
各デバイスの色再現に関する情報を記述したファイルのことをいいます。

IE[アイ・イー]

Image Enhancementの略。文字の輪郭などをくっきり見せることをいいます。

IT8[アイ・ティー・エイト]

デバイスのキャリブレーションを行うための標準チャートのことをいいます。

PPD[ピー・ピー・ディー]

PostScript Printer Description Fileの略。
ポストスクリプトプリンターの設定情報を記述したファイルのことをいいます。

RIP[リップ]

Raster Image Processerの略。
ポストスクリプトデータをビットマップに展開することをいいます。

UCR[ユー・シー・アール]

Under Color Removalの略。
カラー画像の黒色の部分からCMYの成分を取り除き、Kの濃淡に置き換えることをいいます。
RGBモードからCMYKモードに画像を変換するときに、UCRの値を調整できるアプリケーションもあります。
→GCR

網点[あみてん]

印刷で色の濃淡が置き換えられる大小の点のことで、ハーフトーンともいいます。

色分版[いろぶんぱん]

RGB画像を、プロセス印刷で使用する4色のインキに対応したCMYKの画像に分けることをいいます。

オーバープリント

オブジェクト同士が重なり合う場合に、上下の色を重ねて印刷することをいいます。印刷のずれで白地がでることを防ぎます。
ブラックの文字は、すべてオーバープリントするようにデフォルト設定されているアプリケーションもあります。
→抜き合わせ

ガンマ補正[-ほせい]

感光材の感光特性を表わすカーブのことをガンマといい、デバイスのガンマ値に応じた最適のカーブに補正することを、ガンマ補正といいます。
Print Server SeriesやPhotoshopは、画像のガンマ補正をしてコントラストや明暗を調整できます。

キャリブレーション

色の経時変化を補正して、機器の色再現性を標準状態に維持することをいいます。

スクリーン線数[-せんすう]

画像を出力するときに使われる、網点の列または線の数をいいます。
出力解像度とスクリーン線数の組み合わせで、画像のきめ細かさが変化します。
フィルム出力で使うスクリーン線数は、イメージセッターの解像度や印刷方法、および用紙によって異なります。

墨版保持[すみはんほじ]

CMYKデータをプリントする場合に、色再現で重要な役割を持つK(墨)版の情報を保持するしくみのことをいいます。

特色[とくしょく]

あらかじめ色を混ぜ合わせた、さまざまな色のインキのことです。
特色インキは、会社のロゴなど、色を正確に再現しなければならないときに使われます。
スポットカラーともいいます。
→プロセスカラー

抜き合わせ[ぬきあわせ]

オブジェクト同士が重なり合う場合に、下になる色を、上の形で白く抜くことで、ノックアウトともいいます。
半透明の印刷インキを使うときに、色が重なって別の色になることを防ぎます。
→オーバープリント

プロセスカラー

CMYKの網点を重ね合わせて、さまざまな色を擬似的に再現する半透明のインキのことです。
→特色

プロファイル

デバイスごとのカラー属性を定義したファイルのことをいいます。

分版出力[ぶんぱんしゅつりょく]

印刷に使用するインキごとに、色の要素を分けてフィルムに出力します。
プロセスカラー印刷の場合は、各ページがCMYKの4枚のフィルムになります。

ホワイトポイント

画像内のもっとも明るい位置のことで、白点ともいいます。

連続階調[れんぞくかいちょう]

写真のように、色と色がなめらかに変化していることをいいます。

『取扱説明書(サーバー編)』(電子マニュアル)の内容

第5章　その他の情報

索引

付録

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守、操作、修理**（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、
消耗品のご購入について、および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
または商品センターにお問い合わせください。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

保守・操作の問い合わせ、
消耗品のご用命は、
裏面の電話番号へご連絡ください。

●裏面の記入がない場合の連絡先
富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社
プリンターサポートデスク
TEL：0120-66-2209
受付時間 9:00~17:30（土、日、祝祭日を除く）

A-24017

表面

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

●保守・操作の問い合わせ（テレフォンセンター）
TEL.
FAX.
●用紙・消耗品のご用命（商品センター）
TEL.
●お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機 種　　機械 No.

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、休祝日を除く9時～17時30分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

●富士ゼロックス、および富士ゼロックスプリンティングシステムズに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間:土曜、日曜、祝日を除く 9時～12時、13時～17時、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

●インターネットホームページで富士ゼロックスプリンティングシステムズの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

http://www.fxpsc.co.jp

DocuPrint CG835 LII 取扱説明書　導入編
著作者　―富士ゼロックス株式会社　発行年月―2006年7月第1版
発行者　―富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

（部番:896E 25360　帳票No:DE3645J1-1）
Printed in Japan